

ANNUAL REPORT

2018

THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

The Niigata **Bandaijima** Art Museum

年報



目 次

平成30年度の流れ	近代美術館	3
	万代島美術館	4
事業報告		
展覧会	近代美術館	6
	常設展	7
	第1期 母たちの肖像	7
	手は語る	7
	第2期 近代美術館の名品<日本編>	9
	亀倉雄策賞1999-2017	9
	近代美術館の名品<海外編>	9
	企画展 ディズニー・アート展	11
	白寿 江口草玄のすべて	14
	共催展 第46回芸展秀作展	23
	第20回亀倉雄策賞受賞記念 中村至男展	23
	2018/JAGDA新人賞展2018	23
	万代島美術館	
	所蔵品展 ターニングポイント!ー人生、それぞれの“時”ー	24
	企画展 古代アンデス文明展	27
	ジブリの動画家 近藤勝也展	30
	みんなのレオ・レオーニ展	41
	国画創作協会の全貌展	46
	写真家 ソール・ライター展	51
教育普及	近代美術館	58
	イベント	58
	館外活動・地域との連携	59
	刊行物	62
	作品解説会	63
	団体の受入れ	63
	学校教育との連携	64
	観覧料免除	65
	博物館実習	65
	万代島美術館	
	イベント	66
	刊行物・鑑賞資料	68
	作品解説会	68
	団体の受入れ	69
	学校教育との連携	70
	観覧料免除	71
	サポートメンバー	72
	博物館実習	72
調査・研究	近代美術館	73
	万代島美術館	75
収集・保存	美術品の収集	77
	美術品の保存	77
	平成30年度収集作品	77
	美術品の修復	83
	美術品の燻蒸	83
	美術品の貸出	84
管理・運営	開館および入館状況	86
	近代美術館	86
	万代島美術館	87
	施設の貸出	88
	近代美術館	88
	アンケート集計結果	89
	近代美術館	89
	万代島美術館	91
	組織及び業務	94
	職員	94
施設	近代美術館	95
	大規模改修工事	97
	万代島美術館	100
審議会等	美術館協議会	102
	美術品収集委員会	105
	新潟県立美術館友の会	106
沿革		107

平成30年度の流れ (新潟県立近代美術館)

4月	1日(日)	コレクション展第1期開会
	14日(土)	ディズニー・アート展関連イベント「ディズニー映画上映会 ピノキオ」
	21日(土)	ディズニー・アート展関連イベント「ディズニー映画上映会 ファンタジア」
	28日(土)	ディズニー・アート展関連イベント「ディズニー映画上映会 101匹わんちゃん」
5月	13日(日)	「ディズニー・アート展 いのちを吹き込む魔法」閉会
	20日(日)	コレクション展第1期閉会
	24日(木)	コレクション展第2期開会
	25日(金)	企画展「白寿 江口草玄のすべて」開場式
	26日(土)	「白寿 江口草玄のすべて」開会
	27日(日)	江口草玄展関連イベント「解説会」
6月	3日(日)	江口草玄展関連イベント「解説会」
	9日(土)	江口草玄展関連イベント「美術鑑賞講座 江口草玄の一世紀を辿る」 共催展「第20回亀倉雄策賞受賞記念 中村至男展 2018」開会
	16日(土)	美術鑑賞講座「近代美術館 名品あれこれ<日本編>」
	17日(日)	江口草玄展関連イベント「解説会」
	23日(土)	美術鑑賞講座「近代美術館 名品あれこれ<海外編>」
	24日(日)	江口草玄展関連イベント「解説会」
	30日(土)	亀倉雄策賞展関連イベント「開催記念講演会」
7月	1日(日)	江口草玄展関連イベント「解説会」 企画展「白寿 江口草玄のすべて」閉会 コレクション展第2期閉会 共催展「第20回亀倉雄策賞受賞記念 中村至男展 2018」閉会
	2日(月)	
9月 2019年	〃	改修工事のため休館
	13日(金)	

平成30年度の流れ（新潟県立万代島美術館）

4月	14日(土) 古代アンデス文明展関連イベント ギャラリートーク		
5月	6日(日) 企画展「古代アンデス文明展」 閉会 7日(月)～18日(金) 展示替えの休館 19日(土) 所蔵品展「ターニングポイント！」 開会 27日(日) ターニングポイント！関連イベント 学芸員によるギャラリートーク		
6月	3日(日) 美術鑑賞講座「美術家人生のターニングポイント！」 9日(土) ターニングポイント！関連イベント 開館15年記念トークセッション 24日(日) ターニングポイント！関連イベント 学芸員によるギャラリートーク 所蔵品展「ターニングポイント！」 閉会 25日(月)		
7月	6日(金) 企画展「近藤勝也展」 開場式 7日(土) 企画展「近藤勝也展」 開会 近藤勝也展関連イベント ギャラリートーク+サイン会 29日(日) 近藤勝也展関連イベント アニメーター体験講座		
8月	5日(日) 近藤勝也展関連イベント ギャラリートーク		
9月	1日(土) 近藤勝也展関連イベント ミュージアム・コンサート 24日(月・休) 企画展「近藤勝也展」 閉会 25日(火)		
10月	5日(金) 企画展「近藤勝也展」 閉会 5日(金) 企画展「みんなのレオ・レオーニ展」 開場式 6日(土) 企画展「みんなのレオ・レオーニ展」 開会 みんなのレオ・レオーニ展関連イベント 講演会「希望の絵本をつくる人 レオ・レオーニ」 21日(日) みんなのレオ・レオーニ展関連イベント 絵本の読み聞かせ 28日(日) みんなのレオ・レオーニ展関連イベント 絵本の読み聞かせ		
11月	3日(土・祝) みんなのレオ・レオーニ展関連イベント ワークショップ「絵本カバーでエコバッグづくり」 11日(日) みんなのレオ・レオーニ展関連イベント 絵本の読み聞かせ 17日(土) みんなのレオ・レオーニ展関連イベント 学芸員によるギャラリートーク 25日(日) みんなのレオ・レオーニ展関連イベント 絵本の読み聞かせ		
12月	2日(日) みんなのレオ・レオーニ展関連イベント 絵本の読み聞かせ 16日(日) 企画展「みんなのレオ・レオーニ展」 閉会 17日(月)		
1月	3日(木) 展示替えおよび年末年始の休館 4日(金) 企画展「国画創作協会の全貌展」 開会 5日(土) 国画創作協会の全貌展関連イベント 作品解説会 12日(土) 国画創作協会の全貌展関連イベント ワークショップ「発見！日本画のヒミツ」		
2月	2日(土) 国画創作協会の全貌展関連イベント 作品解説会 3日(日) 国画創作協会の全貌展関連イベント ワークショップ「竹かごを編もう！」 17日(日) 美術鑑賞講座「大正から昭和初期の日本画：国画創作協会を中心に」 企画展「国画創作協会の全貌展」 閉会 18日(月)		
3月	8日(金) 企画展「写真家 ソール・ライター展」 開場式 9日(土) 企画展「写真家 ソール・ライター展」 開会 写真家 ソール・ライター展関連イベント 講演会「ソール・ライターと1950年代アメリカ文化」 24日(日) 写真家 ソール・ライター展関連イベント トーク「ソール・ライター／写真／ニューヨーク」		

事業報告



常設展（コレクション展）

【趣 旨】

当館の所蔵品による展示。

本年度は7月2日より改修工事のため休館に入ることから、企画展の会期に合わせて全2期として、3つの展示室にそれぞれテーマを設けて所蔵品を展示。特に第2期では、約1年間の休館を前に、当館の名品を国内と国外に分けて重点的に紹介した。

また、第2期の時期に当館ギャラリーで第20回亀倉雄策賞受賞記念展を開催することから、展示室2で第1回から19回までの歴代の亀倉雄策賞受賞作品を一堂に展示し、その歩みを振り返った。



【観覧料】

一般……………430円（340円）

大学・高校生……………200円（160円）

中学生以下無料

※（ ）内は有料20名以上の団体料金

※同時期の企画展観覧券で観覧可

第1期 2018年4月1日(月)～5月20日(日)(46日間)

展示室1 母たちの肖像
展示室2 近代美術館の名品
展示室3 手は語る

母たちの肖像

【趣 旨】

母子を描いた作品は古今東西多くある。とくに西洋美術では、聖母子像として描かれてきた重要なモチーフである。そこには、母親のわが子にむける深い愛情という普遍的なテーマが表されている。一方で、自らの家族をモデルにした作品も多く、母子を包む愛情がみられるのはもちろん、そこからは作家がモデルに向けるあたたかな眼差しまでもが感じられる。

母子を描いた作品を集めて紹介し、作家が母子というモチーフに込めた思いを探る展示を目指した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・「母子」というシンプルなテーマながら、多分野の作品を紹介することで多彩な展示ができた。

●検討課題

- ・「母子」という身近で親しみやすいテーマではあったが、その中には宗教主題の作品もあった。これらについて、美術史的な関心や理解を促すためにキャプションや解説パネルに工夫が必要であった。

担当 松本奈穂子

手は語る

【趣 旨】

絵や版画のなかには、さまざまな手が描かれている。絵に登場する人物たちは、言葉で語る以上に、手で語っていることが多い。手は人と人、人と神、あるいは生きとし生けるものとの間に交わされるコミュニケーションの重要な手段である。喜怒哀楽の感情を豊かに表すものでもある。手を見れば、その人物が歩んできた人生やその人物の性格が浮かび上がってくる。注意深く手を観察し、手の表情を読みとることを通して、手にこめられた豊かなメッセージを感じてもらうことを試みた。コレクション展示室外のロビーでは、「あなたの手のメッセージを描いてください」という体験コーナーが設えられた。A5サイズの紙に鉛筆および色鉛筆で、来場者が自由に手を描いて題名をつけ、ホワイトボードに掲示する形式で行った。

【総 括】

●評価すべき点

- ・亀倉雄策の《東京オリンピック公式ポスター第2号》の選手たちの手に注目し、和田誠や福田繁雄らが亀倉の追悼作品として制作した作品と比較するかたちで展示した。特定の視点を選ぶことで、作品の骨格が見えてきた例であり、見慣れた所蔵作品に新たな光を当てることができた。

担当 平石昌子

【出品リスト】

展示室1 母たちの肖像

作家名	作品名	制作年
1. 聖なる母		
桐谷 洗鱗	子安観音(聖母像)	不明*
木津 一夫	未来への遺産Ⅱ	1987
不詳	イコン：カザンの聖母	19世紀
不詳	イコン：聖ソフィア	18世紀
不詳	イコン：キリストの復活と十二大祭	19世紀
宮 芳平	聖地巡礼シリーズ	1966-70
	1 マリアの驚き	
	2 降誕	
	3 逃避	

【前期】

A. デューラー	黙示録屏絵 聖母子を仰ぎ見るヨハネ	1498 (1511の版)
----------	-------------------	------------------

【後期】

K. カスパー	現代ドイツ版画家集 聖マリアの聖エリザベツ訪問	1917
---------	-------------------------	------

2. 画家の母

武石弘三郎	母	1917
K. コルヴィッツ	母と二人の子	1932-36
牛腸 茂雄	SELF AND OTHERS	1977
栢森 義	黄色いドレス	1973
栢森 義	雪女	1967
穂刈 春雄	大河渡る	2002
荒井 一郎	母と子	1950
岩田 正巳	母と子	不明
横山 操	母子	1958
岩川 義雄	山羊	1951
三輪 晃勢	草の上	1947
長谷部権次呂	遊	1991
明田川 孝	母と子	1954

【前期】

N. ドロネー (原画:J.H. フラガール)	良き母親	1799以前*
----------------------------	------	---------

F. ゴヤ	戦争の惨禍	1810年代(1863初版)
	5. やはり野獣だ	
	44. 私は見た	
	45. そしてこれも見た	
	50. かわいそうなお母さん!	
	52. 遅かった	
F. ゴヤ	カブリーチョス	1799刊行
	3. ほら、お化けが来るよ	
	25. 水桶を壊したばかりに	
	65. ママ、どこへ行くの	

【後期】

K. コルヴィッツ	戦争	1922-23
	1. 犠牲	
	3. 両親	
	4. 未亡人Ⅰ	
	5. 未亡人Ⅱ	
	6. 母親	
	7. 群衆	

*は寄託作品

展示室2 近代美術館の名品

作家名	作品名	制作年
A. フォンタネージ	ブジェイ高原	1858-60
J=E. ミレイ	アリス・グレイの肖像	1859
G. クールベ	エトルタ海岸、夕日	1869
C. コロー	ビプリ	1874-75
C. モネ	コロンプの平原、霜	1873
A. ロダン	考える人	1880
小山正太郎	仙台の桜	1881
岸田 劉生	冬枯れの道路(原宿附近写生)	1916
佐伯 祐三	広告塔	1927
里見 勝蔵	赤と緑の静物	1928
安井曾太郎	読書	1942
梅原龍三郎	紫禁城	1942
藤田 嗣治	私の夢	1947
佐藤 哲三	残雪	1952
脇田 和	あらそい	1955
児島善三郎	森と聚落	1958
宮 芳平	きざし	1959-64
糸園和三郎	鳩	1958
山口 薫	林と動物	1958
斎藤 義重	作品1	1957
阿部 展也	SCRITTURA IN BIANCO	1963
前田 常作	人間誕生6	1963
桂 ゆき	異邦人	1961
富岡惣一郎	作品	1963
佐々木象堂	蠟型銅鋼獣装耳小花入	1959
岩田 正巳	いかづち	1955
加山 又造	月と駱駝	1957
麻田 鷹司	緒那智	1960
横山 操	高速四号線	1964
下村良之介	旅	1961
三上 誠	作品	1967-68
工藤 甲人	夜	1963
東山 魁夷	森の静寂	1964
小島 丹濑	待つ	1965
宮田 宏平(三代莚堂)	蠟型鍍金・終わりのない物語「恋秤」	1983

ロビー

竹田 康宏	Under the leaves	1994
-------	------------------	------

回廊

新保 兵次郎	帰巢	1969
竹田 康宏	Under the leaves	1994

展示室3 手は語る

作家名	作品名	制作年
M. ドニ	夕映えの中のマルト	1892
中村 彝	洲崎義郎氏の肖像	1919~4/22
高村 真夫	女	1920年代後半
田中 道久	舞妓	1934
牧野 虎雄	T婦人像	1928
安宅安五郎	姉弟	1931
酒井 三良	籠居雪聲	1931
安宅 庸雄	子守と幼児	1935
矢部 友衛	わらを打つ	1951

【前期】

M. ベビシュタイン	われらの父よ(主の祈り)	1921 刊行
	カヴァー用木版画	
	扉絵	
	天にましますわれらの父よ	
	御名が崇められますように	
	御国が来ますように 御心が天におけるように地の上にも行われますように	
	われらに日々の糧を今日も与えてください	
	われらの負い目を赦してください	
	われらが自分たちに負い目あるものを赦しましたように	
	われらを誘惑に遭わせないでください	
	さもくば、悪いものから救って下さい	
	御国はあなたのものだからです	
	そしてその力と栄光は	
	永遠に アーメン	
M. クリンガー	オヴィディウス「変身譚」の犠牲者たちの救済	1879(1898第5刷)
	呼びかけ(絵画の捧げ物)	
	ピュラモスとティスベ(I)	
	ピュラモスとティスベ(II)	
	ライオン(ピュラモスとティスベII)	
	遭遇(ピュラモスとティスベIII)	
	とどのつまり(ピュラモスとティスベIV)	

【後期】

亀倉 雄策	東京オリンピック 公式ポスター第2号	1962
中村 誠	追悼・亀倉雄策	1998
和田 誠	追悼・亀倉雄策	1998
福田 繁雄	追悼・亀倉雄策	1998
山本 容子	追悼・亀倉雄策	1998
サイトウ・マコト	追悼・亀倉雄策	1998
浅葉 克己	ヒロシマ・アビールズ2009「忘れてはならない戦乱 815」	2009
早川 良雄	ヒロシマ・アビールズ 1986「子供と鳩」	1986
福田 繁雄	ヒロシマ・アビールズ 1985「地球」	1985
福田 繁雄	世界都市博	1996
亀倉 雄策	土門拳記念館 千手観音	1996
E. バルラッハ	ロシアの恋人たち	1908
北川 民次	両手に囲まれるバツタ	1971
北川 民次	手のひらのうえのバツタ	1971
北川 民次	バツタと三人の女	1971
北川 民次	抱擁	1979
北川 民次	大写しの母子	1972
北川 民次	母子像	制作年不明

第2期 2018年5月20日(木)～7月1日(日)(35日間)

展示室1 近代美術館の名品＜日本編＞

展示室2 亀倉雄策賞 1999-2017

展示室3 近代美術館の名品＜海外編＞

近代美術館の名品＜日本編＞

【趣 旨】

改修工事による休館期間直前のテーマとして、展示室1では当館所蔵品中の名品から日本人作家の作品を展示した。絵画作品では日本画、洋画、新潟の作家、日本の作家をそれぞれ選定し、また工芸作品から新潟県出身の重要無形文化財保持者4名の作品を展示した。

【総 括】

- 評価すべき点
 - ・展示する機会の比較的小さい軸や屏風を多く展示することができた。
- 検討課題
 - ・広さに限りのある展示室で日本の美術のすべての分野を網羅して展示することは難しく、版画や彫刻は展示できなかった。

担当 宮下東子

近代美術館の名品＜海外編＞

【趣 旨】

休館前のテーマとして、当館所蔵品の中から海外作家の名品を重点的に紹介した。フランス風景画、ジャポニズムの絵画、版画、彫刻を選定し展示した。

【総 括】

- 評価すべき点
 - ・当館名品と合わせて寄託作品も展示し、当館コレクションの系統の中に位置づけることができた。
- 検討課題
 - ・展示室3という最も小さい展示室の中で、海外作品を網羅的に紹介することは難しく、海外作品の収集方針の一つであるドイツ表現主義の作品まで紹介することができなかった。

担当 松本奈穂子

亀倉雄策賞 1999-2017

【趣 旨】

「亀倉雄策賞」は、広く世界のデザイン界に影響を与え続けた故・亀倉雄策氏の業績をたたえ、グラフィックデザインのさらなる発展を目指して1999年に設立された。対象となるのは公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会が毎年発行する年鑑『Graphic Design in Japan』に応募された作品の中から、年齢やキャリアを問わず、最も輝いている作品とその制作者に贈られる。

新潟県立近代美術館・万代島美術館では、本県出身の亀倉雄策氏の作品および資料を多数収蔵しており、同賞受賞作品についても第1回から収集してきた。本展では、当館の所蔵する第1回から19回までの受賞作品を一堂に会し、この20年間の日本のデザインの歩みを振り返る機会とした。

【総 括】

- 評価すべき点
 - ・初回からすべての受賞作品を年代順に展示し、各作家の受賞コメントや選考経緯もあわせて展示することで、時代ごとの作品の意義をあらためて伝えることができた。
 - ・同時期に新潟市で開催されたJAGDA総会と連携することで、広報や誘客を積極的に行った。
- 検討課題
 - ・多様な形態のデザイン作品をより効果的に展示するには、ケースやフレームの選択等に一層の工夫が必要である。

担当 濱田真由美

【出品リスト】

展示室1 近代美術館の名品＜日本編＞

作家名	作品名	制作年
小林 古径	雨	1917
菱田 春草	放鶴	1904
横山 大観	早春	1924
尾竹 越堂	渡し	大正初期
土田 麦僊	山茶花	1933
小野 竹喬	黍熟るる島	1917
小杉 放菴	春秋屏風	1937
加山 又造	月と駱駝	1957
横山 操	潮来の夕	1960
高村 真夫	春日野	1911
小山正太郎	仙台の桜	1881
岸田 劉生	冬枯れの道路(原宿附近写生)	1916
吉原 治良	静物	1929
佐伯 祐三	広告塔	1927
牧野 虎雄	秋近き濱	1934
梅原龍三郎	紫禁城	1942
安井曾太郎	読書	1942
藤田 嗣治	私の夢	1947
岡 鹿之助	朝の城	1970
高間 惣七	海風	1959
中川 一政	李朝三島手偏壺図	1949
佐々木象堂	鍔銅色絵鷗哥置物	1940
5代 伊藤赤水	無名異練上花紋角壺	2013
三浦小平二	青磁蓋物(ラジャスタン文)	1991
玉川 宣夫	木目金花瓶	2009

展示室2 亀倉雄策賞 1999-2017

作家名	作品名	制作年
亀倉 雄策	東京オリンピック 公式ポスター第1号	1961
田中 一光	サルヴァトーレ・フェラガモ展「華麗なる戦」	1998
永井 一正	Life	1999
原 研哉	『紙とデザイン』	2000
佐藤可士和	Smap	2000
仲條 正義	仲條のフジのヤマイ	2002
服部 一成	『流行通信』	2002-04
服部 一成	『流行通信 Extra issue "GRAPHIC"』	2004
勝井 三雄	視覚の地平 visionary ∞ scape	2004
松永 真	ISSIMBOW "Katashi-koh"パッケージデザイン	2006
松永 真	ISSIMBOW キービジュアル	2005
佐藤 卓	立ち上がる水(「water」展のためのポスター)	2007
植原 亮輔	THEATRE PRODUCTS	2004-09
浅葉 克己	ミサワデザイン 2009 パウハウス	2009
澁谷 克彦	SHISEIDO	2011
平野 敬子	東京国立近代美術館60周年	2012
葛西 薫	ヒロシマ・アビールズ 2013 原画	2013
葛西 薫	ヒロシマ・アビールズ 2013 「夏の陽のまぶしさ」	2013
佐野研二郎	HOKUSAI LINE	2014
三木 健	APPLE+	2015
渡邊 良重	AUDREY クリスマス 2015	2015
渡邊 良重	AUDREY	2014

回廊

竹田 康宏	Under the leaves	1994
-------	------------------	------

ロビー

エミリオ・スカヴィーノ	Prezenza Passiva 覚書	1961 *
竹田 康宏	Under the leaves 98 AU Let's stay right here	1998

展示室3 近代美術館の名品＜海外編＞

作家名	作品名	制作年
C-F. ドービニー	オウーズ河、イル・ド・ヴォーの夜明け	1869
G. クールベ	エトルタ海岸、夕日	1869
C. モネ	コロンプの平原、霜	1873
A. フォンタネージ	ブジェイ高原	c1858-60
C. トロワイヨン	りんごの取り入れ	c1840
T. ルソー	ボートに乗る人のいる夏の風景	c1845
C. コロー	ビブリー	1875
J. デュプレ	羊飼ひ	c1883
V. ファン＝ゴッホ	長い棒を持つ農婦	1885 *
J-F. ミレー	落ち穂拾ひ	1855-56 *
E. ベルナール	サン・ブリアクの収穫	1887
E. ベルナール	ブルターニュの谷間の風景	不明
E. ベルナール	青い肩かけのブルターニュ婦人	1887
P. ボナール	パリ生活の諸相	1895-99
	2. 並木道	
	5. 上方から見た街路	
	11. 街路・夕暮れ・雨	
H. リヴィエール	エッフェル塔三十六景	1902
	1. 扉絵	
	12. パリ祭	
	23. コンコルド広場	
H. オットマン	屏風の前の裸婦	c1920
M. ドニ	夕映えの中のマルト	1892
A. ロダン	花子のマスク	c1907 *
A. ロダン	考える人	1880
J-E. ミレイ	アリス・グレイの肖像	1859

*は寄託作品

企 画 展



ディズニー・アート展 いのちを吹き込む魔法

【趣 旨】

ミッキーマウスの誕生作から最新作「モアナと伝説の海」まで、約90年分の原画等約500点を展示。数々の傑作を生み出したウォルト・ディズニー・アニメーション・スタジオの想像力と技術の軌跡を紹介。

【総 括】

●評価すべき点

- ・関係者と打ち合わせを重ね、ディズニーのクオリティ高い展示空間を提供することができた。
- ・これまであまり美術館に訪れたことが無い層が、近代美術館へ来館するきっかけとなった。

●検討課題

- ・来場者が目標を大きく下回った。殆どが初出展の展示であったが、前回のディズニー展から来場者の幅を広げることではできなかった。
- ・様々な制約やプロセスが必要とされ、従来どおりの広報展開やイベントの実施が難しかった。こういった独特のルールを視野に入れた、早期の対応と対策が必要だろう。

【開催日・その他】

=2018年4月1日(土)～5月13日(日) (40日間)=

※全体会期は2月17日(土)～5月13日(日) (78日間)

休館日：4月9日(月)、16日(月)、23日(月)

主 催：新潟県立近代美術館、TeNYテレビ新潟、ディズニー・アート展新潟実行委員会

協 賛：大日本印刷

協 力：日本航空、日本通運、新潟県立美術館友の会

企画協力：日本科学未来館

特別協力：ウォルト・ディズニー・ジャパン

企画制作：ウォルト・ディズニー・アニメーション・リサーチ・ライブラリー

後 援：長岡市、長岡市教育委員会、(公財)長岡市芸術文化振興財団、新潟県小学校長会、新潟県中学校長会、新潟県特別支援学校長会、新潟県高等学校長協会、読売新聞新潟支局、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM ながおか 80.7

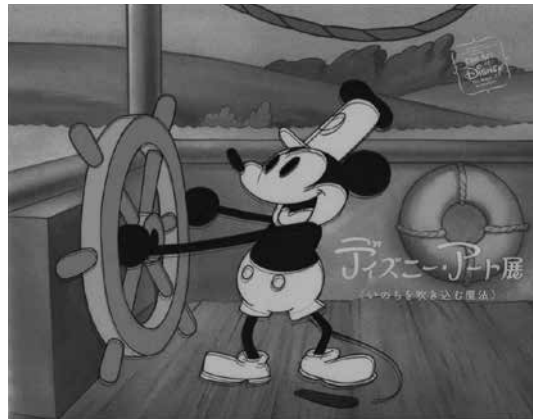
観覧料：一般……………1,500円(1,300円)〈1,300円〉

大学・高校生……………1,300円(1,100円)〈1,100円〉

※中学生以下無料

※ () 内は有料20名以上の団体料金

※ 〈 〉 内は前売券料金



【関連行事】

- ・ディズニー映画上映会
「ピノキオ」(1940年・88分)
4月14日(土) 14:00～ 講堂
参加者数：60名
「ファンタジア」(1940年・125分)
4月21日(土) 14:00～ 講堂
参加者数：68名
「101匹わんちゃん」(1961年・79分)
4月28日(土) 14:00～ 講堂
参加者数：69名
- ・ワークショップ
「ゾートローブを作ろう」
4月21日(土) 10:00～11:30 企画展示室前アプローチ
【講師】藤田裕彦（当館学芸課長）
参加者数：24名
- ・託児DAY（全4回）
サービス提供：ホッとHOUSE
各日3回
① 10:00～12:00／② 12:00～14:00／
③ 14:00～16:00
第3回 4月8日(日)
利用者数：1名
第4回 4月18日(水)
利用者数：4名

※平成29年度実施イベントは、同年度年報に掲載。

【図 録】

- 仕 様：A4判横型変形 296頁
- 編 集：齋藤睦志（株式会社クラフトワークス）
- デザイン：彦根大助
- 編集協力：株式会社吉香、井筒理枝子、三井つう
- 印刷・製本：大日本印刷株式会社
- 発 行：日本テレビ報道網株式会社
- 内 容：ごあいさつ
- 寄稿
 - ー ジョン・ラセター「アニメーションの歴史に学ぶ」
 - ー アラン・メンケン「音楽とアニメーションで描かれる新しい世界」
 - ー ジョン・マスカー、ロン・クレメンツ「自らの“山”を知る」
 - ー メアリー・ウォルシュ「芸術を守り継いでいくために」
- 本書について
動き出すいのち 重力を持ったキャラクターたちの誕生
魔法のはじまり あくなく研究と開発の日々
魔法の使い手たち 表現の多様化とひろがる世界観
新たな次元へ デジタル、ミュージカルの海へ
つながるいのち 多様な社会や地球の未来に向けて
- 付記
- 寄稿
 - ー 内田まほろ「ディズニーの発明—いのちを吹き込む魔法」
 - ー おかだえみこ「ディズニーのなしたげたこと」
 - ー 藤田裕彦「ディズニー・アニメーションの魅力」
 - ー 叶精二「ディズニー長編を支えたアニメーターの系譜」
 - ー 片瀬須直（インタビュー）「ディズニーの作画方法から学べること」
- 展示作品リスト

【関連記事】

●新聞

長岡新聞 (12/21、2/24、4/24)

みつけ新聞 (1/1)

栃尾タイムス (1/15、3/5)

十日町新聞 (1/18)

妻有新聞 (2/3)

朝日新聞 (2/17)

読売新聞 (2/17、3/19、4/18)

新潟日報 (4/18)

〈連載〉

読売新聞「ディズニー・アート展 いのちを吹き込む魔法」

作品紹介コラム

①ブレーン・クレイジー／伊澤朋美 (4/17)

②ピノキオ／藤田裕彦 (4/18)

③101匹わんちゃん／伊澤朋美 (4/20)

④美女と野獣／伊澤朋美 (4/24)

⑤ズートピア／藤田裕彦 (4/25)

●雑誌

新潟よみうり 1/1号、2/23号

長岡よみうり 3/23号、4/8号

新潟WEEK! 1/18号、2/18号、3/18号

月刊にいがた 1/25号、3/25号、4/25号

月刊新潟Komachi 1/25号、2/25号、3/25号

月刊ウインド 4/1号「タイラのイラストルポ」

まるごと生活情報 4/28

●テレビ

TeNY リコピンスペシャル

1/8～2/16、4/11～5/14

TeNY タワイド新潟一番

9/29、2/16、3/23 (中継)、3/30、4/13、4/16

●ラジオ

〈イベント〉

3月23日 FM-NIIGATA「ディズニー・アート展《いのちを吹き込む魔法》クルーズツアー feat.上村知世」

●その他

Tジョイ長岡 映画チケット半券提示で当日100円引実施

【観覧者数】

※4/1～5/13

有料観覧者数	当日	18,043
	前売	2,824
無料観覧者数	招待	2,331
	無料	8,255
	免除	1,394
総観覧者数		32,847
有料率 (%)		63.5

※全会期 (2/17～5/13)

有料観覧者数	当日	29,070
	前売	4,941
無料観覧者数	招待	3,412
	無料	9,120
	免除	7,551
総観覧者数		54,094
有料率 (%)		62.9

音声ガイド貸出あり

担当 伊澤朋美



白寿 江口草玄のすべて

【趣 旨】

柏崎出身の江口草玄氏が平成30年（2018）、99歳（かぞえ百）を迎えられる。八十年を超える制作活動では、書の革新に身を投じ、個の表現に徹してきている。また一方、子供たちへの書教育でも、各々の個性を尊重した活動を、『ひびき』誌を通じて実践した。これら一世紀に亘る生涯のすべてを書作品をはじめ、資料等から全貌を五部構成で辿り、草玄氏の書に対する姿勢、思いを探る。

【総 括】

●評価すべき点

- ・ 江口草玄の一世紀に亘る生涯について、網羅的に調査し、数多く新事実や証拠を発見することができた。
- ・ 四半世紀近く追い続け、また、発見できた証拠等から、実証的に展示や図録に反映することができた。
- ・ 全国から来館者が見え、当館を広域に周知できた。

●検討課題

- ・ 書に対する人々の関心が薄い。伝統的な習字教育が招いた結果と思われるが、個性と多様性とがまことしやかに唱われる現在、少数派が特殊な目で見られている現実をどのように変えるか、難題である。しかし、引き続き書の展覧会を開催していくことが打開の第一歩と考える。

【開催日・その他】

＝2018年5月26日(土)～7月1日(日)（32日間）＝

休館日：5月28日(月)、6月4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)

主 催：新潟県立近代美術館

後 援：長岡市、柏崎市、長岡市教育委員会、柏崎市教育委員会、柏崎商工会議所、新潟日报社、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、長岡新聞社、柏崎日报社、(株)柏新時報社

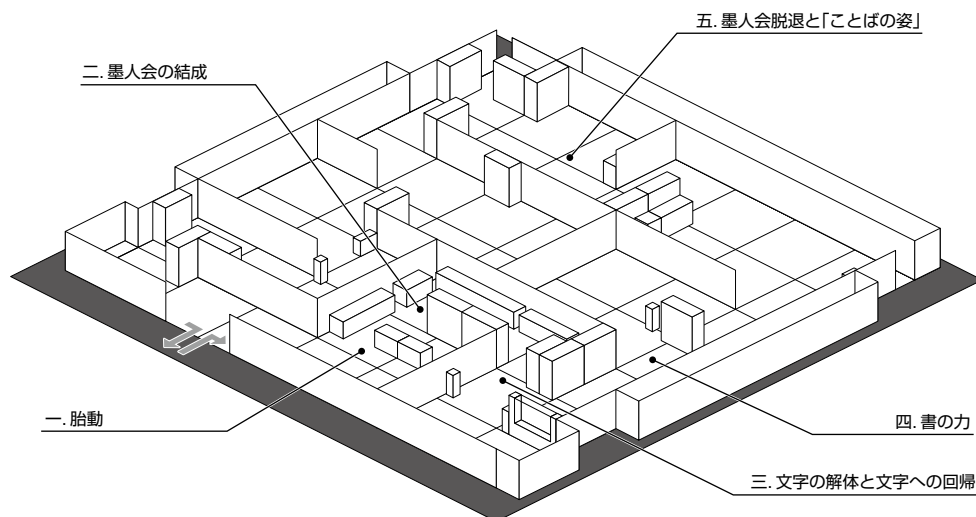
観覧料：一般……………800円(600円)〈600円〉

大学・高校生……………600円(400円)

※中学生以下無料

※（ ）内は有料20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売券料金



【関連行事】

- ・講座 6/9 「江口草玄の一世紀を辿る」
講師 松矢国憲 (当館専門学芸員)
14:00 ~ 15:45 40名
- ・解説会 各回 14:00から
 - 5/27 10名
 - 6/3 10名
 - 6/17 10名
 - 6/24 15名
 - 7/1 17名
- ※ 6/5 新潟県書道協会 24名
- 6/15 長岡公民館書道教室 23名



【図録】

- 仕様: 293 × 222mm 296頁
- 編集: 新潟県立近代美術館
- 制作: 株式会社中央印刷
- 発行: 新潟県立近代美術館
- 内容: ごあいさつ
 - 謝辞
 - 目次
 - 「こんどの展覧会」 江口草玄
 - 「白(百)寿 江口草玄のすべてに一步でも近づきたい」 松矢国憲
 - 〈図版〉
 - 一、胎動
 - 二、墨人会の結成
 - 三、文字の解体と文字への回帰
 - 四、書の力
 - 五、墨人会脱退と「ことばの姿」
 - 〈資料〉
 - 年譜
 - 江口草玄作品目録
 - 『山階通信』一覧
 - 『山階通信』(抄)
 - 江口草玄語録(抄)
 - 〔参考〕墨人会展・回数異同表
 - 文献目録
 - 出品一覧



【関連記事】

●新聞

- 6月12日(火) 新潟日報
「展覧会へようこそ 白寿 江口草玄のすべて」／松矢国憲
- 6月18日(月) 柏崎日報
「江口草玄の書をみるゝひびき。を楽しむ」
／相澤五峰
- その他 長岡新聞 (4/17、6/5)
書道美術新聞 (5/1)
十日町新聞 (5/3)
妻有新聞 (5/12)
新潟日報 (5/26)
柏新時報 (6/1)

●雑誌

- 書道界 第30巻第6号通巻343号
「白寿 江口草玄のすべて」
- 書現 第51巻第7号通号594号
「表紙を語る 白寿 江口草玄展」／梅木陽一
- メディカルクオール6月号
「峰順一の全国美術館めぐり99 新潟県立近代美術館
上～熱い心をもった郷土の画家たち～」
- 月刊にいがた5月号
週刊Voice! 5/12
ジャックランド5月号
書道界6月号

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	823
	前売	36
無料観覧者数	招待	545
	無料	279
	免除	361
総観覧者数		2,044
有料率 (%)		42.0

担当 松矢国憲

【出品リスト】

No	作品名	制作年	寸法(縦×横cm)	材質／形状	初出等	所蔵
1	野ばら	昭和二十五年(一九五〇)	33.0×47.0	墨、紙／軸装	第一回書的美公募展	当館蔵
2	小閣詩書自有□	不明	11.0×22.8	墨、紙／まくり		個人蔵
3	不明	不明	18.8×26.0	墨、紙／まくり		個人蔵
4	玄遠	昭和二十六年(一九五一)	31.0×61.8	墨、紙／軸装		個人蔵
5	釋處默詩「聖果寺」	昭和二十六年(一九五一)	138.2×387.0	墨、紙／六曲一隻屏風		安住寺 薩美陽一蔵
6	(α部)『墨美』第九号	昭和二十七年(一九五二)	9.0×5.5	墨、紙／まくり		個人蔵
7	(α部)『墨美』第十号	昭和二十七年(一九五二)	12.6×15.0	墨、紙／まくり		個人蔵
8	不明	昭和二十七年(一九五二)頃	10.8×22.4	墨、紙／まくり		個人蔵
9	無為	昭和二十七年(一九五二)	34.4×64.0	墨、紙／まくり		個人蔵
10	日如年	昭和二十七年(一九五二)	34.4×64.0	墨、紙／まくり		個人蔵
11	(α部)『墨美』第十一号	昭和二十七年(一九五二)	20.3×34.1	墨、紙／まくり		個人蔵
12	作品一	昭和二十七年(一九五二)	14.3×68.3	墨、紙／まくり		個人蔵
13	(α部)『墨美』第十二号	昭和二十七年(一九五二)	14.4×28.7	墨、紙／まくり		個人蔵
14	紫雲	昭和二十七年(一九五二)	7.3×41.7	墨、紙／まくり		個人蔵
15	老子第一章	昭和二十七年(一九五二)	各9.9×9.9×5点	墨、紙／まくり		個人蔵
16	『墨人』第五号表紙	昭和二十七年(一九五二)	26.6×24.5	墨、紙／まくり		個人蔵
17	累	昭和二十七年(一九五二)	12.2×14.0	墨、紙／まくり		個人蔵
18	莊子 外物篇	昭和二十七年(一九五二)	17.7×17.4	墨、紙／軸装		安住寺 薩美陽一蔵
19	楚中	昭和二十七年(一九五二)	34.0×35.0	墨、紙／まくり		個人蔵
20	法華経 自我偈	昭和二十七年(一九五二)	51.6×50.4	墨、紙／まくり		個人蔵
21	墨人	昭和二十七年(一九五二)頃	14.8×27.5	墨、紙／まくり		個人蔵
22	墨人	昭和二十七年(一九五二)頃	17.8×33.0	墨、紙／まくり		個人蔵
23	洞山三頓	昭和二十八年(一九五三)	56.5×134.0	墨、紙／まくり	現代美術懇談会二月例会	個人蔵
24	不明	不明	21.3×14.8	墨、紙／まくり		個人蔵
25	作品No.4	昭和三十年(一九五五)	100.0×68.0	墨、紙／パネル装	墨人会展(一九五五)	個人蔵
26	作品No.6	昭和三十年(一九五五)	131.5×98.0	墨、紙／パネル装	現代日本の書と墨の芸術	当館蔵
27	作品No.7	昭和三十年(一九五五)	98.0×131.5	墨、紙／パネル装	現代日本の書と墨の芸術	個人蔵
28	刻野	昭和三十年(一九五五)	63.8×115.0	墨、紙／額装	第三回ゲンビ展	当館蔵*
29	窟	昭和三十一年(一九五六)	134.0×124.5	墨、紙／額装	墨人会展(一九五六)	当館蔵
30	淵	昭和三十二年(一九五七)	69.0×120.7	墨、紙／額装	墨人ロンドン展	当館蔵*
31	翼	昭和三十二年(一九五七)	149.5×83.0	墨、紙／額装	墨人会展(一九五七)	当館蔵*
32	己	昭和三十五年(一九六〇)	122.5×162.3	墨、紙／額装	墨人会展(一九六〇)	当館蔵*
33	久遠	昭和三十六年(一九六一)	93.0×59.7	墨、紙／額装	意味と記号-日本の現代の大家たちの書	当館蔵*
34	破	昭和三十六年(一九六一)	92.5×125.5	墨、紙／パネル装	意味と記号-日本の現代の大家たちの書	当館蔵*
35	天心	昭和三十六年(一九六一)	91.5×123.5	墨、紙／パネル装	墨人会展(一九六一)	当館蔵*
36	偕	昭和三十七年(一九六二)	12.0×12.0	墨、紙／冊子張り込み	墨人会展(一九六二)	個人蔵
37	関	昭和三十七年(一九六二)	12.0×12.0	墨、紙／冊子張り込み	墨人会展(一九六二)	個人蔵
38	恵	昭和三十七年(一九六二)	12.0×11.8	墨、紙／額装	墨人会展(一九六二)	当館蔵*
39	刻	昭和三十八年(一九六三)	179.0×119.5	墨、紙／額装	墨人会展(一九六三)	当館蔵*
40	四十三	昭和三十八年(一九六三)	180.0×120.0	墨、紙／軸装	墨人会展(一九六三)	当館蔵*
41	川	昭和三十八年(一九六三)	179.0×119.5	墨、紙／額装	墨人会展(一九六三)	当館蔵*
42	雷	昭和三十九年(一九六四)	120.0×180.0	墨、紙／軸装	墨人名古屋展(一九六四)	当館蔵*
43	恵	昭和三十九年(一九六四)	180.0×120.0	墨、紙／軸装	墨人名古屋展(一九六四)	当館蔵*
44	天心	昭和三十九年(一九六四)	64.5×48.5	墨、紙／額装	墨人名古屋展(一九六四)	当館蔵
45	不動明王	昭和三十九年(一九六四)	180.0×240.0	墨、紙／パネル装	墨人会展(一九六四)	当館蔵
46	風	昭和三十九年(一九六四)	120.0×180.0	墨、紙／軸装	墨人会展(一九六四)	当館蔵*
47	風無門自開	昭和三十九年(一九六四)	180.0×120.0×5幅	墨、紙／軸装	墨人会展(一九六四)	当館蔵*
48	風無門自開	昭和四十年(一九六五)	180.0×120.0×6幅	墨、紙／軸装	江口草玄書作展	当館蔵*
49	瞬	昭和四十年(一九六五)	180.0×241.0	墨、紙／パネル装	江口草玄書作展	当館蔵*
50	光	昭和四十年(一九六五)	123.5×179.8	墨、紙／パネル装	江口草玄書作展	当館蔵*

51 地	昭和四十年(一九六五)	120.5×179.0	墨、紙／パネル装	江口草玄書作展	当館蔵*
52 風	昭和四十年(一九六五)	124.0×179.0	墨、紙／パネル装	江口草玄書作展	当館蔵*
53 水	昭和四十年(一九六五)	121.7×179.7	墨、紙／パネル装	江口草玄書作展	当館蔵*
54 無	昭和四十年(一九六五)	10.5×10.5	墨、紙／額装		個人蔵
55 安	昭和四十年(一九六五)	73.0×140.0	墨、紙／パネル装	江口草玄書作展	個人蔵
56 不識	昭和四十一年(一九六六)	68.5×138.0	墨、紙／額装	墨人東京展(一九六六)	個人蔵
57 一機一瞬	昭和四十一年(一九六六)	210.0×735.0	墨、紙／パネル装	墨人会展(一九六六)	当館蔵
58 一息	昭和四十一年(一九六六)	67.0×140.0	墨、紙／軸装	墨人会展(一九六六)	当館蔵*
59 無碍	昭和四十一年(一九六六)	69.0×137.0	墨、紙／軸装	墨人会展(一九六六)	当館蔵*
60 閑	昭和四十二年(一九六七)	69.5×112.0	墨、紙／額装	第一回日本現代書展	個人蔵
61 金剛	昭和四十二年(一九六七)	136.0×68.5	墨、紙／軸装		個人蔵
62 帰	昭和四十三年(一九六八)	70.0×85.0	墨、紙／額装	第二回日本現代書展	個人蔵
63 尋	昭和四十三年(一九六八)	138.0×69.5	墨、紙／額装	墨人会展(一九六八)	個人蔵
64 帰	昭和四十三年(一九六八)	69.5×124.0	墨、紙／額装	墨人会展(一九六八)	個人蔵
65 水花満堂	昭和四十三年(一九六八)	140.0×278.0	墨、紙／四曲一隻屏風	江口草玄・今岡徳夫二人展	安住寺 薩美嶋一蔵
66 満堂	昭和四十四年(一九六九)	139.0×138.0	墨、紙／二曲一隻屏風	第三回日本現代書展	当館蔵*
67 無	昭和四十四年(一九六九)	69.4×99.6	墨、紙／額装		当館蔵*
68 無常	昭和四十五年(一九七〇)	103.5×52.5	墨、紙／パネル装	第四回日本現代書展	個人蔵
69 てまりつく	昭和四十五年(一九七〇)	104.2×52.7	墨、紙／パネル装	第四回日本現代書展	個人蔵
70 花のあられ	昭和四十五年(一九七〇)	52.5×104.0	墨、紙／額装	第四回日本現代書展	個人蔵
71 無常	昭和四十五年(一九七〇)	106.0×52.0	墨、紙／パネル装	第二回墨人関西展	個人蔵
72 山頭火句(2)捨てきれない荷物の重さまへうしろ	昭和四十五年(一九七〇)	103.5×52.0	墨、紙／額装	墨人会展(一九七〇)	個人蔵
73 山頭火句(4)うつむいて石ころばかり	昭和四十五年(一九七〇)	104.0×52.0	墨、紙／額装	墨人会展(一九七〇)	個人蔵
74 こんないい月	昭和四十六年(一九七一)	33.0×32.7	墨、紙／軸装	墨人会展(一九七一)	個人蔵
75 なんにもない	昭和四十六年(一九七一)	28.0×51.5	墨、紙／軸装	墨人会展(一九七一)	個人蔵
76 入れものがない	昭和四十七年(一九七二)	46.5×30.5	墨、紙／軸装	ドイツ個展(一九七三)	個人蔵
77 てふてふひらひら	昭和四十八年(一九七三)	39.0×28.0	墨、紙／軸装	墨人会展(一九七三)	個人蔵
78 地べたのぬくとさ	昭和四十八年(一九七三)	18.7×21.7	墨、紙／軸装	墨人会展(一九七三)	個人蔵
79 ふところの焼き芋のあたたかさ(放哉)	昭和四十八年(一九七三)	30.5×40.5	墨、紙／額装	墨人会展(一九七三)	個人蔵
80 あつい飯がたけた	昭和四十八年(一九七三)	27.2×24.4	墨、紙／色紙		安住寺 薩美嶋一蔵
81 てふてふひらひらいらかをこえた	昭和四十九年(一九七四)	30.6×40.4	墨、紙／軸装	第八回日本現代書展	個人蔵
82 石ころをける	昭和四十九年(一九七四)	53.0×30.4	墨、紙／軸装	墨人会展(一九七四)	個人蔵
83 石ころをすてる	昭和五十年(一九七五)	31.3×28.7	墨、紙／軸装	西ドイツ巡回二十世紀日本書道展	個人蔵
84 はかなさは	昭和五十年(一九七五)	31.5×29.0	墨、紙／軸装	墨人会展(一九七五)	当館蔵
85 たったひとり	昭和五十年(一九七五)	16.3×22.2	墨、紙／額装	西ドイツ巡回二十世紀日本書道展	個人蔵
86 どっさりの春	昭和五十一年(一九七六)	29.2×31.5	墨、紙／額装	『草玄ことば書き』	個人蔵
87 手をうてば木魂	昭和五十二年(一九七七)	33.6×44.0	墨、紙／額装	『草玄ことば書き』	個人蔵
88 むらむらほのかに	昭和五十二年(一九七七)	34.4×45.2	墨、紙／額装	『草玄ことば書き』	個人蔵
89 かぜたちふく	昭和五十二年(一九七七)	27.0×35.0	墨、紙／額装	『草玄ことば書き』	個人蔵
90 かゆのにえてくるおと	昭和五十二年(一九七七)	31.7×33.0	墨、紙／額装	『草玄ことば書き』	個人蔵
91 てんきなり	昭和五十二年(一九七七)	34.0×33.0	墨、紙／額装	『草玄ことば書き』	個人蔵
92 ひのないひばち	昭和五十二年(一九七七)	34.6×33.1	墨、紙／額装	『草玄ことば書き』	個人蔵
93 まよってきたまんま	昭和五十二年(一九七七)	35.2×45.3	墨、紙／額装	『草玄ことば書き』	個人蔵
94 忘筌	昭和五十五年(一九八〇)	135.5×140.0	墨、紙／二曲一隻屏風	草玄の書・南海雄の書	当館蔵*
95 たぶれたる狐たたすみ	昭和五十五年(一九八〇)	30.0×43.5c	墨、紙／額装	草玄の書・南海雄の書	個人蔵
96 徳不孤(論語より)	昭和五十五年(一九八〇)	23.4×51.2	墨、紙／額装		個人蔵
97 花眼	昭和五十六年(一九八一)	137.5×275.2	墨、紙／四曲一隻屏風	草玄の書・南海雄の書	当館蔵*
98 美しきあごととあへり能登時雨(鮎山実「少長集」)	昭和五十六年(一九八一)	51.3×52.0	墨、紙／額装	草玄の書・南海雄の書	個人蔵
99 目玉むいた木偶坊	昭和五十九年(一九八四)	33.6×44.7	墨、紙／額装	草玄の書・南海雄の書	個人蔵
100 ゆるやかに着てひとと逢う堂の夜(桂信子「月光抄」)	昭和五十九年(一九八四)	42.7×33.7	墨、紙／額装	草玄の書・南海雄の書	個人蔵
101 一期は夢よ(閑吟集)	昭和五十九年(一九八四)	28.0×47.0	墨、紙／軸装	草玄の書・南海雄の書	当館蔵

102 野に	昭和五十九年(一九八四)	24.0×18.5	墨、紙／軸装	草玄の書・南海雄の書	個人蔵
103 行けども荒野	昭和五十九年(一九八四)	34.5×44.5	墨、紙／額装	草玄の書・南海雄の書	当館蔵
104 無事	昭和六十二年(一九八七)	34.8×92.4	墨、紙／軸装	八月の会展(一九九七)	個人蔵
105 のどけかれ	昭和六十二年(一九八七)頃	30.0×23.0	墨、紙／額装	江口草玄漢字展	当館蔵*
106 あんばいのよい朔日の空(武玉川)	昭和六十三年(一九八八)	33.6×42.7	墨、紙／額装	ことばの姿 江口草玄の書	当館蔵*
107 忘貧	昭和六十三年(一九八八)	43.2×68.5	墨、紙／額装	ことばの姿 江口草玄の書	当館蔵*
108 筆をなめるが嫂の癖(武玉川)	昭和六十三年(一九八八)	34.2×44.5	墨、紙／額装	ことばの姿 江口草玄の書	当館蔵*
109 覆水	昭和六十三年(一九八八)	41.5×66.5	墨、紙／額装	ことばの姿 江口草玄の書	個人蔵
110 白雲	昭和六十三年(一九八八)	43.8×69.7	墨、紙／額装	ことばの姿 江口草玄の書	個人蔵
111 よその女房になるを見に出る(武玉川)	平成元年(一九八九)	65.6×67.6	墨、紙／額装	ことばの姿-草玄の書 後期仮名ことば	当館蔵*
112 銭をもたぬも長生きの相(武玉川)	平成元年(一九八九)	56.3×70.5	墨、紙／額装	ことばの姿-草玄の書 後期仮名ことば	当館蔵*
113 淇水	平成二年(一九九〇)	69.7×135.9	墨、紙／額装	ことばの姿-草玄の書 前期漢字ことば	当館蔵*
114 雲	平成二年(一九九〇)	69.7×48.3	墨、紙／額装	ことばの姿-草玄の書 前期漢字ことば	当館蔵*
115 たとへる顔にこまる仲人(武玉川)	平成二年(一九九〇)	65.7×67.8	墨、紙／額装	ことばの姿-草玄の書 後期仮名ことば	当館蔵*
116 雷に負けぬ気で啼く蟬の声(武玉川)	平成二年(一九九〇)	28.1×38.1	墨、紙／額装	ことばの姿-草玄の書 後期仮名ことば	当館蔵*
117 漸く解けた謎に大声(武玉川)	平成三年(一九九一)	33.2×31.5	墨、紙／額装	ことばの姿-草玄の書 後期仮名ことば	当館蔵*
118 男のやうに坐る腹立ち(武玉川)	平成三年(一九九一)	28.5×30.5	墨、紙／額装	草玄の書・南海雄の書・PART II	個人蔵
119 今度も女伯母ひとり誉め(武玉川)	平成三年(一九九一)	34.0×34.0	墨、紙／額装	草玄の書・南海雄の書・PART II	個人蔵
120 つまむほど寝て明ける初春(武玉川)	平成三年(一九九一)	36.5×28.2	墨、紙／額装	草玄の書・南海雄の書・PART II	個人蔵
121 二つ重なるささやきの傘(武玉川)	平成三年(一九九一)	32.0×33.5	墨、紙／軸装	一月の会展(二〇一七)	個人蔵
122 知白守黒	平成四年(一九九二)	21.0×47.0	墨、紙／額装	草玄の書・南海雄の書・PART II	個人蔵
123 坐睡	平成五年(一九九三)	68.7×135.8	墨、紙／軸装	戦後の書 その一変相 江口草玄	個人蔵
124 夢意胡蝶	平成七年(一九九五)	69.5×135.5	墨、紙／軸装		個人蔵
125 還愚	平成八年(一九九六)	69.5×136.6	墨、紙／軸装		個人蔵
126 無為胡蝶	平成八年(一九九六)	136.0×67.5	墨、紙／軸装	戦後の書 その一変相 江口草玄	当館蔵
127 秋来ぬと合点させたる寢(くさめ)かな(蕪村)	平成十二年(二〇〇〇)	51.7×40.5	墨、紙／額装	十月の会展(二〇〇〇)	個人蔵
128 かへしどころをいへぬからかさ(武玉川)	平成十二年(二〇〇〇)頃	20.8×40.3	墨、紙／額装	白寿 江口草玄のすべて	個人蔵
129 ちひさいてからみまいこつみ(武玉川)	平成十二年(二〇〇〇)頃	26.2×28.7	墨、紙／額装	白寿 江口草玄のすべて	個人蔵
130 雷に負けぬ気で啼く蟬の声(武玉川)	平成十二年(二〇〇〇)頃	27.0×28.0	墨、紙／額装	白寿 江口草玄のすべて	個人蔵
131 鶉のこぼし去りぬる実のあかき(蕪村)	平成十四年(二〇〇二)	65.8×64.7	墨、紙／額装	六月の会展(二〇〇二)	個人蔵
132 喫茶去	平成十八年(二〇〇六)	65.2×67.8	墨、紙／額装	四月の会展(二〇〇六)	個人蔵
133 一途	平成十八年(二〇〇六)	66.5×67.5	墨、紙／額装	四月の会展(二〇〇六)	個人蔵
134 露の世は露の世ながらさりながら(一茶)	平成二十一年(二〇〇九)	49.0×68.7	墨、紙／額装	十二月の会展(二〇〇九)	個人蔵
135 娑婆娑婆と仏は疎みたまへども	平成二十一年(二〇〇九)	43.1×33.3	墨、紙／額装	十二月の会展(二〇〇九)	個人蔵
136 草の下を蟻んこが連なる	平成二十三年(二〇一一)	51.0×54.7	墨、紙／額装	八月の会(二〇一一)	個人蔵
137 こころ天に任す	平成二十三年(二〇一一)	60.7×69.0	墨、紙／額装	八月の会(二〇一一)	個人蔵
138 川があって魚がゐて草があって花がさいて	平成二十四年(二〇一二)	61.8×67.7	墨、紙／額装	十二月の会展(二〇一二)	個人蔵
139 水はねてかはせみ飛んだ花いかだ	平成二十四年(二〇一二)	53.8×80.0	墨、紙／額装	十二月の会展(二〇一二)	個人蔵
140 怒を怨にす(る)こころ	平成二十四年(二〇一二)	99.5×50.0	墨、紙／額装	十二月の会展(二〇一二)	個人蔵
141 人が人を殺す戦、戦はいや	平成二十五年(二〇一三)	67.5×94.5	墨、紙／額装	九月の会展(二〇一三)	個人蔵
142 おお蟻よおめえらの国いじめなし	平成二十七年(二〇一五)	66.7×96.5	墨、紙／額装	三月の会展(二〇一五)	個人蔵
143 真っ赤だ真っ赤だななまどてんてんと実をつける	平成二十七年(二〇一五)	34.0×163.3	墨、紙／パネル装	十二月の会展(二〇一五)	個人蔵
144 古物たち棚の裏まで西日かな	平成二年(一九九〇)	76.0×26.2	墨、顔料、紙／まくり	柏崎ふるさとまつり	個人蔵
145 ひとりづつ子のもどるたそがれ(武玉川)	平成十七年(二〇〇五)	77.2×27.3	墨、顔料、紙／まくり	柏崎ふるさとまつり	個人蔵
146 めでたさはことしのかにもくはれけり(一茶)	平成十八年(二〇〇六)	77.6×27.7	墨、顔料、紙／まくり	柏崎ふるさとまつり	個人蔵
147 うたたねの腰より下は女なり	平成二十年(二〇〇八)	74.5×26.9	墨、顔料、紙／軸装	柏崎ふるさとまつり	個人蔵
148 露の世は露の世ながらさりながら(一茶)	平成二十一年(二〇〇九)	74.7×27.0	墨、顔料、紙／軸装	柏崎ふるさとまつり	個人蔵
149 雨まで賞めて戻る仲人	平成二十二年(二〇一〇)	74.1×25.2	墨、顔料、紙／軸装	柏崎ふるさとまつり	個人蔵
150 ゆっくりとゆっくりと	平成二十三年(二〇一一)	65.5×25.8	墨、顔料、紙／軸装	柏崎ふるさとまつり	個人蔵
151 華	平成二十四年(二〇一二)	76.4×27.2	墨、紙／軸装	柏崎ふるさとまつり	個人蔵

152 ススキのほ百尾の狐かくれてる	平成二十六年(二〇一四)	77.2×27.2	墨、紙／軸装	柏崎ふるさとまつり	個人蔵
153 真っ赤だ真っ赤だななかまどてんてんと笑をつける	平成二十七年(二〇一五)	76.7×26.4	墨、顔料、紙／軸装	柏崎ふるさとまつり	個人蔵
154 よその女房になるを見に出る	平成二十八年(二〇一六)	77.0×26.7	墨、紙／軸装	柏崎ふるさとまつり	個人蔵
155 西中通中学校校歌	昭和二十四年(一九四九)頃	65.7×178.2	墨、紙／額装		西中通コミュニティセンター蔵
156 江口麴屋看板のれん原本屏風	平成二年(一九九〇)	江口麴屋162.2×40.8 ／甘酒24.0×79.0 みそ23.0×73.8／襦 24.0×60.8	墨、紙／二曲一隻屏風		個人蔵

当館蔵で*の付いているものは相澤コレクション

作品名	制作年	寸法(縦×横、cm)	材質／形状	初出等	所蔵
ひ1 雪みち	昭和三十五年(一九六〇)	33.5×24.4	墨、紙／まくり	『ひびき』第四十七号	個人蔵
ひ2 友だち	昭和三十五年(一九六〇)	33.1×24.1	墨、紙／まくり	『ひびき』第四十九号	個人蔵
ひ3 臨褚遂良雁塔聖教序	昭和四十一年(一九六六)	33.4×24.3	墨、紙／まくり	『ひびき』第百十八号	個人蔵
ひ4 臨褚遂良雁塔聖教序	昭和四十一年(一九六六)	52.4×23.1	墨、紙／まくり	『ひびき』第百二十一号	個人蔵
ひ5 とり	昭和四十二年(一九六七)	33.3×24.5	墨、紙／まくり	『ひびき』第百三十三号	個人蔵
ひ6 公園	昭和四十二年(一九六七)	33.3×24.2	墨、紙／まくり	『ひびき』第百三十三号	個人蔵
ひ7 工場	昭和四十二年(一九六七)	33.5×24.4	墨、紙／まくり	『ひびき』改題第百四十号	個人蔵
ひ8 臨大灯国師書	昭和四十三年(一九六八)	30.0×27.2	墨、紙／まくり	『ひびき』第百五十三号	個人蔵
ひ9 臨牛欄造像記	昭和四十五年(一九七〇)	33.0×46.3	墨、紙／まくり	『ひびき』第百七十六号	個人蔵
ひ10 臨光明皇后臨樂毅論	昭和四十六年(一九七一)	36.0×26.0	墨、紙／まくり	『ひびき』第百八十九号	個人蔵
ひ11 臨顔真卿宋璟碑側記	昭和四十七年(一九七二)	36.0×26.0	墨、紙／まくり	『ひびき』第百九十八号	個人蔵
ひ12 臨虞世南孔子廟堂碑	昭和五十一年(一九七六)	60.9×28.5	墨、紙／まくり	『ひびき』第二百四十七号	個人蔵

年賀	材質／形状	備考	所蔵
年1 昭和二十八年(一九五三)	水彩、紙	未発送	個人蔵
年2 昭和二十年代	水彩、紙	未発送	個人蔵
年3 昭和五十五年(一九八〇)	墨、印泥、紙	未発送	個人蔵
年4 昭和五十六年(一九八一)	墨、印泥、紙	未発送	個人蔵
年5 昭和五十九年(一九八四)	印泥、紙	未発送	個人蔵
年6 平成八年(一九九六)	墨、印泥、紙		個人蔵
年7 平成九年(一九九七)	墨、印泥、紙		個人蔵
年8 平成十年(一九九八)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年9 平成十一年(一九九九)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年10 平成十二年(二〇〇〇)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年11 平成十三年(二〇〇一)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年12 平成十四年(二〇〇二)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年13 平成十五年(二〇〇三)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年14 平成十六年(二〇〇四)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年15 平成十七年(二〇〇五)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年16 平成十八年(二〇〇六)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年17 平成十九年(二〇〇七)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年18 平成二十一年(二〇〇九)	ペン、紙		個人蔵
年19 平成二十二年(二〇一〇)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年20 平成二十三年(二〇一一)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年21 平成二十四年(二〇一二)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年22 平成二十五年(二〇一三)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年23 平成二十六年(二〇一四)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年24 平成二十七年(二〇一五)	ペン、印泥、紙		個人蔵
年25 平成二十九年(二〇一七)	ペン、印泥、紙		個人蔵

作品名	制作年	寸法(縦×横、cm)	材質／形状	備考	所蔵
印1 山階巢	不明	2.6×2.9	陶印	印影：平成29年12月20日押印	個人蔵
印2 山階巢	不明	3.6×3.6	陶印	印影：平成29年12月20日押印	個人蔵
印3 柏崎人	不明	2.6×2.5	陶印	印影：平成29年12月20日押印	個人蔵
印4 柏崎人	不明	7.1×8.0	陶印	印影：平成29年12月20日押印	個人蔵
印5 手聿	不明	2.9×3.0	陶印	印影：平成29年12月20日押印	個人蔵
印6 草書	不明	4.4×1.8	陶印	印影：平成29年12月20日押印	個人蔵
印7 草玄	不明	2.4×2.4	陶印	印影：平成29年12月20日押印	個人蔵
印8 SO玄	不明	2.7×2.7	陶印	印影：平成29年12月20日押印	個人蔵
印9 草	不明	2.2×2.2	陶印	印影：平成29年12月20日押印	個人蔵
印10 草	不明	2.3×2.1	陶印	印影：平成29年12月20日押印	個人蔵
印11 草	平成五年(一九九三)	2.4×2.4	陶印	印影：平成29年12月20日押印	個人蔵
印12 草	不明	2.0×2.1	陶印	印影：平成29年12月20日押印	個人蔵
印13 草	不明	1.1×1.0	陶印	印影：平成29年12月20日押印	個人蔵
印14 以毛相馬	不明	2.8×2.8	陶印	印影：平成30年2月9日押印	個人蔵

作品名	制作年	寸法(縦×横、cm)	材質等	所蔵
ス1 題なし(澄江)	昭和六十年(一九八五)	29.3×21.8	鉛筆、紙	個人蔵
ス2 題なし	昭和六十年(一九八五)	25.6×18.0	水彩・鉛筆、紙	個人蔵
ス3 題なし(椿)	昭和六十一年(一九八六)	25.2×35.5	水彩・鉛筆、紙	個人蔵
ス4 題なし	昭和六十一年(一九八六)	25.2×30.5	水彩・鉛筆、紙	個人蔵
ス5 ほたるふくろ	昭和六十一年(一九八六)	35.5×25.2	水彩・鉛筆、紙	個人蔵
ス6 とらのを	昭和六十一年(一九八六)	35.5×25.2	水彩・鉛筆、紙	個人蔵
ス7 題なし	昭和六十一年(一九八六)	35.5×25.2	水彩・鉛筆、紙	個人蔵
ス8 題なし	昭和六十一年(一九八六)	35.5×25.2	水彩・鉛筆、紙	個人蔵
ス9 題なし(紫陽花)	昭和六十一年(一九八六)	35.5×25.2	水彩・鉛筆、紙	個人蔵
ス10 題なし	昭和六十一年(一九八六)	35.6×25.	水彩・鉛筆、スケッチブック	個人蔵
ス11 題なし	平成五年(一九九三)	25.1×35.1	水彩・鉛筆、スケッチブック	個人蔵
ス12 題なし(アケビ)	平成九年(一九九七)	24.8×33.9	水彩・鉛筆、スケッチブック	個人蔵
ス13 題なし(柿)	平成九年(一九九七)	33.1×24.2	水彩・鉛筆、スケッチブック	個人蔵
ス14 題なし(薔薇)	平成九年(一九九七)	24.3×33.8	水彩・鉛筆、紙	個人蔵
ス15 題なし	平成十年(一九九八)	18.7×26.8	水彩・鉛筆、紙	個人蔵
ス16 題なし	平成十一年(一九九九)	24.1×33.1	水彩・鉛筆、スケッチブック	個人蔵
ス17 題なし	平成十一年(一九九九)頃	24.1×33.1	水彩・鉛筆、紙	個人蔵
ス18 冬の花	平成十一年(一九九九)	33.1×24.1	水彩・鉛筆、スケッチブック	個人蔵
ス19 題なし(ななかまどとほおずき)	平成十四年(二〇〇二)	24.1×33.1	水彩・鉛筆、スケッチブック	個人蔵

作品名	制作年	寸法(縦×横、cm)	材質／形状	備考	所蔵
資1-1「競書出品券」『健筆』第二巻第二号	昭和十三年(一九三八)			二月一日発行	個人蔵
資1-2『健筆』第四巻第一号	昭和十五年(一九四〇)			一月一日発行	個人蔵
資1-3『健筆』第六巻第一号	昭和十七年(一九四二)			一月一日発行	個人蔵
資1-4『健筆』第七巻第一号	昭和十八年(一九四三)			一月一日発行	個人蔵
資1-5「競書出品券」『健筆』第七巻第二号	昭和十八年(一九四三)			二月一日発行	個人蔵
資2-1『書勢』第二巻第三号	昭和十三年(一九三八)			三月一日発行	個人蔵
資2-2『書勢』第七巻第四号(終刊号)	昭和十八年(一九四三)			四月三十日発行	個人蔵
資3『南海書聖』第七巻第三号	昭和十四年(一九三九)			三月十五日発行	個人蔵
資4 入営報告	昭和十五年(一九四〇)十二月				個人蔵
資5《無想》	昭和二十四年(一九四九)			二月五日発行 『蒼穹』第四巻第二号	個人蔵
資6《錦里相塵外》	昭和二十五年(一九五〇)			五月五日発行 『蒼穹』五月号	個人蔵
資7《移竹喜微陰》	昭和二十五年(一九五〇)			七月五日発行刷 『蒼穹』七月号	個人蔵

資8 『碧樹』創刊号	昭和二十一年(一九四六)			七月五日印刷	個人蔵
資9-1 『蒼穹』第二巻第四号	昭和二十二年(一九四七)			三月三十一日印刷	個人蔵
資9-2 『蒼穹』一月号	昭和二十六年(一九五一)			一月五日発行	個人蔵
資10 「若い草玄君のはげしい憤り」(部分)	昭和二十四年(一九四九)			八月五日発行 『蒼穹』第四巻第八号	個人蔵
資11 『書之美』創刊号	昭和二十三年(一九四八)			四月一日発行	個人蔵
資12 第六回日本美術展覧会陳列通知	昭和二十五年(一九五〇)				個人蔵
資13 先代会開催案内	昭和二十五年(一九五〇)				個人蔵
資14 草玄書簡	昭和二十六年十二月十一日付				個人蔵
資15 「お願い」上田桑鳩宛控え	昭和二十七年(一九五二)			『書之美』第四十六号(終刊号)掲載	個人蔵
資16 墨人会結成通知	昭和二十七年(一九五二)			二月一日付	個人蔵
資17 墨人会結成挨拶	昭和二十七年(一九五二)			三月十日付	個人蔵
資18 『墨人』創刊号	昭和二十七年(一九五二)			四月一日発行	個人蔵
資19 井上有一画(江口草玄似顔絵)	昭和二十八年(一九五三)			『墨人』第十五号掲載	個人蔵
資20-1、 2 『墨人』『墨人』第二号題字	昭和二十七年五月一日発行				個人蔵
資21 『墨人』第九号題字	昭和二十七年十二月一日発行				個人蔵
資22 現代美術懇談会例会「書とモダン・アート」	昭和二十八年(一九五三)			『墨人』第十二号	個人蔵
資23 第一回ゲンビ展目録	昭和二十八年(一九五三)				個人蔵
資24 第一回モダンアートフェア目録	昭和二十九年(一九五四)				個人蔵
資25 <現代日本の書・墨の芸術>借用書	昭和二十九年(一九五四)				個人蔵
資26 アレシンスキー宛書簡下書き(部分)					個人蔵
資27 <Calligraphie Japonaise>パンフレット江口草玄部分	昭和三十年(一九五五)			十月十五日付	個人蔵
資28 おかあさんへ	昭和三十六年(一九六一)				個人蔵
資29 江口草玄書作展リーフレット	昭和四十年(一九六五)				個人蔵
資30 江口草玄作品小集	昭和四十年(一九六五)				個人蔵
資31 <己>リトグラフ[Geraphik-Edition]リーフレット	昭和三十八年(一九六三)				個人蔵
資32 「Form und Zeichen」(ヘンニッヒ画廊)カタログ	昭和四十八年(一九七三)			『墨人』第二百二十号に掲載	個人蔵
資33 アイケモウグ画廊パンフレット	昭和五十一年(一九七六)				個人蔵
資34 墨人会退会届	昭和五十一年(一九七六)			『墨人』第二百三十五号九月頃発行	個人蔵
資35 「ひびき」支部長各位殿	昭和五十一年(一九七六)			十月付	個人蔵
資36 「草玄ことば書き」	昭和五十三年(一九七八)				個人蔵
資37 「書-ことばの姿-」	昭和五十四年(一九七九)				個人蔵
資38 「草玄仮名がきの書」	昭和六十二年(一九八七)				個人蔵
資39 ことばの姿-草玄の書カタログ	昭和六十三年(一九八八)				個人蔵
資40-1 ○月の会リーフレット				平成八(一九九六)~三十年(二〇一八)	個人蔵
資40-2 山階通信				昭和五十五(一九八〇)~平成十七年(二〇〇五)	個人蔵
資41 山階通信(鈴木鳴鐸五部作)				昭和六十三~平成元年(一九八八~八九)	個人蔵
資42 相沢直人著「花なき薔薇」(題字草玄)	昭和六十年(一九八五)				個人蔵
資43 相沢直人著「続花なき薔薇」(題字草玄)	平成七年(一九九五)				当館蔵
資44 相沢直人著「越後の空」完結(題字草玄)	平成十四年(二〇〇二)				個人蔵
資45 相沢直人著「オレの存在」	平成二十四年(二〇一二)				個人蔵
資46 小林斗鑫刻《江口久男》印影	昭和二十四年(一九四九)	1.7 × 1.7	紙(石印)	平成29年12月20日押印	個人蔵
資47 小林斗鑫刻《草玄》印影	昭和二十四年(一九四九)	1.7 × 1.7	紙(石印)	平成29年12月20日押印	個人蔵
資48 小林斗鑫刻《草玄》印影	昭和二十四年(一九四九)	0.9 × 0.9	紙(石印)	平成29年12月20日押印	個人蔵
資49 大沢竹胎刻《草》印影	昭和二十六年(一九五一)	1.7 × 1.4	紙(石印)	平成29年12月20日押印	個人蔵
資50 大沢竹胎刻《草子》印影	昭和二十六年(一九五一)	1.8 × 1.7	紙(石印)	平成29年12月20日押印	個人蔵
資51 大沢竹胎刻《草子》印影	昭和二十六年(一九五一)	1.9 × 1.8	紙(石印)	平成29年12月20日押印	個人蔵
資52 大沢竹胎刻《草玄》印影	昭和二十六年(一九五一)	1.6 × 1.3	紙(石印)	平成29年12月20日押印	個人蔵
資53 大沢竹胎刻《草玄》印影	昭和二十六年(一九五一)	2.2 × 1.7	紙(石印)	平成29年12月20日押印	個人蔵
資54 大沢竹胎刻《草子》印影	昭和二十六年(一九五一)	2.9 × 1.7	紙(石印)	平成29年12月20日押印	個人蔵
資55 ゴム印	昭和五十三年(一九七八)頃				個人蔵
資56 江口草玄愛用筆十本					個人蔵

共 催 展

第46回芸展秀作展

【趣旨及び総括】

新潟県美術家連盟主催の新潟県芸術美術展（通称芸展）での受賞作品について、平成26年度第43回分から5～6点ずつ当館で展示紹介していた。しかし、第46回の受賞作品については、当館の改修工事による休館のためこれを実施できないことから、一定期間にまとめて当館ギャラリーに展示することとなった。日本画・洋画・彫刻・工芸・書道の5部門から23点の作品を一堂に展示紹介した。

【開催日・その他】

=2018年4月21日(土)～5月6日(日) (15日間)=

会 場：新潟県立近代美術館 ギャラリー

主 催：新潟県美術家連盟

共 催：新潟県立近代美術館

観覧料：入場無料

来場者数 679名

担当 宮下東子

第20回亀倉雄策賞受賞記念 中村至男展 2018 / JAGDA新人賞展2018 金井あき・花原正基・福澤卓馬

【趣旨及び総括】

JAGDA（公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会）初代会長の故亀倉雄策のコレクションを所蔵する館として、氏を讃えて創設された「亀倉雄策賞」の受賞作家作品展を継続開催することで、更なるグラフィックデザインの発展に寄与する。本年度も前回と同様、公立大学法人長岡造形大学、新潟県立近代美術館、JAGDAによる三者主催で実施。展示内容としては、第20回亀倉雄策賞受賞作となった個展の告知・出品ポスター「中村至男展」をはじめ、絵本やデジタルコンテンツなど幅広いジャンルの作品を、初日から最新作まで一堂に紹介した。

また、「JAGDA新人賞」を受賞した金井あき・花原正基・福澤卓馬の3名の各受賞作品および近作を集めた展覧会を長岡造形大学で開催した。

【開催日・その他】

=2018年6月9日(土)～7月1日(日) (20日間)=

会 場：新潟県立近代美術館 ギャラリー

主 催：公立大学法人長岡造形大学、新潟県立近代美術館、公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会

協 力：クリエイションギャラリー G8、亀倉雄策賞事務局

観覧料：無料

来場者数：1,679名 (以上 亀倉雄策賞展)

=2019年10月20日(土)～21日(日) (2日間)=

会 場：長岡造形大学 NID ホール

主 催：公立大学法人長岡造形大学

共 催：新潟県立近代美術館

協 力：公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会、クリエイションギャラリー G8

観覧料：無料

来場者数：2,109名 (以上 JAGDA新人賞展)

【関連イベント】

亀倉雄策賞受賞記念展 開催記念講演

6月30日(土) 13:30～15:00

講 師：中村至男氏

会 場：新潟県立近代美術館 講堂

参加者数：160名

JAGDA新人賞2018受賞者によるギャラリートーク&講評会

10月20日(土) 13:30～15:00 / 15:30～17:00

講 師：金井あき氏、福澤卓馬氏

会 場：長岡造形大学 NID ホール / 視覚デザインアトリエ

参加者数：トーク50名、講評会30名

担当 濱田真由美

所 蔵 品 展



ターニングポイント！—人生、それぞれの“時”

【趣 旨】

美術家の人生におけるさまざまな転機に着目し、関連する作品とともに創作の推移をたどる。進学、卒業、就職、帰郷、転居、出会い、結婚などの機に臨み、創作者としてどのような道を選び、人生を展開させたのか。そして、それが創作にどのような影響をおよぼしたのか。こうした視点に立つことで、作品に対する新たな感覚が生じることを期した。

また、当館の開館15年という時の節目にあたり、「15歳のバンビ」と題す特集展示を併設。開館以降の展覧会ポスターと図録、記録映像や年表を通して活動の歩みを紹介した。さらに、来場者から当館の思い出としてコメントを募集し、会場内に掲示した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・新たな視点を提示することで、所蔵作家と作品に対する鑑賞の幅を広げることができた。
- ・特集展示によって、当館の15年間の活動を振り返り、その軌跡を紹介することができた。
- ・記念イベントをNIIGATAアートリンクと共催することで、内容の充実をはかることができた。

●検討課題

- ・特集展示に関連して募集した美術館友の会会員からのコメントが思うように集まらなかった。会員への周知をはじめとする募集方法と友の会への依頼方法において改善が求められる。
- ・記念イベントでは全体的に時間不足の感があり、話し手同士の会話や内容の掘り下げが十分でなかった。所要時間の設定や内容の構成について、企画段階での配慮がより求められる。

【開催日・その他】

＝2018年5月19日(土)～6月24日(日) (34日間)＝

休館日：5月21日(月)、6月4日(月)、6月18日(月)

主 催：新潟県立万代島美術館

後 援：新潟市、新潟市教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、N S T、TeNY テレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエム角田山ぽかぽかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送株式会社

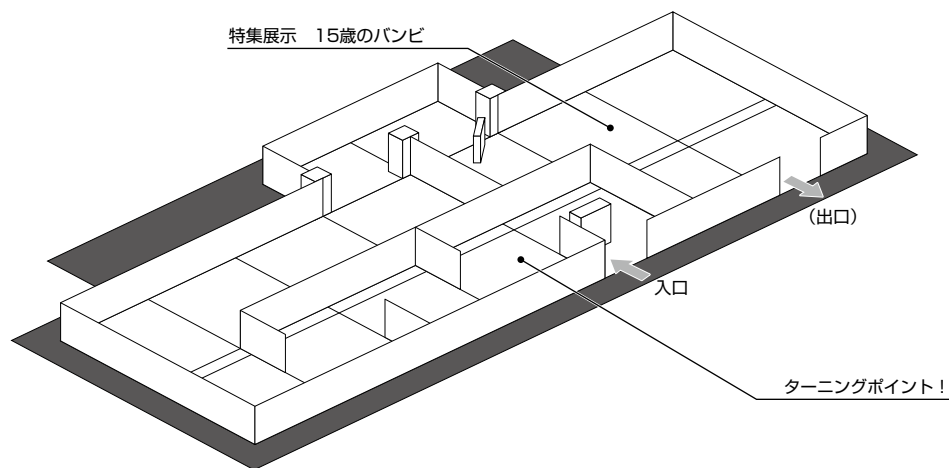
協 力：新潟県立美術館友の会

観覧料：一般……………310円 (250円)

大学・高校生……………150円 (120円)

※中学生以下無料

※ () 内は有料20名以上の団体料金



【関連行事】

・開館15年記念トークセッション

I. 「パンビ、15年の歩み」

II. 「それぞれのターニングポイント！～学芸員編」

6月9日(土) 14:00～15:45 展示室

話し手：荒井直美氏（新潟市美術館学芸員）、大森慎子氏

（新潟市／前新潟市新津美術館学芸員）、藤田裕彦

（近代美術館学芸課長）、桐原浩（当館業務課長）

参加者数：51名

※ NIIGATA アートリンク共催事業

・美術鑑賞講座「美術家人生のターニングポイント！」

6月3日(日) 14:00～15:40 NICO プラザ会議室

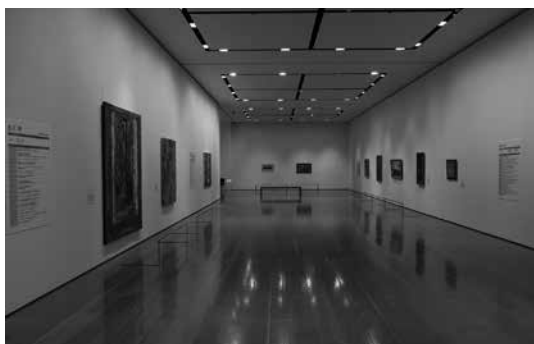
講師：澤田佳三（当館業務課長代理）

参加者数：8名

・学芸員によるギャラリートーク

5月27日(日)／6月24日(日) 14:00～ 展示室

参加者数：3名／18名



【関連記事】

●新聞

6月1日(金) 信濃毎日新聞

「諏訪の女学校で教えた宮さんら 美術家『転機』の作品」
展示

6月4日(月) 新潟日報おとなプラス

特集「写真家・濱谷浩と上越・桑取谷」

6月7日(木) 新潟日報

「展覧会へようこそ ターニングポイント！—人生、それぞれの“時” 熱意が未来を切り開く」／澤田佳三

6月12日(火) 新潟日報

「万代島美術館15周年記念 学芸員が思い出語る」

●雑誌

月刊ウインド 2018年8月号

「感想 ターニングポイント！人生、それぞれの“時”」感想
開館15年記念トークセッション」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	1,122
	前売	—
無料観覧者数	招待	337
	無料	108
	免除	154
総観覧者数		1,721
有料率 (%)		65.2

担当 澤田佳三

【出品リスト】

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	所蔵先
1	堺 時雄	《死の花》	1920年	モノクローム・プリント	
2	堺 時雄	《芸術の不朽》あるいは《吾魂の墓》	1920年	モノクローム・プリント	
3	堺 時雄	《邁進の意気》	1922年	モノクローム・プリント	
4	堺 時雄	《異人池（新潟カトリック教会付近）》	1922-26年	モノクローム・プリント	
5	堺 時雄	《窓辺》あるいは《窓辺の女の子》	1927年	モノクローム・プリント	
6	堺 時雄	《シルエット》	1926年	モノクローム・プリント	
7	堺 時雄	《ヘティ高》	1928-32年	モノクローム・プリント	
8	堺 時雄	《題不明（ハンカチとクローバーⅡ）》	1928-33年	モノクローム・プリント	
9	堺 時雄	《戦闘中の美観》	1935年	モノクローム・プリント	
10	堺 時雄	《新潟砂丘（本館時代）》	1936-41年	モノクローム・プリント	
11	堺 時雄ほか	関連写真資料	—	モノクローム・プリント	
12	宮 芳平	《ドント・オープン》	大正中期	パステル、紙	
13	宮 芳平	《カーテンに》	1914年	油彩、キャンヴァス	
14	宮 芳平	《自画像》	1919年	コンテ、紙	新潟県立近代美術館寄託
15	宮 芳平	《きざし》	1959-64年	油彩、キャンヴァス	
16	中村 彝	《川崎義郎氏の肖像》	1919年	油彩、キャンヴァス	
17	濱谷 浩	《雪国：歌ってゆく鳥追い》	1940年	モノクローム・プリント	
18	濱谷 浩	《雪国：サイノカミの火の打ち合い》	1940年	モノクローム・プリント	
19	濱谷 浩	《雪国：ホンヤラ洞にゆく子供たち》	1956年	モノクローム・プリント	
20	濱谷 浩	《雪国：雁木下をゆく瞽女》	1956年	モノクローム・プリント	
21	濱谷 浩	《裏日本：津軽の男》	1955年	モノクローム・プリント	
22	濱谷 浩	《裏日本：越後の女》	1955年	モノクローム・プリント	
23	濱谷 浩	《裏日本：雁木》	1956年	モノクローム・プリント	
24	濱谷 浩	《裏日本：田植女》	1955年	モノクローム・プリント	
25	濱谷 浩	《裏日本：雲と波と雪と家》	1955年	モノクローム・プリント	
26	濱谷 浩	《學藝諸家：小田巖夫 作家》	1947年	モノクローム・プリント	
27	濱谷 浩	《學藝諸家：堀口大學 詩人》	1946年	モノクローム・プリント	
28	濱谷 浩	《學藝諸家：會津ハリー 歌人、書家、美術史家》	1947年	モノクローム・プリント	
29	末松 正樹	《自画像（1944.9.17）》	1944年	コンテ、紙	
30	末松 正樹	《作品（1944.11.27）》	1944年	鉛筆、紙	
31	末松 正樹	《作品（1945.1.17）》	1945年	鉛筆、紙	
32	末松 正樹	《作品（1945.2.26）》	1945年	鉛筆、紙	
33	末松 正樹	《作品（1945.4.2）》	1945年	パステル、紙	
34	末松 正樹	《作品（1945.5.23）》	1945年	鉛筆、紙	
35	末松 正樹	《作品（1945.12.24）》	1945年	鉛筆、紙	
36	横山 操	《カザフスタンの女》	1951年	紙本彩色	
37	横山 操	《十勝岳》	1962年	布本彩色	
38	横山 操	《雪しまく》	1963年	紙本彩色	
39	星野 眞吾	《消えてゆく》	1987年	紙本彩色	
40	長沢 明	《Melodical Note》	1995年	ミクストメディア	
41	長沢 明	《BOOKBOARD-Blue》	1999年	本、木	
42	福田 美蘭	《ブッシュ大統領に話しかけるキリスト》	2002年	アクリル絵具、板	
43	佐藤 哲三	《瓦焼場風景》	1928年	油彩、キャンヴァス	
44	佐藤 哲三	《郵便脚夫宮下君》	1931年	油彩、キャンヴァス	
45	佐藤 哲三	《越後の秋》	1937年	油彩、キャンヴァス	
46	佐藤 哲三	《農婦》	1940年	油彩、キャンヴァス	
47	佐藤 哲三	《稲》	1941年	油彩、キャンヴァス	
48	佐藤 哲三	《自転車屋の職人の肖像》	1940年	鉛筆、紙	
49	佐藤 哲三	《残雪》	1952年	油彩、キャンヴァス	
50	佐藤 哲三	《帰路》	1954年	油彩、キャンヴァス	

※所蔵先の表記がない作品は新潟県立近代美術館・万代島美術館所蔵。

企 画 展



古代アンデス文明展

【趣 旨】

南米ペルー、ボリビア等の地域で繁栄したアンデス文明について、代表的な9つの文化を紹介し、この地に人類が到達した先史時代からスペイン人によるインカ帝国征服までの約1万5千年の文明史をたどった。国立科学博物館とTBSによる長年の「TBSアンデス・プロジェクト」の集大成として企画され、東京会場（国立科学博物館）に次ぐ2番目の巡回先として開催した。

ペルー、ボリビア及び日本国内の博物館、研究機関等から土器、織物、黄金製品、ミイラ等約200点の資料を借用し、遺跡等の豊富な映像を交えて紹介した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・展示品の大半を撮影可能としたことで、SNS等により情報が拡散され、観覧者増に対して一定の効果があつた。
- ・外部講師による講演会等を実施し、展示内容に関連する学習に広がりを持たせることができた。また本会場独自企画としてクイズ&スタンプラリーを実施し、好評を得た。

●検討課題

- ・開幕当初、来館者数が伸び悩んだことを受けて、共催メディアにより集中的に広報がなされ、その効果が会期終盤の来館者数の急増として現れた。初動の遅れを挽回できた点はよかったが、展示室内やロビー等が混雑し、来館者が余裕をもって鑑賞できない結果となった。今後はより早い段階で開幕前後の広報計画について綿密に調整を図る必要がある。
- ・小中学生の観覧者が予想外に多く、直前に開催したチームラボ展観覧者のリピーターが多かったと考えられる。今後は、連続する展覧会でのリピーター獲得について、より戦略的に方策を検討する必要がある。

【開催日・その他】

=2018年4月1日(日)～5月6日(日) (35日間)=

※全体会期は3月21日(水・祝)～5月6日(日) (46日間)

休館日：4月16日(月)

主 催：新潟県立万代島美術館、BSN新潟放送、新潟日报社、古代アンデス文明展新潟展実行委員会

特別協賛：三井ホーム、三井のリフォーム

協 賛：第四銀行

後 援：ペルー大使館、ボリビア大使館、新潟市、新潟市教育委員会、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエム角田山ぽかぽかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送株式会社、新潟日報美術振興財団

協 力：ペルー文化省、ボリビア文化観光省、NTTドコモ、クントゥル・ワシ調査団、国立民族学博物館、東京大学総合研究博物館

企画制作：国立科学博物館、TBSテレビ

観覧料：一般……………1,300円(1,100円)〈1,100円〉

大学・高校生……………1,100円(900円)

※中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売券料金

【関連行事】

・ギャラリートーク

4月14日(土)11:00～ 展示室

講 師：関雄二氏（国立民族学博物館副館長）

参加者数：40名

- ・「#アンデスってなんです？」クイズ&スタンプラリー
展示室内でアンデス文明にまつわるクイズに答えながら、8つのスタンプを集めるスタンプラリーを実施した。
参加者数：約11,000人（通期）

【図録】

仕様：300×215mm 272頁

編集：島田泉（南イリノイ大学人類学科人類学教授）、篠田謙一（国立科学博物館副館長、人類研究部部长）

日本語翻訳監修：渡部森哉（南山大学人文学部人類文化学科教授）

執筆：島田泉、篠田謙一、鶴見英成（東京大学総合研究博物館助教）、ジョン・W・リック（スタンフォード大学人類学科人類学准教授）、ジュゼッペ・オレフィチ（イタリア先コロンブス期考古学調査センター所長、ナスカ・プロジェクト責任者）、マルクス・ラインデル（ドイツ考古学研究所非ヨーロッパ文化考古学委員会、考古学者）、ジョニー・イスラ・クアドラード（ペルー文化省イカ支局、考古学者）、カルステン・ランバース（ライデン大学考古学部考古科学科准教授）、フランシス・M・ハヤシダ（ニューメキシコ大学人類学科人類学准教授）、エレナ・フィップス（織物研究者）、田井知二（千葉県教育振興財団文化財センター）、トム・D・ディレヘイ（ヴァンダービルト大学人類学科人類学教授）、ラファエル・ベガ=センテノ・サラ=ラフォッセ（ペルー・カトリカ大学人文学科准教授）、クラウディア・リベラ・カサノバス（ボリビア国立サン・アンドレス大学人類学・考古学部教授）、ウィリアム・H・イズベル（ニューヨーク州立大学ビンガムトン校人類学科人類学教授）、渡部森哉

翻訳：武井摩利、渡部森哉、芝田幸一郎（法政大学経済学部准教授）

写真撮影：義井豊

地図作成：ケイリー・シャープ

図版作成：武井由莉

アート・ディレクション：高岡一弥

デザイン：後藤寿方

印刷：凸版印刷

発行：TBSテレビ

内容：主催者挨拶

ご挨拶（ペルー文化大臣 サルバドール・アレハンドロ・ホルヘ・デル・ソラール・ラバルテ、ボリビア多民族国文化観光大臣 ウィルマ・アラノカ・ママニ）

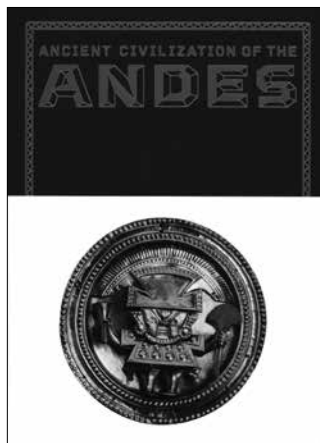
文化年表

目次

古代アンデス文明の特徴（島田泉）

身体から考えるアンデス文明（篠田謙一）

凡例



人類拡散地図 アンデスへの到達（篠田謙一）

序章 人類のアンデス到達とその後の生活

第1章 アンデスの神殿と宗教の始まり

カラル遺跡

コトシュ遺跡

第2章 複雑な社会の始まり

2-1：チャビンの宗教と、それに関連する文化

2-2：クントゥル・ワシ遺跡

コラム1 日本のアンデス考古学—コトシュ、クントゥル・ワシ、そして現在—（鶴見英成）

第3章 さまざまな地方文化の始まり

3-1：モチエ文化

3-2：ナスカ文化

コラム2 ナスカ文化の地上絵（ジオグリフ）（マルクス・ラインデル、ジョニー・イスラ、カルステン・ランバース）

コラム3 アンデスの家畜と栽培植物（島田泉）

コラム4 南米原産の栽培植物と世界の食文化（フランシス・M・ハヤシダ）

コラム5 文字を持たない文明？（島田泉）

第4章 地域を超えた政治システムの始まり

4-1：ティワナク文化

4-2：ワリ帝国

4-3：シカン文化

土器と織物のチャンカイ文化

コラム6 アンデスの織物：伝統と文化（エレナ・フィップス）

第5章 最後の帝国—チムー王国とインカ帝国

5-1：チムー王国

5-2：インカ帝国

コラム7 アンデスの金属精錬—独自の発展と独特な意味（島田泉）

コラム8 市場も通貨もない経済（島田泉）

第6章 身体から見たアンデス文明

コラム9 日本人、ペルーでミイラ包みを開梱する（田井知二）

コラム10 時代を超えた貢献—過去と現在におけるアンデスの農業知識と農法（フランシス・M・ハヤシダ）

古代のアンデス

最初期の南米の人々（トム・D・ディレヘイ）

紀元前3千年紀のアンデスにおける定住生活と祭祀（ラファエル・ベガ=センテノ）

信仰と権威：チャビン・デ・ワンタルにおける宗教と初期的な統治（ジョン・リック）

さまざまな地方文化の始まり

ナスカ文化の発展と、アンデス文明におけるその長期的な意味（マルクス・ラインデル、ジョニー・イスラ）

カワチ祭祀センターの複雑な宗教的・社会的役割（ジュゼッペ・オレフィチ）

モチエとその周辺の文化（島田泉）

地域を超えた政治システムの完成と崩壊

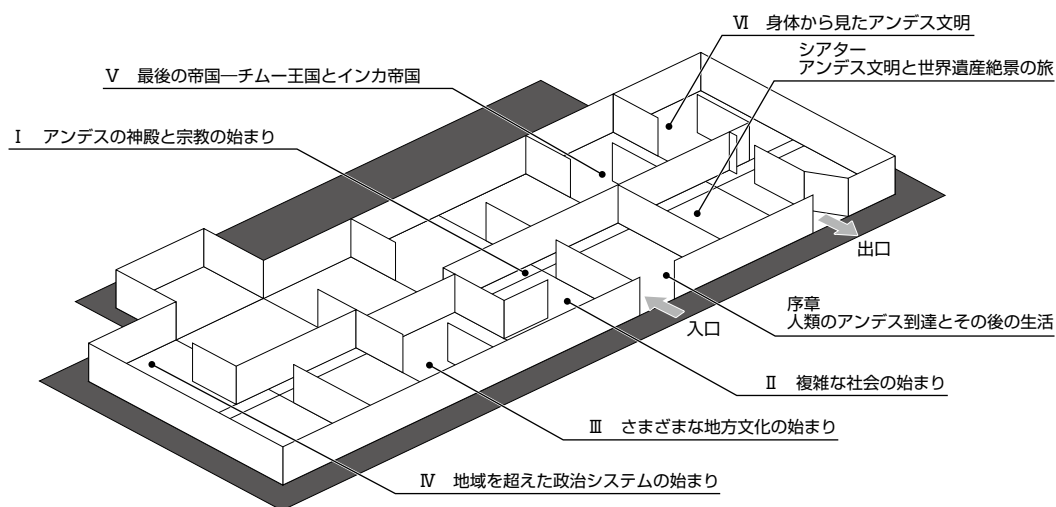
ティワナク：アンデス世界における宗教と権力（クラウディア・リベラ=カサノバス）

ワリ帝国と首都ワリ、および中期ホライズンの中央アンデス（ウィリアム・H・イズベル）

シカン文化：ワリ後の北部海岸におけるその繁栄と遺産（島田泉）

チムーとインカ 帝国の完成と崩壊（渡部森哉）

対談 展覧会を巡る冒険（島田泉、篠田謙一）



【関連記事】

●新聞

その他 新潟日報 (4/12、4/15、4/20、4/21、4/24、4/28)
新潟日報ふむふむ (4/17)
信濃毎日新聞 (4/25)
読売新聞 (4/4)

〈連載〉

・新潟日報「アンデス展これ見て!」(4/24、4/25、4/26、4/27、4/29、4/30、5/1、番外編5/3)

●テレビ

4月14日(土) BSN
「土曜ランチTV なじラテ」／桐原浩

●ラジオ

4月3日(火) BSN「近藤文靖の独占ごきげんアワー」／桐原浩
4月24日(火) BSN「ゴゴイチ」／桐原浩
5月3日(木) BSN「ゆうなびラジオ」／桐原浩

●雑誌

月刊ウインド 2018年5月号
「感想 万代島美術館 古代アンデス文明展」

【観覧者数】

※4/1～5/6

有料観覧者数	当日	23,408
	前売	5,964
無料観覧者数	招待	1,829
	無料	3,766
	免除	1,896
総観覧者数		36,863
有料率 (%)		79.7

※全会期 (3/21～5/6)

有料観覧者数	当日	26,030
	前売	6,875
無料観覧者数	招待	2,098
	無料	4,490
	免除	2,150
総観覧者数		41,643
有料率 (%)		79.0

音声ガイド貸出あり

※本展の出品リストは平成29年度版年報を参照のこと。

担当 長嶋圭哉



ジブリの動画家 近藤勝也展

【趣 旨】

宮崎駿監督も絶大な信頼を置き、スタジオジブリ作品の輝きを支える動画家の一人、近藤勝也氏（1963年新潟県生まれ）を取り上げた展覧会。「魔女の宅急便」「海がきこえる」「崖の上のポニョ」をはじめ、「山賊の娘ローニャ」や広告用イラスト等、氏の描いたアニメーション原画やキャラクターデザインの仕事を中心に、多彩な作品約500点を紹介。描くことが大好きだった少年がアニメーターとなって飛躍し、活動の幅を広げる様子をご覧ください。

ジブリ関係の展覧会は当館では4度目で、一人のアニメーターに焦点を当てるのは「近藤喜文展」以来2回目となるが、今回初めて現役作家を取り上げるようになった。

【総 括】

●評価すべき点

- ・ ずばけた画力を持つ優れたクリエイターの力量を感じてもらうため、子供時代の作品を含め、多様な活動の全貌を紹介することができた。そのことで、ジブリやアニメのファンだけに限らず、来場者の多様な関心に訴求することができた。

●検討課題

- ・ ジブリ関連の展覧会を重ね、観客の期待値も上がっている状況下においては、作品の展示と鑑賞を主眼とする正統的な構成だけでは、来館者の満足を得ることが難しいことを来館者アンケート等から知ることとなった。造作等による娯楽性の付加が有効であることは認識しているが、相応の費用もかかるため、効果的な訴求方法について研究する必要がある。

【開催日・その他】

＝2018年7月7日(土)～9月24日(月・休)（75日間）＝

休館日：7月9日(月)、7月23日(月)、8月6日(月)、8月20日(月)、9月3日(月)

主 催：新潟県立万代島美術館、TeNYテレビ新潟、近藤勝也展新潟展実行委員会

協 力：スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館、ニュートラルコーポレーション

後 援：新潟市、新潟市教育委員会、新潟県小学校長会、新潟県中学校長会、新潟県特別支援学校長会、新潟県高等学校長協会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエム角田山ぽかぽかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送株式会社

観覧料：一般……………1,200円(1,000円)〈1,000円〉

大学・高校生…………1,000円(800円)

※中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

※〈 〉は前売券料金



【関連行事】

- ・ギャラリートーク+サイン会
7月7日(土) トーク 14:00 ~ 15:00 展示室
サイン会 15:00 ~ ロビー
出 演：近藤勝也氏
聞き手：角田智美氏（TeNYテレビ新潟アナウンサー）
参加者数：ギャラリートーク77名
サイン会38名（要整理券）
- ・アニメーター体験講座
7月29日(日) 10:00 ~ 16:00 ロビー
協 力：JAM日本アニメ・マンガ専門学校
参加者数：108名
- ・ギャラリートーク
8月5日(日) 14:00 ~ 15:00 展示室
出 演：田中千義氏（スタジオジブリ 会長室 イベント
プロデューサー）
西岡純一氏（スタジオジブリ 広報部 部長）
参加者数：50名
- ・ミュージアム・コンサート
9月1日(土) 11:00 ~ 11:30 ロビー
出 演：新潟市ジュニア合唱団
参加者数：120名

【図 録】

仕 様：298×210mm 112頁
執 筆：宮崎吾朗
構成・編集：齊藤睦志（株式会社クラフトワークス）
デザイン：彦根大助
編集協力：筒井亮子
協 力：ニュートラルコーポレーション
印刷・製本：図書印刷株式会社
発 行：近藤勝也展新潟展実行委員会
内 容：『ジブリの动画家 近藤勝也展』

ごあいさつ

「近藤勝也という人」宮崎吾朗

目次

図版

少年時代

アニメーションの世界へ

スタジオジブリの仕事

NEVER WAS

3DCGへの挑戦

多彩な仕事

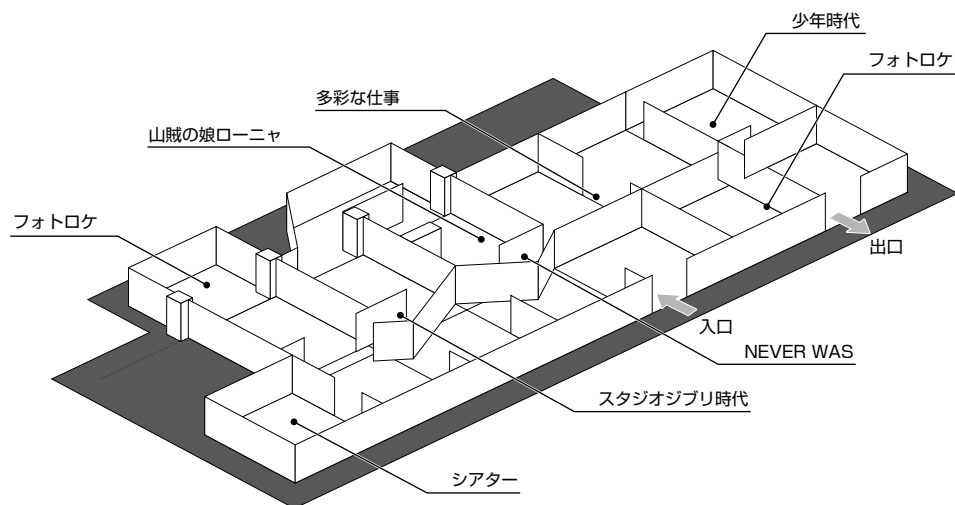
故郷を描く

近藤勝也インタビュー

フィルモグラフィー

展示作品リスト

奥付



【関連記事】

●新聞

- 7月7日(土) 産経新聞
「手描きキャラの素顔楽しんで／新潟で「ジブリのアニメ家 近藤勝也展」」
- 7月7日(土) 読売新聞
「ジブリ作品 近藤さん原画展／きょうから「魔女の宅急便」など手がける」
- 7月8日(日) 朝日新聞
「ジブリ作品監督／近藤さん作品展／新潟・万代島美術館」
- 8月9日(木) 読売新聞
「近藤勝也展 1万人突破」

●ラジオ

- 7月7日(土) FMにいがた
「FMインフォメーション」／近藤勝也氏

●ネット

- 7月5日(木) 産経ニュース
「手描きキャラの素顔楽しんで 新潟で「ジブリのアニメ家 近藤勝也展」」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	18,917
	前売	1,947
無料観覧者数	招待	2,123
	無料	6,544
	免除	1,586
総観覧者数		31,117
有料率 (%)		67.1

担当 桐原浩



【出品リスト】

番号	作品名	種別	制作年	素材	寸法(mm)
少年時代					
1	怪獣		不詳	紙 水彩 ペン	599×490
2	うま	版画	不詳	紙 インク	393×527
3	自画像	版画	不詳	紙 インク	530×392
4	バイク		不詳	紙 水彩 ペン	380×535
5	サルたち		不詳	紙 水彩 ペン	380×536
6	太鼓		不詳	紙 水彩 ペン	380×536
7	家の前の道		不詳	紙 水彩 ペン	380×537
8	通学路		不詳	紙 水彩 ペン	380×537
9	あの日の僕		不詳	紙 水彩 ペン	
10	段々		不詳	紙 水彩 ペン	380×536
11	口から		不詳	紙 水彩 ペン	380×540
12	運動会		不詳	紙 水彩 ペン	381×537
13	並木道		不詳	紙 水彩 ペン	537×382
14	川橋渡り		不詳	紙 水彩 ペン	382×538
15	家・太い木		不詳	紙 水彩 ペン	380×535
16	ぶどうを食べる		不詳	紙 水彩 ペン	380×538
17	たくさんの木		不詳	紙 水彩 ペン	380×537
18	拾い中		不詳	紙 水彩 ペン	380×538
19	キリン		不詳	紙 水彩 ペン	538×380
20	太鼓青		不詳	紙 水彩 ペン	380×538
21	いのしし	版画	不詳	紙 インク	393×529
22	こどもたち	版画	不詳	紙 インク	540×382
23	日記		不詳	紙 ペン	261×188
24	タイトルページの研究		不詳	紙 ペン	255×182
25	漫画審査		不詳		
26	スケッチ		不詳		
27	ノート		不詳		
28	就職の一式		不詳		
29	立体物		不詳		
30	パネル	模写	不詳		
31	アニメーションの模写		不詳		
32	仮面ライダーバトル		不詳		
33	双六		不詳		
アニメーションの世界へ					
34	Sweet Sea	原画	1985年	紙 鉛筆 色鉛筆	268×242
35	Sweet Sea	原画	1985年	紙 鉛筆 色鉛筆	268×242
36	Sweet Sea	原画	1985年	紙 鉛筆 色鉛筆	268×242
37	Sweet Sea	原画	1985年	紙 鉛筆 色鉛筆	268×242
38	Sweet Sea	原画	1985年	紙 鉛筆 色鉛筆	268×242
39	Sweet Sea	原画	1985年	紙 鉛筆 色鉛筆	268×242
スタジオジブリの仕事					
40	天空の城ラピュタ	原画	1986年	紙 鉛筆 色鉛筆	234×349
41	天空の城ラピュタ	原画	1986年	紙 鉛筆 色鉛筆	235×348
42	天空の城ラピュタ	原画	1986年	紙 鉛筆 色鉛筆	234×348
43	天空の城ラピュタ	原画	1986年	紙 鉛筆 色鉛筆	234×348
44	天空の城ラピュタ	原画	1986年	紙 鉛筆 色鉛筆	234×348
45	天空の城ラピュタ	原画	1986年	紙 鉛筆 色鉛筆	234×348
46	魔女の宅急便	キャラクターラフスケッチ	1989年	紙 鉛筆 水彩	256×213
47	魔女の宅急便	イメージボード	1989年	紙 鉛筆 水彩	254×363
48	魔女の宅急便	イメージボード	1989年	紙 鉛筆 水彩	254×363
49	魔女の宅急便	イメージボード	1989年	紙 鉛筆 水彩	279×203
50	魔女の宅急便	イメージボード	1989年	紙 鉛筆 水彩	120×220
51	魔女の宅急便	イメージボード	1989年	紙 鉛筆 水彩	129×180
52	魔女の宅急便	イメージボード	1989年	紙 鉛筆 水彩	127×180
53	魔女の宅急便	イメージボード	1989年	紙 鉛筆 水彩	145×210
54	魔女の宅急便	イメージボード	1989年	紙 鉛筆 水彩	127×180
55	魔女の宅急便	イメージボード	1989年	紙 鉛筆 水彩	180×254
56	魔女の宅急便	イメージボード	1989年	紙 鉛筆 水彩	125×180
57	魔女の宅急便	イメージボード	1989年	紙 鉛筆 水彩	180×254
58	魔女の宅急便	イメージボード	1989年	紙 鉛筆 水彩	254×360
59	魔女の宅急便	イメージボード	1989年	紙 鉛筆 水彩	234×300
60	魔女の宅急便	キャラクターラフスケッチ	1989年	紙 鉛筆 水彩	254×360
61	魔女の宅急便	キャラクターラフスケッチ	1989年	紙 鉛筆 水彩	254×360

[illegible]

128	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	191×271
129	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	192×272
130	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	193×272
131	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	192×271
132	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	190×270
133	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	188×270
134	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	191×270
135	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	189×270
136	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	269×189
137	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	270×220
138	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	270×221
139	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	270×190
140	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	190×270
141	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	190×270
142	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	190×270
143	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	192×272
144	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	192×272
145	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	192×272
146	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	189×270
147	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	190×168
148	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	190×270
149	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	188×270
150	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	190×270
151	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	190×268
152	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	190×268
153	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	187×268
154	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	190×270
155	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	190×268
156	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	270×190
157	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	270×190
158	海がきこえる	挿絵用キャラクターラフスケッチ	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	240×330
159	海がきこえる	挿絵	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	240×330
160	海がきこえる	挿絵用キャラクターラフスケッチ	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	240×330
161	海がきこえる	挿絵用キャラクターラフスケッチ	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	270×365
162	海がきこえる	挿絵用キャラクターラフスケッチ	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	240×330
163	海がきこえる	挿絵用キャラクターラフスケッチ	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	240×330
164	海がきこえる	挿絵用キャラクターラフスケッチ	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	240×330
165	海がきこえる	挿絵用キャラクターラフスケッチ	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	240×330
166	海がきこえる	挿絵用キャラクターラフスケッチ	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	240×330
167	海がきこえる	挿絵用キャラクターラフスケッチ	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	240×330
168	海がきこえる	挿絵用キャラクターラフスケッチ	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	270×330
169	海がきこえる	挿絵用キャラクターラフスケッチ	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	270×380
170	海がきこえる	挿絵用キャラクターラフスケッチ	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	240×330
171	海がきこえる	挿絵用キャラクターラフスケッチ	1990-91年	紙	鉛筆	水彩	330×240
172	平成狸合戦ぽんぽこ	原画	1994年	紙	鉛筆	色鉛筆	233×348
173	平成狸合戦ぽんぽこ	原画	1994年	紙	鉛筆	色鉛筆	233×348
174	平成狸合戦ぽんぽこ	原画	1994年	紙	鉛筆	色鉛筆	233×348
175	平成狸合戦ぽんぽこ	原画	1994年	紙	鉛筆	色鉛筆	233×348
176	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
177	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
178	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
179	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
180	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
181	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
182	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
183	崖の上のポニョ	イメージボード	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
184	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
185	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
186	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
187	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
188	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
189	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	382×271
190	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
191	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
192	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	271×382
193	崖の上のポニョ	キャラクターラフスケッチ	2008年	紙	鉛筆	水彩	185×270

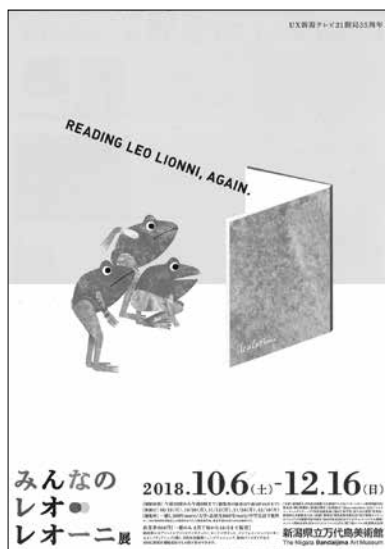
[illegible]

260	コクリコ坂から	イメージボード	2011年	紙	鉛筆	色鉛筆	水彩	272×382
261	コクリコ坂から	イメージボード	2011年	紙	鉛筆	色鉛筆	水彩	382×272
262	コクリコ坂から	イメージボード	2011年	紙	鉛筆	色鉛筆	水彩	271×383
263	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			230×388
264	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			235×349
265	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			256×362
266	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			234×348
267	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			256×361
268	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			256×362
269	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			234×348
270	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			234×348
271	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			234×349
272	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			234×348
273	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			234×349
274	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			234×348
275	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			234×349
276	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			234×349
277	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			271×382
278	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆	色鉛筆	水彩	271×150
279	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆			271×382
280	コクリコ坂から	キャラクターラフスケッチ	2011年	紙	鉛筆	色鉛筆	カーボン 水彩	271×382
281	風立ちぬ	原画	2012年	紙	鉛筆	色鉛筆		234×350
282	風立ちぬ	原画	2012年	紙	鉛筆	色鉛筆		234×350
283	風立ちぬ	レイアウト	2012年	紙	鉛筆	色鉛筆		229×350
284	風立ちぬ	原画	2012年	紙	鉛筆	色鉛筆		235×350
285	風立ちぬ	原画	2012年	紙	鉛筆	色鉛筆		235×350
286	風立ちぬ	原画	2012年	紙	鉛筆	色鉛筆		235×350
287	風立ちぬ	レイアウト	2012年	紙	鉛筆	色鉛筆		230×350
288	風立ちぬ	レイアウト	2012年	紙	鉛筆	色鉛筆		230×350
NEVER WAS								
289	墨攻	イメージボード	1991年	紙	セル	鉛筆	水彩	301×235
290	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	色鉛筆		228×349
291	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		135×191
292	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		136×190
293	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		135×190
294	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		135×193
295	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		190×270
296	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		180×237
297	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		193×271
298	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		192×271
299	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		190×270
300	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		190×270
301	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		268×347
302	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		190×270
303	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		192×270
304	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		270×384
305	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		272×384
306	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		270×383
307	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		186×383
308	墨攻	イメージボード	1991年	紙	鉛筆	水彩		270×383
309	墨攻	イメージボード	1991年	紙	セル	鉛筆	水彩	270×383
3DCGへの挑戦								
310	山賊の娘ローニャ	DVDジャケットイラスト	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆	水彩	381×272
311	山賊の娘ローニャ	DVDジャケットイラスト	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆	水彩	272×381
312	山賊の娘ローニャ	イメージボード	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆	水彩	383×271
313	山賊の娘ローニャ	イメージボード	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆	水彩	272×383
314	山賊の娘ローニャ	イメージボード	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆	水彩	383×271
315	山賊の娘ローニャ	イメージボード	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆	水彩	270×384
316	山賊の娘ローニャ	イメージボード	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆	水彩	271×382
317	山賊の娘ローニャ	イメージボード	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆	水彩	382×272
318	山賊の娘ローニャ	イメージボード	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆	水彩	383×271
319	山賊の娘ローニャ	イメージボード	2014年	紙	鉛筆	水彩		383×273
320	山賊の娘ローニャ	イメージボード	2014年	紙	鉛筆	水彩		383×273
321	山賊の娘ローニャ	イメージボード	2014年	紙	カーボン	色鉛筆	水彩	271×383
322	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	水彩		272×382
323	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	水彩		272×382

324	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	カーボン	色鉛筆	水彩	254×360
325	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	カーボン	色鉛筆	水彩	272×382
326	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	カーボン	色鉛筆	水彩	273×383
327	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	水彩		271×383
328	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	水彩		272×383
329	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	水彩		272×383
330	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	水彩		271×383
331	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	水彩		272×383
332	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	水彩		271×383
333	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	水彩		273×383
334	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	水彩		273×383
335	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	水彩		271×382
336	山賊の娘ローニャ	イメージボード	2014年	紙	鉛筆	水彩		273×383
337	山賊の娘ローニャ	ストーリーボード	2014年	紙	鉛筆	水彩		272×383
338	山賊の娘ローニャ	ストーリーボード	2014年	紙	鉛筆	水彩		271×383
339	山賊の娘ローニャ	ストーリーボード	2014年	紙	鉛筆	水彩		272×382
340	山賊の娘ローニャ	ストーリーボード	2014年	紙	カーボン	色鉛筆	水彩	272×383
341	山賊の娘ローニャ	ストーリーボード	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆		235×350
342	山賊の娘ローニャ	ストーリーボード	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆		235×350
343	山賊の娘ローニャ	ストーリーボード	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆		235×350
344	山賊の娘ローニャ	イメージボード	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆		235×350
345	山賊の娘ローニャ	イメージボード	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆		235×350
346	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆			235×350
347	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆		235×350
348	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆			235×350
349	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	水彩		254×360
350	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	水彩		254×360
351	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	水彩		254×360
352	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆			254×360
353	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆	水彩	254×360
354	山賊の娘ローニャ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆	水彩	254×360
355	The AURORA 海のオーロラ	キャラクターラフスケッチ	2000年	紙	鉛筆	色鉛筆		267×363
356	The AURORA 海のオーロラ	キャラクターラフスケッチ	2000年	紙	鉛筆	色鉛筆		267×363
357	The AURORA 海のオーロラ	キャラクターラフスケッチ	2000年	紙	鉛筆	色鉛筆		267×363
358	The AURORA 海のオーロラ	キャラクターラフスケッチ	2000年	紙	鉛筆	色鉛筆		267×363
359	The AURORA 海のオーロラ	キャラクターラフスケッチ	2000年	紙	鉛筆	色鉛筆		267×363
360	The AURORA 海のオーロラ	キャラクターラフスケッチ	2000年	紙	鉛筆	色鉛筆		267×363
多彩な仕事								
361	雲のように風のように	イラスト	1990年	紙	鉛筆	水彩		381×270
362	雲のように風のように	キャラクターラフスケッチ	1990年	紙	鉛筆	水彩		241×331
363	雲のように風のように	キャラクターラフスケッチ	1990年	紙	鉛筆	水彩		241×331
364	雲のように風のように	キャラクターラフスケッチ	1990年	紙	鉛筆	水彩		241×331
365	雲のように風のように	キャラクターラフスケッチ	1990年	紙	鉛筆	水彩		241×331
366	雲のように風のように	キャラクターラフスケッチ	1990年	紙	鉛筆	水彩		236×331
367	雲のように風のように	キャラクターラフスケッチ	1990年	紙	鉛筆	水彩		241×331
368	雲のように風のように	キャラクターラフスケッチ	1990年	紙	鉛筆	水彩		241×331
369	雲のように風のように	キャラクターラフスケッチ	1990年	紙	鉛筆	水彩		241×331
370	雲のように風のように	キャラクターラフスケッチ	1990年	紙	鉛筆	水彩		241×331
371	雲のように風のように	キャラクターラフスケッチ	1990年	紙	鉛筆	水彩		241×331
372	雲のように風のように	キャラクターラフスケッチ	1990年	紙	鉛筆	水彩		241×331
373	雲のように風のように	キャラクターラフスケッチ	1990年	紙	鉛筆	水彩		241×331
374	玉蘗物語	イラスト	1998年	紙	カーボン	水彩		271×382
375	玉蘗物語	イラスト	1998年	紙	カーボン	水彩		271×382
376	玉蘗物語	キャラクターラフスケッチ	1998年	紙	鉛筆			257×363
377	玉蘗物語	キャラクターラフスケッチ	1998年	紙	鉛筆			257×363
378	玉蘗物語	キャラクターラフスケッチ	1998年	紙	鉛筆			257×363
379	玉蘗物語	キャラクターラフスケッチ	1998年	紙	鉛筆			257×363
380	玉蘗物語	キャラクターラフスケッチ	1998年	紙	鉛筆			257×363
381	玉蘗物語	キャラクターラフスケッチ	1998年	紙	鉛筆			257×363
382	玉蘗物語	キャラクターラフスケッチ	1998年	紙	鉛筆			257×363
383	玉蘗物語	キャラクターラフスケッチ	1998年	紙	鉛筆	色鉛筆		257×363
384	玉蘗物語	キャラクターラフスケッチ	1998年	紙	鉛筆			257×363
385	玉蘗物語	キャラクターラフスケッチ	1998年	紙	鉛筆			257×363
386	玉蘗物語	キャラクターラフスケッチ	1998年	紙	鉛筆			257×363
387	玉蘗物語	キャラクターラフスケッチ	1998年	紙	鉛筆			257×363
388	玉蘗物語	キャラクターラフスケッチ	1998年	紙	鉛筆			257×363

389	玉藻物語	キャラクターラフスケッチ	1998年	紙	鉛筆	257×363
390	玉藻物語	キャラクターラフスケッチ	1998年	紙	鉛筆	257×363
391	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
392	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
393	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
394	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
395	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
396	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
397	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
398	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
399	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
400	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
401	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
402	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
403	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
404	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
405	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
406	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
407	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
408	玉藻物語	絵コンテ	1998年	紙	鉛筆 色鉛筆	363×256
409	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	イラスト	1995-96年	紙	鉛筆	363×257
410	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	イラスト	1995-96年	紙	鉛筆	363×256
411	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
412	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
413	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
414	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
415	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
416	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
417	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
418	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
419	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
420	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
421	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
422	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
423	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
424	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
425	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
426	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	漫画原稿	1995-96年	紙	インク	368×265
427	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	イラスト	1995-96年	紙	カーボン 水彩	380×270
428	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	イラスト	1995-96年	紙	カーボン 水彩	380×270
429	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	イラスト	1995-96年	紙	カーボン 水彩	380×270
430	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	イラスト	1995-96年	紙	鉛筆 水彩	270×380
431	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	イラスト	1995-96年	紙	鉛筆 水彩	270×382
432	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	キャラクターラフスケッチ	1995-96年	紙	鉛筆 水彩	270×382
433	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	イラスト	1995-96年	紙	鉛筆 水彩	270×380
434	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	キャラクターラフスケッチ	1995-96年	紙	カーボン 水彩	272×382
435	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	イラスト	1995-96年	紙	鉛筆 水彩	270×190
436	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	キャラクターラフスケッチ	1995-96年	紙	鉛筆 水彩	271×382
437	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	イラスト	1995-96年	紙	鉛筆 水彩	271×381
438	『D'arc ジャンヌ・ダルク伝』1巻・2巻	キャラクターラフスケッチ	1995-96年	紙	鉛筆 水彩	270×380
439	コニャラ「ただいまの歌」篇	原画	2010年	紙	筆ペン	234×348
440	コニャラ「ただいまの歌」篇	キャラクターラフスケッチ	2010年	紙	鉛筆 色鉛筆	224×351
441	コニャラ「ただいまの歌」篇	キャラクターラフスケッチ	2010年	紙	鉛筆 色鉛筆	224×350
442	コニャラ「ただいまの歌」篇	キャラクターラフスケッチ	2010年	紙	鉛筆 色鉛筆	224×350
443	となりのおにぎり君	原画	2016年	紙	鉛筆	234×348
444	となりのおにぎり君	原画	2016年	紙	鉛筆	234×348
445	となりのおにぎり君	原画	2016年	紙	鉛筆 色鉛筆	234×348
446	となりのおにぎり君	原画	2016年	紙	鉛筆 色鉛筆	234×348
447	となりのおにぎり君	原画	2016年	紙	鉛筆 色鉛筆	234×348
448	となりのおにぎり君	原画	2016年	紙	鉛筆 色鉛筆	234×348
449	となりのおにぎり君	原画	2016年	紙	鉛筆 色鉛筆	234×348
450	となりのおにぎり君	原画	2016年	紙	鉛筆 色鉛筆	234×348
451	となりのおにぎり君	原画	2016年	紙	鉛筆 色鉛筆	234×348
452	鳥獣戯画	原画	2016年	紙	鉛筆 色鉛筆	234×348
453	鳥獣戯画	原画	2016年	紙	鉛筆 色鉛筆	234×348
454	鳥獣戯画	原画	2016年	紙	鉛筆 色鉛筆	234×348

455	鳥獣戯画	原画	2016年	紙	鉛筆	色鉛筆	234×348
456	鳥獣戯画	原画	2016年	紙	鉛筆	色鉛筆	234×348
457	鳥獣戯画	原画	2016年	紙	鉛筆	色鉛筆	234×348
458	鳥獣戯画	原画	2016年	紙	鉛筆	色鉛筆	234×348
459	鳥獣戯画	原画	2016年	紙	鉛筆	色鉛筆	234×348
460	鳥獣戯画	原画	2016年	紙	鉛筆	色鉛筆	234×348
461	鳥獣戯画	原画	2016年	紙	鉛筆	色鉛筆	234×348
462	鳥獣戯画	原画	2016年	紙	鉛筆	色鉛筆	234×348
463	鳥獣戯画	原画	2016年	紙	鉛筆	色鉛筆	234×348
464	「くらしごごち家族」リョービイメージキャラクター	キャラクターラフスケッチ	1999年	紙	鉛筆	色鉛筆	256×364
465	「くらしごごち家族」リョービイメージキャラクター	イラスト	1999年	紙	カーボン	水彩	234×332
466	「くらしごごち家族」リョービイメージキャラクター	イラスト	1999年	紙	鉛筆	色鉛筆	257×363
467	「くらしごごち家族」リョービイメージキャラクター	イラスト	1999年	紙	鉛筆	色鉛筆	256×363
468	「くらしごごち家族」リョービイメージキャラクター	イラスト	1999年	紙	鉛筆	色鉛筆	256×362
469	「くらしごごち家族」リョービイメージキャラクター	イラスト	1999年	紙	鉛筆	色鉛筆	240×350
470	「くらしごごち家族」リョービイメージキャラクター	イラスト	1999年	紙	鉛筆	色鉛筆	272×363
471	「くらしごごち家族」リョービイメージキャラクター	イラスト	1999年	紙	鉛筆	色鉛筆	256×363
472	「くらしごごち家族」リョービイメージキャラクター	イラスト	1999年	紙	鉛筆	色鉛筆	256×363
473	いつもそばにあるもの	イラスト	1996年	紙	鉛筆		363×256
474	いつもそばにあるもの	イラスト	1996年	紙	鉛筆		365×257
475	いつもそばにあるもの	イラスト	1996年	紙	鉛筆		365×257
476	いつもそばにあるもの	イラスト	1996年	紙	鉛筆		363×256
477	書籍装画『世界地図の下書き』(集英社文庫)	イラスト	2013年	紙	鉛筆	色鉛筆 水彩	298×450
478	書籍装画『世界地図の下書き』(集英社文庫)	イラスト	2013年	紙	鉛筆	色鉛筆 水彩	195×135
479	書籍装画『世界地図の下書き』(集英社文庫)	イラスト	2013年	紙	鉛筆	色鉛筆 水彩	225×235
480	書籍装画『鉄道員』(集英社みらい文庫)	イラスト	2013年	紙	鉛筆	色鉛筆 水彩	382×272
481	書籍装画『鉄道員』(集英社みらい文庫)	イラスト	2013年	紙	鉛筆	色鉛筆 水彩	270×191
482	書籍装画『一つの花 ヒロシマの歌』(集英社みらい文庫)	イラスト	2015年	紙	鉛筆	色鉛筆 水彩	271×382
483	書籍装画『一つの花 ヒロシマの歌』(集英社みらい文庫)	イラスト	2015年	紙	鉛筆	色鉛筆 水彩	271×382
484	書籍装画『漱石と子規のプレイボール』(ぴあ)	イラスト	2014年	紙	鉛筆	水彩	382×300
485	書籍装画『里山資本主義』(角川新書)	イラスト	2013年	紙	鉛筆	色鉛筆 水彩	382×272
486	ふきちゃん	イラスト	2005年	紙	鉛筆	色鉛筆	225×300
487	ふきちゃん	イラスト	2005年	紙	鉛筆	色鉛筆	191×278
488	ふきちゃん	イラスト	2005年	紙	鉛筆	色鉛筆	226×300
489	ふきちゃん	イラスト	2005年	紙	鉛筆	色鉛筆	235×350
490	ふきちゃん	イラスト	2005年	紙	鉛筆	色鉛筆	223×300
故郷を描く							
491	『愛媛新聞』掲載イラスト	イラスト	2013年	紙	鉛筆	水彩	235×381
492	『愛媛新聞』掲載イラスト	イラスト	2013年	紙	鉛筆	水彩	300×271
493	『愛媛新聞』掲載イラスト	イラスト	2013年	紙	鉛筆	水彩	250×381
494	『愛媛新聞』掲載イラスト	イラスト	2013年	紙	鉛筆	水彩	271×274
495	『愛媛新聞』掲載イラスト	イラスト	2013年	紙	鉛筆	水彩	271×381
496	新居浜市のための描き下ろしイラスト	イラスト	2017年	紙	鉛筆	水彩	381×270
497	新居浜市ナンバープレート用キャラクターラフスケッチ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆	352×230
498	新居浜市ナンバープレート用キャラクターラフスケッチ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆	352×230
499	新居浜市ナンバープレート用キャラクターラフスケッチ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆	352×230
500	新居浜市ナンバープレート用キャラクターラフスケッチ	キャラクターラフスケッチ	2014年	紙	鉛筆	色鉛筆	352×230
追加展示作品							
501	海がきこえる	絵コンテ	1993年	紙	鉛筆	色鉛筆	363×256
502	海がきこえる	絵コンテ	1993年	紙	鉛筆	色鉛筆	363×256
503	海がきこえる	絵コンテ	1993年	紙	鉛筆	色鉛筆	363×256
504	海がきこえる	絵コンテ	1993年	紙	鉛筆	色鉛筆	363×256
505	海がきこえる	絵コンテ	1993年	紙	鉛筆	色鉛筆	363×256
506	海がきこえる	絵コンテ	1993年	紙	鉛筆	色鉛筆	363×256
507	海がきこえる	絵コンテ	1993年	紙	鉛筆	色鉛筆	363×256
508	海がきこえる	絵コンテ	1993年	紙	鉛筆	色鉛筆	363×256
509	海がきこえる	絵コンテ	1993年	紙	鉛筆	色鉛筆	363×256
510	海がきこえる	絵コンテ	1993年	紙	鉛筆	色鉛筆	363×256
511	海がきこえる	キャラクターラフスケッチ	1993年	紙	鉛筆	色鉛筆	363×256
512	海がきこえる	キャラクターラフスケッチ	1993年	紙	鉛筆	色鉛筆	363×256
513	海がきこえる	キャラクターラフスケッチ	1993年	紙	鉛筆	色鉛筆	363×256
514	海がきこえる	キャラクターラフスケッチ	1993年	紙	鉛筆	色鉛筆	363×256
515	海がきこえる	キャラクターラフスケッチ	1993年	紙	鉛筆	色鉛筆	363×256



みんなのレオ・レオーニ展

【趣 旨】

「スイミー」や「フレデリック」などの絵本で、日本でも親しまれているレオ・レオーニ (Leo Lionni 1910-1999) の回顧展。絵本の原画約100点のほか、油彩、彫刻、グラフィックデザインなど約100点をあわせた200点により、絵本作家として、またデザイナーやアーティストとして活躍したレオーニの全体像を紹介。

【総 括】

●評価すべき点

- ・絵本作家として著名なレオーニであるが、デザイナーやアーティストとしての側面を紹介することで、来館者に新しい視点を提供できた。
- ・現代のアーティストがレオーニ作品をテーマに制作した映像作品などをあわせて展示。また、おしゃべり優先タイムの実施や、絵本コーナー、工作コーナーの設置、多彩なイベントの開催などが、親子連れ等の来館者層に好評であった。
- ・工作コーナーの実施にあたっては、休館中の近代美術館職員と協働。またその他のイベントについても、新潟市中央図書館や読み聞かせのボランティアグループ、当館のサポートメンバーなど、外部の人材や組織からの協力を得ることで、巡回の他会場にはない当館独自の魅力を高められた。

●検討課題

- ・「おしゃべり優先タイム」は親子連れに好評で新聞でも取り上げられた一方、音が気になった、という来館者もいた。また、美術館の敷居を低くする一方で、作品保全という美術館の役割についても来館者により認識していただけるような工夫が必要だと感じた。本展での経験をふまえ、今後の実施方法について検討したい。

【開催日・その他】

=2018年10月6日(土)～12月16日(日) (67日間)=

〔休館日〕10月15日(月)、10月29日(月)、11月12日(月)、11月26日(月)、12月10日(月)

主 催：新潟県立万代島美術館／UX新潟テレビ21／レオ・レオーニ展新潟展実行委員会／朝日新聞社／新潟日報社

企画協力：Blueandyellow, LLC／コスモマーチャンダイズイング／渋谷出版企画

協 力：好学社／あすなろ書房／至光社／新潟県立美術館友の会

後 援：新潟市／新潟市教育委員会／NCV新潟センター／エフエムラジオ新潟／FM PORT 79.0／FM KENTO／ラジオチャット・エフエム新潟／エフエム角田山ぽかぽかラジオ／エフエムしばた／燕三条エフエム放送株式会社

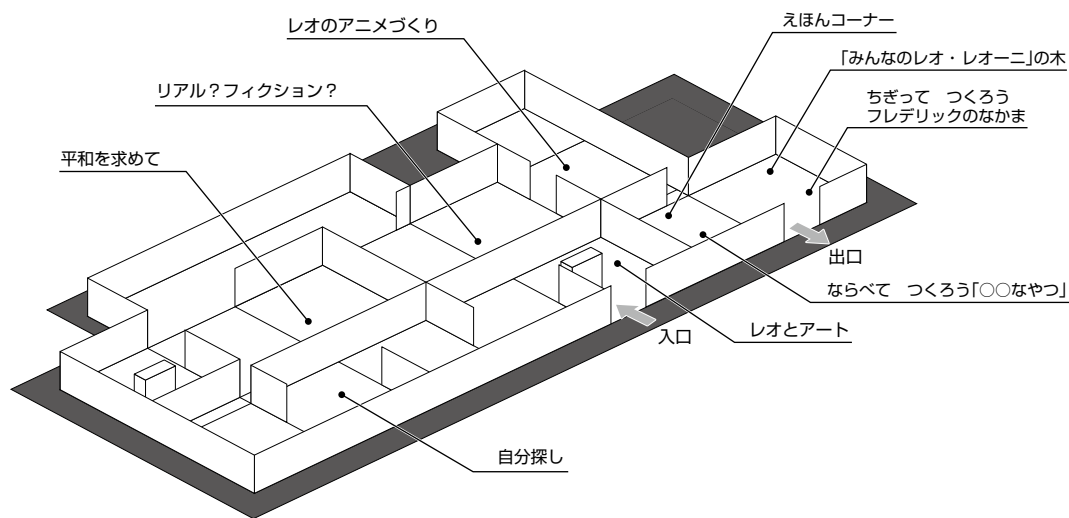
観覧料：一般……………1,100円(900円)〈900円〉

大学・高校生……………900円(700円)

※中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売券料金



【関連行事】

- ・講演会「希望の絵本をつくる人 レオ・レオーニ」
10月6日(土) 14:00～15:30 NICOプラザ会議室
講師：松岡希代子氏（板橋区立美術館副館長）
参加者数：35名
協力：新潟県立美術館友の会
- ・絵本の読み聞かせ
10月21日(日)／読み手：高林梢絵氏（UX新潟テレビ21アナウンサー）／参加者数：35名
10月28日(日)／読み手：絵本読み聞かせの会 ほんぼとり／参加者数：36名
11月11日(日)／読み手：餅谷智子氏・岡村美和子氏（新潟市立中央図書館司書）／参加者数：40名
11月25日(日)／読み手：おはなしの会 森の家／参加者数：65名
12月 2日(日)／読み手：三河かおり氏（UX新潟テレビ21アナウンサー）／参加者数：70名
各日ともに11:00～11:30 展示室
- ・絵本カバーでエコバッグづくり
11月3日(土・祝) 11:00～、13:00～、14:15～（計3回）ロビー
＊小学校3年生以下は保護者同伴
参加者数：45名
協力：好学社、新潟県立美術館友の会

- ・学芸員によるギャラリートーク
11月17日(土) 14:00～14:45 展示室
参加者数：25名
- ・アートとなかよし おしゃべり優先タイム
会期中 毎日 10:00～13:00
- ・「ちぎってつくろう フレデリックのなかまたち」
＊切り紙でねずみを作る工作コーナー
会期中、展示室内絵本コーナーに設置／随時参加可能
- ・「ならべてつくろう 〇〇なやつ」
＊マグネットを並べて、形をつくるコーナー
会期中、展示室内絵本コーナーに設置／随時参加可能





【図 録】

仕 様：20.8×25.7 cm 142頁

編 集：朝日新聞社企画事業本部文化事業部、松岡希代子・高木佳子（板橋区立美術館）、砂塚美穂

編集協力：森泉文美

ブックデザイン：水口克夫、上村真由、尾崎友則

印 刷：野崎印刷紙業

発 行：朝日新聞社

内 容：ごあいさつ

メッセージ

4つのキーワードで読み解くレオ・レオーニ

Chapter1 レオとアート

Chapter2 自分探し

Point of view 1 スイミーの謎

Chapter3 平和を求めて

Point of view 2 『あおくんときいろちゃん』

誕生秘話

Chapter4 リアル？フィクション？

Point of view 3 レオとアニメ

よくみることはよくよむこと（対談：絵本作家 tupera tuperaさん×アートディレクター水口克夫さん）

谷川俊太郎さんインタビュー

作品リスト

レオ・レオーニ年譜

【関連記事】

●新聞

10月 6日(土) 新潟日報「カラフルな原画一堂に きょう開幕 新潟でレオ・レオーニ展」

11月13日(火) 新潟日報「県内美術館 子連れ歓迎 感性育んで」

11月24日(土) 新潟日報「展覧会へようこそ みんなのレオ・レオーニ展 絵本に込められた思い」／今井有

11月26日(月) 新潟日報おとなプラス「表現者レオ・レオーニ」

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	13,313
	前売	2,039
無料観覧者数	招待	1,998
	無料	5,699
	免除	1,737
総観覧者数		24,786
有料率 (%)		61.9

担当 今井有

【出品リスト】

No.	作品名	制作年	素材、技法	所蔵
1. レオとアート				
1	ハロウィーン	1944年	油彩、キャンヴァス	
2	ヨリリオの娘(オイディプス王)	1946年	不透明水彩、キャンヴァス	
3	ジブシー	1945年	不透明水彩、キャンヴァス	
4	アコーディオン奏者	1949年	油彩、キャンヴァス	
5	占い師	1949~50年頃	油彩、キャンヴァス	
6	スカーフをかぶった5人の女性	1960年頃	油彩、キャンヴァス	
7	「黒いテーブル」シリーズ：女王万歳	1991年	油彩、キャンヴァス	
8	「黒いテーブル」シリーズ：遊びの時間	1992年頃	油彩、キャンヴァス	
9	「黒いテーブル」シリーズ：月に憑かれたピエロ	1992年	油彩、キャンヴァス	
10	「フレデリック」原画(16点)	1967年	水彩、パステル、コラージュ、紙	
11	「マシューのゆめ」原画(7点)	1991年	鉛筆、水彩、コラージュ、紙	
12	「おながくねずみ ジェラルディン」原画(7点)	1979年	色鉛筆、鉛筆、紙	
2. 自分探し				
1	「チコと きんいろの つばさ」原画(5点)	1964年	不透明水彩、コラージュ、紙	
2	「アレクサンダ と ぜんまいねずみ」原画(7点)	1969年	水彩、コラージュ、紙	
3	「コーネリアス」原画(6点)	1983年	水彩、パステル、コラージュ、紙	
4	「ベツェッティノ」原画(6点)	1975年	クレヨン、水彩、コラージュ、紙	
5	「スイミー」原画(5点)	1963年	水彩、モノタイプ	※1
3. 平和を求めて				
1	羊毛繊維工業会社ロッシ 広告ポスター	1935年	印刷、紙	
2	製菓会社モッタ バネトーネの新聞広告「モッタ・モッタ・モッタ」	1935年	印刷、紙	
3	製菓会社モッタ バネトーネの新聞広告「優秀印モッタ」	1935年	印刷、紙	
4	製菓会社モッタ バネトーネの新聞広告「ミラノからヴェネツィアへ直行」	1935年	印刷、紙	
5	ゼネラル・エレクトリック社 バンフレット・カバー表紙「産業エレクトロニクス」	1941年頃	印刷、紙	
6	CBSラジオ雑誌広告(『フォーチュン』誌1949年7月号掲載)「どうしてこんなにラジオを聞くのだろうか」	1949年	印刷、紙	
7	アメリカ癌協会 ラジオドラマ・シリーズ「でも今日はどこへ」宣伝広告	1950年頃	印刷、紙	
8	アメリカ癌協会ポスター	1950年	印刷、紙	
9	アメリカ癌協会 寄付金要請ポスター	1950年頃	印刷、紙	
10	操る者	1955年頃	インク、水彩、紙	
11	空気の抜けたヒトラー	不詳	インク、紙	
12	アメリカとソ連	1955年頃	インク、ワックスパステル、紙	
13	『フォーチュン』誌1950年6月号「石炭探掘用の新しい道具」 表紙：アントン・レフジェエル作	1950年	印刷、紙	
14	『フォーチュン』誌1952年3月号「冷凍オレンジジュース問題」等 表紙：レオ・レオーニ作	1952年	印刷、紙	
15	『フォーチュン』誌1955年7月号「企業最高幹部たちの生活」等 表紙：レオ・レオーニ作	1955年	印刷、紙	
16	『フォーチュン』表紙 1956年3月号「新しい建築技術」 表紙：ウォルター・アルナー作	1956年	印刷、紙	
17	『フォーチュン』誌 表紙 1957年5月号「インドの産業」 表紙写真：レオ・レオーニ	1957年	印刷、紙	
18	『フォーチュン』誌 表紙 1960年2月号「ニューヨーク」	1960年	印刷、紙	
19	コンテナ・コーポレーション・オブ・アメリカ広告シリーズ「西洋人の偉大な思想」、プラトンの「国家」より：政治における知恵について(『フォーチュン』誌掲載)	1950年頃	印刷、紙	
20	コンテナ・コーポレーション・オブ・アメリカ広告シリーズ「西洋人の偉大な思想」、エピクテトス「語録」より：哲学の発祥について(『フォーチュン』誌掲載)	1954年	印刷、紙	
21	コンテナ・コーポレーション・オブ・アメリカ広告シリーズ「西洋人の偉大な思想」、セルヴァンテスの『ドン・キホーテ』より：アイデンティティについて(『フォーチュン』誌掲載)	1969年	印刷、紙	
22	ニューヨーク近代美術館創立25周年記念ポスター	1954年	印刷、紙	
23	『ザ・ファミリー・オブ・マン(人間家族)』表紙	1955年	印刷、紙	
24	ユネスコポスター「世界公開」	1955年	印刷、紙	
25	オリベッティ社プリンター付き電卓「ディヴィスンマ14」 企業用郵便広告 返信葉書付き	1955年頃	印刷、紙	
26	オリベッティ社「ニューヨーク・タイムズ」紙用企業広告	1956年	印刷、紙	
27	オリベッティ社プリンター付き電卓「ディヴィスンマ24」 雑誌用広告	1959年	印刷、紙	
28	オリベッティ社ポータブル・タイプライター「レッテラ22」	1954年	印刷、紙	
29	オリベッティ社のパーソナル・タイプライター「レッテラ22」『ニューヨーカー』誌用広告	1954年	印刷、紙	
30	アルミニウム製造会社アルコア 雑誌広告「テキスチャー」	1953年	アルミニウム・エンボス加工、印刷、紙	
31	化学系企業デュボン 印刷用インクの広告	1959年頃	印刷、紙	
32	「印刷されたページのためのデザイン集」4ページより「サイズと色のヴァリエーション」	1957年	印刷、紙	

33 『プリント』表紙 1955年	1955年	印刷、紙
34 製紙工場雑誌用広告「私はアート作品をそのままページの中に落とし込みます」	1955年	印刷、紙
35 ヤマアラシ	1952年頃	インク、紙
36 閉じた口にはエは入らない	1949年	ペン、インク、紙
37 『ひとあし ひとあし』原画(5点)	1960年	水彩、パステル、コラージュ、紙
38 『あいうえおの き』原画(4点)	1968年	水彩、紙
39 『ぼくのだ！ わたしのよ！』原画(6点)	1985年	色鉛筆、水彩、コラージュ、紙
40 『6わのからす』原画(6点)	1988年	色鉛筆、鉛筆、水彩、コラージュ、紙
41 『みどりの しっぽの ねずみ』原画(6点)	1973年	油彩、ボード
42 「空気」シリーズ：出会い	1986年頃	油彩、キャンヴァス
43 「空気」シリーズ：浄夜その1	1986年頃	油彩、キャンヴァス
44 「空気」シリーズ：橋	1986年頃	油彩、キャンヴァス

4. リアル？ フィクション？

1 『はまべには いしが いっぱい』ドイツ語版 最終ページ	1961年頃	鉛筆、紙
2 石	1980年頃	鉛筆、紙
3 コレクション2	1983年	鉛筆、紙
4 『せかい いち おおきな うち』原画(5点)	1968年	色鉛筆、鉛筆、クレヨン、水彩、コラージュ、紙
5 『うさぎを つくろう』原画(6点)	1982年	色鉛筆、鉛筆、コラージュ、紙
6 「平行植物」シリーズ：緑の木	1970年頃	油彩、キャンヴァス
7 「平行植物」シリーズ：赤い木	1970年頃	油彩、キャンヴァス
8 「平行植物」シリーズ：プロトルピス	1970年頃	油彩、キャンヴァス
9 「平行植物」シリーズ：向日葵(ジーラ・ルーナ)	1971年	油彩、キャンヴァス
10 「平行植物」シリーズ：昼間の向日葵(ジーラ・ルーナ)	1970年頃	油彩、キャンヴァス
11 「平行植物」シリーズ：夜の向日葵(ジーラ・ルーナ)	1970年頃	油彩、キャンヴァス
12 『レオ・レオーニのスケッチブック』(18点)	1972年	ボールペン、紙
13 「平行植物」シリーズ下絵	1978年	鉛筆、紙
14 『ソレアエ』ブック・プロジェクト	1976年頃	鉛筆、紙
15 「平行植物」シリーズ下絵	1970年頃	鉛筆、紙
16 「平行植物」シリーズ 木	1970年頃	鉛筆、紙
17 「平行植物」シリーズ 平行植物と小石	1983年頃	鉛筆、紙
18 「平行植物」シリーズ：プロジェクト・幻想の庭	1978年	ブロンズ
19 「想像肖像」シリーズ：カルロ・カルダッチョ氏	1963年	油彩、キャンヴァス
20 「想像肖像」シリーズ：アンナマリア	1963年	油彩、キャンヴァス
21 「想像肖像」シリーズ：エンジニアのフェレッティ氏	1963年	油彩、キャンヴァス
22 「想像肖像」シリーズ：金髪の婦人	1963年頃	油彩、キャンヴァス
23 「想像肖像」シリーズ：コンチリオ枢機卿	1963年	油彩、キャンヴァス
24 「プロフィール」シリーズ(8点)	1966年	油彩、板

5. レオのアニメづくり

1 アニメ「スイミー」作画素材によるコラージュ(2点)	1967年	不透明水彩、アセテートフィルム、コラージュ、紙 ※2
2 アニメ「フレデリック」作画素材によるコラージュ(8点)	1967年	ワックスパステル、アセテートフィルム、コラージュ、紙 ※2
3 アニメ「コーネリアス」作画素材によるコラージュ(4点)	1986年	不透明水彩、コラージュ、紙 ※2
4 「ベツェッティノ」アニメ化実験素材(2点)	1986年	ワックスパステル、コラージュ、紙 ※2
5 アニメ「さかなは さかな」作画素材によるコラージュ(4点)	1986年	不透明水彩、ワックスパステル、コラージュ、紙 ※2
6 アニメ「ぼくのだ！ わたしのよ！」作画素材によるコラージュ(4点)	1986年	不透明水彩、モノタイプ、紙 ※2
7 「じぶんだけのいろ」アニメ化実験素材	1986年	不透明水彩、モノタイプ、コラージュ、紙 ※2
8 「レオ・レオーニの絵本作り」実演ビデオで使用されたモノプリント	2018年	不透明水彩、コラージュ、紙 ※2
9 アニメ「コーネリアス」に使用されたワニの体	1986年	不透明水彩、釣り糸、紙 ※2
10 アニメ「ぼくのだ！ わたしのよ！」に使用された草の葉	1986年	不透明水彩、紙 ※2

plaplaによる特別展示

- ・レオーニ 再考「とうとう みどりに になりました」
- ・レオーニ 再考「なにか だいじな ことを いわなきゃ だめだ」
- ・レオーニ 再考「そして すてきな かおの いし」

■作品の所蔵者について

- ※1：スロバキア国立美術館
- ※2：アントネッラ・アッパティエロ氏
- 上記以外(空欄)はアニー・レオーニ氏の所蔵作品



創立100周年記念 国画創作協会の全貌展

【趣 旨】

1918年、土田麦僊、小野竹喬、野長瀬晩花ら5人の若手画家により京都で旗揚げされた日本画団体「国画創作協会」の創立100年を記念する25年ぶりの大規模回顧展。笠岡市立竹喬美術館、和歌山県立近代美術館との共同企画。近代日本画の名作として名高い土田麦僊の《舞妓林泉》をはじめ、第1回から第7回まで開催された国画創作協会展覧会および日本美術展に出品された当時の名作、話題作約105点から各館約70点を紹介した。

【総 括】

●評価すべき点

- ・展示期間に制約の多い日本画展だが、京都国立近代美術館をはじめ全国の美術館から多くの作品が出品され、充実した内容となった。
- ・企画の重要性が評価され、美術館連絡協議会の美連協大賞奨励賞を受賞した。
- ・単館では開催困難な大規模展を他の公立2館と協力し、一般財団法人地域創造の助成を受けて実現することができた。
- ・当館担当学芸員も図録作成に関わり、新潟県出身の土田麦僊、恩田耕作について文章を寄せた。
- ・近代美術館普及部会に鑑賞ガイド作成を依頼した。展覧会担当と内容を検討し、作品が生まれた時代背景や西洋美術との関わりを解説。個々の作品解説とは異なる視点から作品に対する理解を深める内容となった。

●検討課題

- ・アンケート結果では来館者の5割弱が60代以上となっており、日本画に関心を持つ層の高年齢化がはっきりした。今後の日本画展開催にあたっては若い年齢層にどのようにアピールするかが大きな課題として残った。新しい告知方法の可能性を探るなどの努力が不可欠と思われる。

【開催日・その他】

＝2019年1月4日(金)～2月17日(日) (41日間)＝

休館日：1月7日(月)、1月15日(火)、1月28日(月)、2月12日(火)

主 催：新潟県立万代島美術館、新潟日報社

特別協力：京都国立近代美術館、京都市美術館

助 成：一般財団法人 地域創造

後 援：新潟市、新潟市教育委員会、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、N S T、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、ケーブルテレビNCV、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエム角田山ほかほかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送

観覧料：一般……………1,200円(1,000円)〈1,000円〉

大学・高校生……………1,000円(800円)

※中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金

※〈 〉内は前売券料金



【関連行事】

・美術鑑賞講座

「大正から昭和初期の日本画：国画創作協会を中心に」

2月17日(日) 14:00～ ロビー

講師：池田珠緒（当館主任学芸員）

参加者数：30名

・作品解説会

1月5日(土)、2月2日(土) 14:00～ 展示室

当館学芸員

参加者数：30名／25名

・ワークショップ

「発見！日本画のヒミツ」

1月12日(土) 14:00～ ロビー

講師：永吉秀司氏（公益財団法人日本美術院地域連携教育普及プログラム委員・新潟大学教育学部准教授）

参加者数：60名

「竹かごを編もう！」

2月3日(日) 13:30～ ロビー

講師：成田文香氏（竹細工作家）

参加者数：5名

【図録】

仕様：28.0×22.5cm 255頁

編集：笠岡市立竹喬美術館 上蘭四郎／柴田就平／松島千穂
和歌山県立近代美術館 山野英嗣／宮本久宣／藤本真名美

新潟県立万代島美術館 池田珠緒／長嶋圭哉

発行：笠岡市立竹喬美術館、和歌山県立近代美術館、新潟県立万代島美術館

制作：ニューカラー写真印刷株式会社

内容：ごあいさつ

国画創作協会の理想と現実、虚と実／上蘭四郎

第1章 国画創作協会の創立 前期国展（第1回～3回展）

コラム 渡欧の足跡

第2章 会員たちの渡欧と日本美術展

第3章 国画創作協会の発展と解散 後期国展（第4回～第7回展）

〔資料〕

理由書

宣言書並びに規約

出品規約

解散書

〔論考〕

国画創作協会創立をめぐる一京都の周辺人物を中心に／藤本真名美

小野竹喬における国画創作協会／柴田就平

土田麦僊《蔬菜》についての覚え書き／池田珠緒

国展と版画 永瀬義郎、平塚運一、川上澄生を中心に／宮本久宣

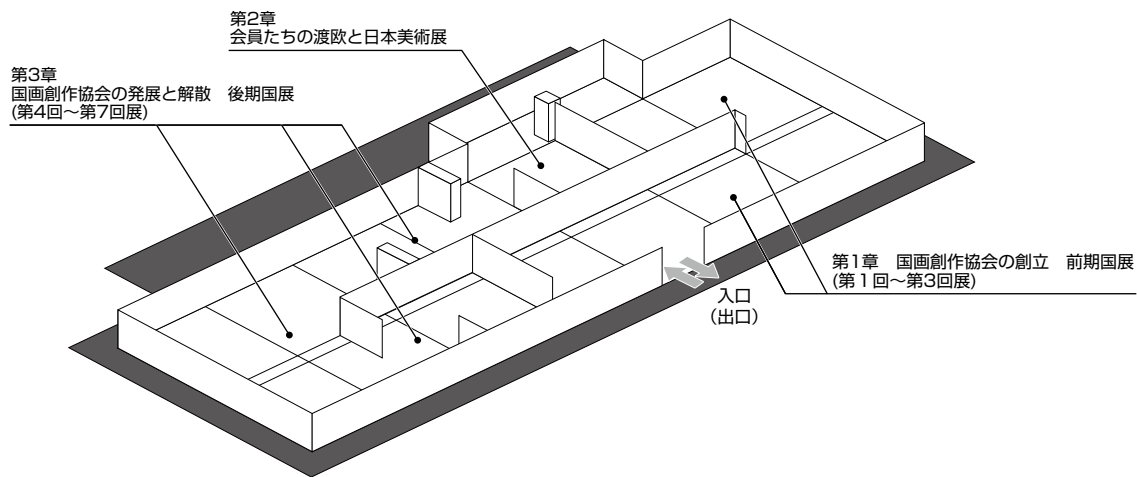
作品解説

作家解説

関連年表

参考文献

出品目録



【関連記事】

●新聞

- 12月27日(日) 新潟日報
「国画創作協会の全貌展」
- 1月5日(土) 新潟日報
「国画創作協会展が開幕」
- 1月19日(土) 新潟日報
「展覧会へようこそ 創立100周年記念 国画創作協会
の全貌展 若者らの挑戦 情熱あふれ」／池田珠緒
- 2月4日(月) 新潟日報
「佐渡の竹でかご作り」

●テレビ

- 1月5日(土) NHK新潟放送局
「ニュース」／池田珠緒
- 1月6日(日) UX新潟テレビ21
「日曜夕方ニュース」／長嶋圭哉
- 1月25日(金) BSN新潟放送
「ひるおび!」／池田珠緒

●ラジオ

- 1月16日(水) BSN新潟放送
「近藤丈晴の独占ごきげんアワー」／池田珠緒

【観覧者数】

有料観覧者数	当日	2,117
	前売	355
無料観覧者数	招待	919
	無料	103
	免除	290
総観覧者数		3,784
有料率 (%)		65.3

担当 池田珠緒

【出品リスト】

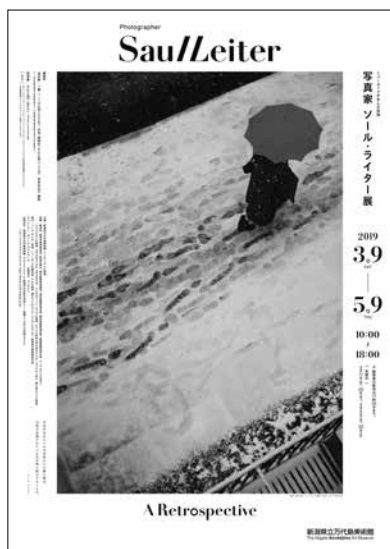
カタログNo.	作品名	作家名	制作年	技法、材質／形状	所蔵先	展示期間
第1章 国画創作協会の創立 前期国展（第1回～第3回展）						
1	波切村	小野竹喬	1918(大正7)	絹本着色／四曲一双屏風	笠岡市立竹喬美術館	
15	夏の五箇山	小野竹喬	1919(大正8)	絹本着色／四曲一隻屏風	笠岡市立竹喬美術館	
23	海島	小野竹喬	1920(大正9)	絹本着色／二曲一双屏風	笠岡市立竹喬美術館	
22	彼岸	入江波光	1920(大正9)	絹本着色／額装	京都市美術館	
2	聖者の死(大下絵)	村上華岳	1918(大正7)	墨、紙／額装	京都市美術館	
24	裸婦図(大下絵)	村上華岳	1920(大正9)	顔料、紙／額装	京都市立芸術大学芸術資料館	
6	降魔	入江波光	1918(大正7)	画布着色／軸装	西芳寺	
26	奈良の森	榊原紫峰	1920(大正9)	絹本着色／二曲一双屏風	京都市美術館	
10	水蜜桃	金田和郎	1918(大正7)	絹本着色／二曲一隻屏風		
11	梧桐之図	松阪春久	1918(大正7)	絹本着色／軸装	京都市立衣笠小学校	
7	島	伊藤草白	1918(大正7)	絹本着色／額装	京都国立近代美術館	前期
13	快晴	森谷南人子	1918(大正7)	絹本着色／額装	京都国立近代美術館	後期
21	静寂	山口草平	1919(大正8)	紙本着色／額装	京都国立近代美術館	前期
19	伊豆夏景	吹田草牧	1919(大正8)	絹本着色／額装	京都国立近代美術館	後期
28	母と子	丸岡比呂史	1920(大正9)	絹本着色／額装	京都国立近代美術館	前期
29	路	榊原始更	1920(大正9)	絹本着色／額装	京都国立近代美術館	後期
18	雪に埋もれつつ正月はゆく	酒井三良	1919(大正8)	絹本着色／二曲一隻屏風	福島県立美術館	前期
27	海近く	杉田勇次郎	1920(大正9)	絹本着色／四曲一隻屏風	京都市美術館	後期
8	口紅	岡本神草	1918(大正7)	絹本着色／二曲一隻屏風	京都市立芸術大学芸術資料館	
12	暮れゆく停留所	梶原緋佐子	1918(大正7)	絹本着色／額装	京都市美術館	
第2章 会員たちの渡欧と日本美術展						
34	巴里の女	土田麦僊	1923(大正12)	テンペラ、画布／額装	京都国立近代美術館	前期
37	ボジリボの漁家	吹田草牧	1923(大正12)	絹本着色／額装	京都国立近代美術館	前期
33	村道(北国の田舎道)	小野竹喬	1923(大正12)	紙本着色／額装	京都国立近代美術館	後期
32	湖岸	入江波光	1922(大正11)	絹本着色／軸装	京都国立近代美術館	
31	蒼林図	入江波光	1923(大正12)	絹本着色／軸装	東京国立近代美術館	
36	如意輪観音像	村上華岳	1923(大正12)	紙本着色／軸装		
35	少女像(素描)	野長瀬晩花	1923(大正12)	顔料、紙／額装	和歌山県立近代美術館	
第3章 国画創作協会の発展と解散 後期国展（第4回～第7回展）						
56	老婆の像	佐原修一郎	1924(大正13)	絹本着色／額装		
68	山茶花を持てる女	石川晴彦	1926(大正15)	絹本着色／額装	京都市美術館	
72	宇吉	玉城末一	1925(大正14)	綿本着色／額装	京都市美術館	
73	菱の池	丸岡比呂史	1926(大正15)	絹本着色／額装		
51	舞う	甲斐庄楠音	1921(大正10)	絹本着色／額装	京都国立近代美術館	前期
80	娘子	甲斐庄楠音	1927(昭和2)	絹本着色／額装	京都国立近代美術館	後期
81	母	甲斐庄楠音	1927(昭和2)	絹本着色／額装	京都市美術館	
89	人形	徳力富吉郎	1927(昭和2)	絹本着色／額装	和歌山県立近代美術館	
67	長崎懐古(紅毛人遊興図)	粥川伸二	1926(大正15)	紙本着色／額装	京都国立近代美術館	前期

53	人形	杉田勇次郎	1924(大正13)	紙本着色／額装	京都国立近代美術館	後期
70	鉱山	柴田春光	1926(大正15)	紙本着色／額装	小坂町立総合博物館「郷土館」	
88	海苔乾す早春	新見虚舟	1927(昭和2)	紙本着色／額装	京都国立近代美術館	
92	春光	水谷浩象	1927(昭和2)	紙本着色／額装		
58	南欧小景(聖コスタンツァ寺)	入江波光	1922(大正11)	絹本着色／軸装		
74	青海	小野竹喬	1927(昭和2)	絹本着色／額装	笠岡市立竹喬美術館	
94	冬日帖	小野竹喬	1928(昭和3)	紙本着色／額装(6面)	京都市美術館	
46	スペインの田舎の子供	野長瀬晩花	1924(大正13)	寒冷紗着色／二曲一隻屏風	和歌山県立近代美術館	前期
38	春耕	小野竹喬	1924(大正13)	絹本着色／二曲一隻屏風	笠岡市立竹喬美術館	
48	八重椿	村上華岳	1924(大正13)	絹本着色／軸装		
64	松山雲煙	村上華岳	1925(大正14)	絹本着色／額装	東京国立近代美術館	
42	鮭之図	土田麦僊	1924(大正13)	紙本着色／額装	新潟県立近代美術館・万代島美術館	
43	蔬菜	土田麦僊	1924(大正13)	紙本着色／額装	新潟県立近代美術館寄託	
44	蔬菜(大下絵)	土田麦僊	1924(大正13)	顔料、紙／額装	新潟県立近代美術館・万代島美術館	
40	舞妓林泉	土田麦僊	1924(大正13)	絹本着色／額装	東京国立近代美術館	前期
60	芥子	土田麦僊	1926(大正15)	絹本着色／軸装	新潟県立近代美術館・万代島美術館	後期
96	朝顔	土田麦僊	1928(昭和3)	紙本着色／二曲一双屏風	京都国立近代美術館	
95	冬朝	榊原紫峰	1928(昭和3)	絹本着色／二曲一双屏風	大阪中之島美術館	前期
39	雪柳白鷺図	榊原紫峰	1924(大正13)	絹本着色／軸装	豊橋市美術博物館寄託	後期
59	蓮	榊原紫峰	1926(大正15)	絹本着色／軸装	株式会社 千總	後期
76	獅子	榊原紫峰	1927(昭和2)	絹本着色／二曲一隻屏風	京都市美術館	
79	海近き町の舞妓	野長瀬晩花	1927(昭和2)	画布着色／額装	京都市美術館	
90	郊外風景	長沢信一郎	1927(昭和2)	絹本着色／額装		
50	暴風雨の後	岡村宇太郎	1920(大正9)	絹本着色／額装	京都国立近代美術館	
71	海ぞいの村	多田敬一	1926(大正15)	絹本着色／額装	京都市美術館	
69	佐渡海府風景	恩田耕作	1926(大正15)	紙本着色／二曲一隻屏風	新潟県立近代美術館・万代島美術館	
55	兵衛附近	要樹平	1924(大正13)	紙本着色／軸装	京都市立芸術大学芸術資料館	
98	醍醐寺泉庭	吹田草牧	1928(昭和3)	絹本着色／二曲一隻屏風	京都国立近代美術館	
105	花鳥図	林司馬	1928(昭和3)	絹本着色／二曲一隻屏風	京都市立芸術大学芸術資料館	
100	雪の一日	福田豊四郎	1928(昭和3)	紙本着色／額装(4面)	秋田県立近代美術館	2面ずつ 前後期
99	八瀬	小松均	1928(昭和3)	紙本着色／額装	宮城県美術館	

※前期：1月4日(金)～1月27日(日)／後期：1月29日(火)～2月17日(日)

※展示期間の記載がないものは全期展示。

※所蔵先の記載がないものは個人蔵。



ニューヨークが生んだ伝説 写真家 ソール・ライター展

【趣 旨】

ソール・ライター [1923-2013] は、米国の写真家・画家。商業写真から引退後、2006年、83歳で「カラー写真のバイオニア」として一躍注目を浴びると、以降世界各地で出版や展覧会開催が相次いでいる。日常の中で見過ごされがちな一瞬の美を天性の色彩感覚で捉える独特の視線は、近年再評価が進む。本展は、ニューヨークのソール・ライター財団所蔵の写真・絵画作品約200点とその他資料を紹介して反響を呼んだ東京展(2017)を巡回させたもの。東京、伊丹に次ぐ3会場目。

【総 括】

●評価すべき点

- ・平成31年度まで継続により、同年度年報に掲載

●検討課題

- ・平成31年度まで継続により、同年度年報に掲載

【開催日・その他】

＝2019年3月9日(土)～3月31日(日) (21日間)＝

※全体会期は3月9日(土)～5月9日(木)(58日間)

休館日：3月11日(月)、3月25日(月)

主 催：新潟県立万代島美術館、TeNYテレビ新潟

後 援：新潟市、新潟市教育委員会、新潟日报社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、ケーブルテレビNCV、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新潟、エフエム角田山ぽかぽかラジオ、エフエムしばた、燕三条エフエム放送

協 力：ソール・ライター財団、ニューヨーク市観光局、デルタ航空、富士フィルムイメージングシステムズ、新潟県立美術館友の会

キュレーター：ポリヌ・ヴェルマール

企画協力：コンタクト

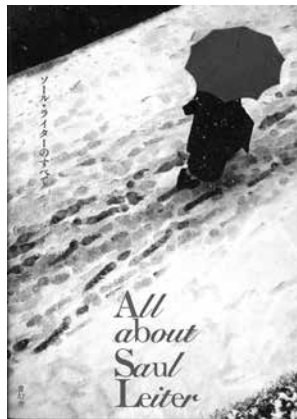
観覧料：一般……………1,100円(900円)〈900円〉

大学・高校生……………900円(700円)

※中学生以下無料

※()内は20名以上の団体料金

※〈 〉は前売券料金

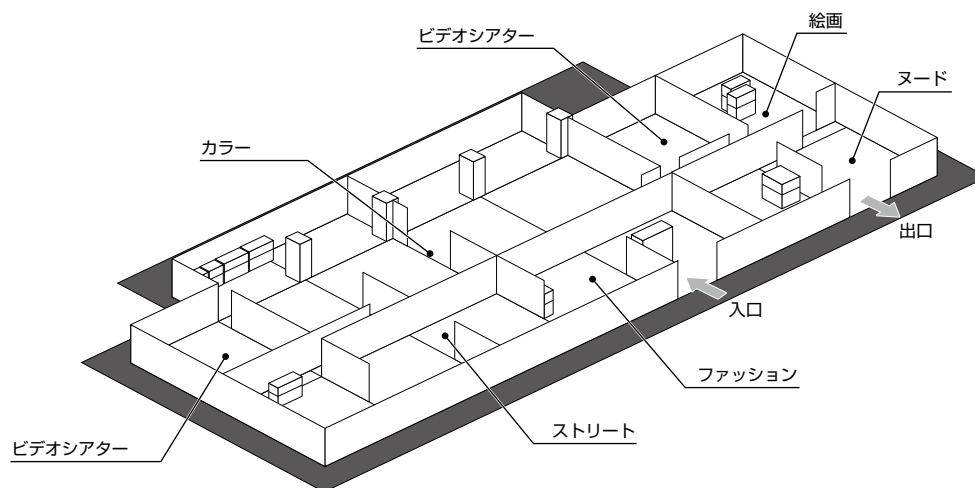


【関連行事】

- ・講演会「ソール・ライターと1950年代アメリカ文化」
3月9日(土) 14:00-15:30 NICOプラザ会議室
講 師：柴田元幸氏（東京大学名誉教授／翻訳家／アメリカ文学研究者）
参加者数：120名
- ・トーク「ソール・ライター／写真／ニューヨーク」
3月24日(日) 15:00-16:30 展示室
出 演：平間至氏（写真家）、吉原悠博氏（美術家／写真館主）、佐藤正子氏（本展企画者）
参加者数：105名

【図録】

- 仕 様：210×149mm 312頁
- 執 筆：マーギット・アープ、ポリヌ・ヴェルメール、柴田元幸
- 編集協力：ソール・ライター財団、マーギット・アープ、ポリヌ・ヴェルメール、マイケル・バリーロ、テレビマシニオン、大野留美
- 翻 訳：パメラ三木（三木アソシエイツ）、ジェックス
- 撮 影：マーギット・アープ、アニカ・グシク
- 企 画：佐藤正子（コンタクト）
- ブックデザイン：おおうちおさむ（ナノナグラフィックス）
- 編 集：鎌田恵理子（青幻舎）
- 印刷製本：山田写真製版所
- 発 行：株式会社青幻舎
- 内 容：図版
 - 「ソール・ライターの中にいる画家」マーギット・アープ
 - 「ニューヨークのナビ派」ポリヌ・ヴェルメール
 - 「うしろからあなたの左耳をくすぐる写真」柴田元幸
 - 英語原文・英訳
 - ソール・ライターの言葉 出典
 - ソール・ライター年譜（和英）
 - 会場会期
 - 奥付
 - *一般書籍『ソール・ライターのすべて』（青幻舎、2017年）として流通



【関連記事】

・平成31年度まで継続により、同年度年報に掲載

【観覧者数】

※3/9～3/31

有料観覧者数	当日	1,506
	前売	170
無料観覧者数	招待	338
	無料	88
	免除	125
総観覧者数		2,227
有料率 (%)		75.3

担当 桐原浩



【出品リスト】

展示順	作品名	撮影年/制作年	素材・技法
ファッション			
1	ソームズ・バントリー『Harper's Bazaar』	1963年頃	発色現像方式印画
2	靴の広告	1957年	チバクローム・プリント
3	『Harper's Bazaar』	1958年	ゼラチン・シルバー・プリント
4	『Harper's Bazaar』	1958年	発色現像方式印画
5	『Harper's Bazaar』	1950年代	発色現像方式印画
6	カルメン『Harper's Bazaar』	1959年	発色現像方式印画
7	トーア『Harper's Bazaar』	1959年2月	発色現像方式印画
8	リリー・ムーア『Harper's Bazaar』	1963年頃	発色現像方式印画
9	馬車シリーズ『Harper's Bazaar』	1960年10月	発色現像方式印画
10	カルメン『Harper's Bazaar』	1960年頃	発色現像方式印画
11	『Harper's Bazaar』	1965年頃	発色現像方式印画
12	『Harper's Bazaar』	1960年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
13	『Harper's Bazaar』	1960年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
14	『Harper's Bazaar』	1960年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
15	映画『Beyond the Fringe』のキャスト(ダドリー・ムーア、ピーター・クック、アラン・ベネット、ジョナサン・ミラー)とモデル『Esquire』	1962年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
16	『Harper's Bazaar』	1960年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
	資料類一式(『Harper's Bazaar』、ライターのビジネスカード、他)		
17	『Harper's Bazaar』	1960年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
18	無題	1965年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
19	『Harper's Bazaar』	1965年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
20	無題	1965年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
ストリート			
1	ベリー・ストリートの猫	1949年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
2	スカーフ	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
3	無題	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
4	少年	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
5	少女	1953年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
6	そばかす	1958年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
7	少女	1953年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
8	少年	1960年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
9	ジョアンナ	1947年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
10	ピンボール	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
11	ひび割れ	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
12	帽子	1952年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
13	ネクタイを締めた男	1949年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
14	掃除夫	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
15	高架鉄道から、ボブ・ウィーヴァーと共に	1955年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
16	高架鉄道から	1955年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
17	ボンネット	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
18	無題	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
19	高架鉄道にて	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
20	無題	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
21	L & M	1958年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
22	手	1954年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
23	無題	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
24	雨	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
25	レベッカ	1968年	ゼラチン・シルバー・プリント
26	リボン	1962年頃	ゼラチン・シルバー・プリント

27	高架鉄道から	1955年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
28	地下鉄の女性	1958年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
29	事故	1955年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
30	サンクス・ギビング	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
31	歩道	1954年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
32	背中	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
33	ボブとの散歩	1954年頃	初期ゼラチン・シルバー・プリント
34	ペリー・ストリート	1946年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
35	街灯	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
36	ゴヤ・レディ	1957年頃	初期ゼラチン・シルバー・プリント
37	映画館	1952年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
38	パーティ	1953年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
39	大晦日	1952-53年	ゼラチン・シルバー・プリント
40	大晦日	1952-53年	ゼラチン・シルバー・プリント
41	無題	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
42	帽子	1958年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
43	メリー	1947年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
44	帽子	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
45	足	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
46	3人の婦人	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
47	連勝単式勝馬投票	1948年	ゼラチン・シルバー・プリント
48	エヴリン	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
49	45セント	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
50	無題	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
51	無題	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
52	無題	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
53	無題	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
54	ハロウィン	1952年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
55	ハロウィン	1952年	ゼラチン・シルバー・プリント
56	ハロウィン	1952年	ゼラチン・シルバー・プリント
57	ハロウィン	1952年	ゼラチン・シルバー・プリント
58	地下鉄	1950年代後半	ゼラチン・シルバー・プリント
59	無題	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
60	靴磨きの靴	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
61	靴磨きの靴	1951年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
62	大晦日	1952-53年	ゼラチン・シルバー・プリント
63-65	〈葬式のような結婚式〉から	1951年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
66	フラワー・マン(セルフ・ポートレート)	撮影年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント
67	ディックとアデル	1947年	ゼラチン・シルバー・プリント
68	日曜の朝、クロイスターズ美術館にて	1947年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
資料類一式 (スナップ写真、『LIFE』1951年11月26日号、展覧会図録『現代寫眞展 日本とアメリカ』(東京国立近代美術館、1953年)、他)			

カラー			
1	赤い傘	1951年	発色現像方式印画
2	足跡	1950年頃	発色現像方式印画
3	灰色を背景にした青信号、ニューヨークにて	1950年頃	発色現像方式印画
4	無題	1952年	発色現像方式印画
5	郵便配達	1952年	発色現像方式印画
6	赤い傘	1957年	発色現像方式印画
7	Pull	1960年頃	発色現像方式印画
8	フェスティバル	1954年	発色現像方式印画
9	床屋	1956年	発色現像方式印画

年譜、資料類一式 (愛用のカメラ、家族や交友関係のスナップ写真や記録、自画像、未現像フィルム、美術関係書籍、他)

10	バス、スペイン	1959年頃	発色現像方式印画
11	タナガーギャラリーの階段	1954年頃	発色現像方式印画
12	タナガーギャラリーの近く	1954年	発色現像方式印画
13	看板のペンキ塗り	1954年	発色現像方式印画
14	鏡	1962年	発色現像方式印画
15	モンドリアンの労働者	1954年	発色現像方式印画
16	見下ろす	1953年	発色現像方式印画
17	赤いカーテン	1956年	発色現像方式印画
18	待つ女	1958年	発色現像方式印画
19	運転手	1955年	発色現像方式印画
20	板のあいだ	1957年	発色現像方式印画
21	バス	1954年	発色現像方式印画
22	タクシー	1957年	発色現像方式印画
23	自動車	1960年頃	発色現像方式印画
24	タイムズ・スクエア	1950年代	発色現像方式印画
25	ソームズとの散歩	1958年	発色現像方式印画
26	マネキン	1952年頃	発色現像方式印画
27	高架鉄道から	1955年頃	発色現像方式印画
28	ホーン&ハーダート	1959年頃	発色現像方式印画
29	赤信号	1952年	発色現像方式印画
30	パレード	1954年	発色現像方式印画
31	灰色の傘	1954年頃	発色現像方式印画
32	赤い傘	1955年頃	発色現像方式印画
33	街の風景	1959年	発色現像方式印画
34	高架鉄道にて	1950年代	発色現像方式印画
35	高架鉄道の足	1954年	発色現像方式印画
36	映り込み	1958年	発色現像方式印画
37	白い円	1958年	発色現像方式印画
38	高架鉄道にて	1958年	発色現像方式印画
39	電話	1957年	発色現像方式印画
40	T	1950年	発色現像方式印画
41	463	1956年	発色現像方式印画
42	天蓋	1958年	発色現像方式印画
43	雪	1960年	発色現像方式印画
44	荷物	1960年頃	発色現像方式印画
45	雪の窓	1959年	発色現像方式印画
46	買い物客	1953年	発色現像方式印画
47	カッツタウン	1948年	発色現像方式印画
48	散策	1956年	発色現像方式印画
49	本を読む男	1957年	発色現像方式印画
50	ハーレム	1960年	発色現像方式印画
51	ひび割れ	1957年	発色現像方式印画
52	種	1954年	発色現像方式印画
53	シャツ	1948年	発色現像方式印画
54	戸口の犬、バターソンにて	1952年	発色現像方式印画
55	消火栓	1957年	発色現像方式印画
56	馬	1958年	発色現像方式印画
57	スペイン	1959年	発色現像方式印画
58	ウェイター、パリ	1959年	発色現像方式印画
59	パイプ	1960年頃	発色現像方式印画
60	レーンズヴィルにて	1958年	発色現像方式印画

絵画			
1	スケッチブック 9点、他	制作年不詳	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
2	無題(小さい紙の作品) 37点	制作年不詳	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
3	無題	制作年不詳	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
4	無題	1960年代	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
5	ジーン	1960年頃	和紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
6	無題	制作年不詳	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
7	無題	制作年不詳	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
8	無題	制作年不詳	和紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
9	無題	制作年不詳	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
10	無題	制作年不詳	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
11	無題	制作年不詳	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
12	無題	1964年	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
13	無題	制作年不詳	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
14	無題	1975-87年頃	和紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
15	無題	1975-87年頃	和紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
16	無題	1975-87年頃	和紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
17	無題	1975-87年頃	和紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
18	無題	制作年不詳	紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
19	絵画作品 4点	制作年不詳	紙あるいは和紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
ヌード			
1	ジーン・ピアソン	1948年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
2	ジェイ	1958年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
3	ジェイ	1958年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
4	着替え中のバーバラ	1951年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
5	無題	1950年代	ゼラチン・シルバー・プリント
6	ジェイ	1958年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
7	イネス	1947年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
8	バーバラ	1954年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
9-17	無題	写真1950年代、描画1990年頃	印画紙にガッシュ、カゼインカラー、水彩絵具
18	キム	1947年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
19	イネス	1947年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
20	バーバラ	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
21	ドットィ	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
22	イネス	1947年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
23	ジェイ	1958年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
24	バーバラ	1951年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
25	バーバラとベッティナ	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
26	バーバラとジェイ	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
27	バーバラ	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
28	無題	1950年	ゼラチン・シルバー・プリント
29	キム	1946年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
30	フェイ	1946年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
31	煙草を吸うフェイ	1946年	ゼラチン・シルバー・プリント
32	バーバラ	1950年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
33	ソームズ	1962年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
34	ソームズ	1962年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
35	ソームズ	1960年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
36	ソームズ	1962年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
37	ソームズ	1962年頃	ゼラチン・シルバー・プリント
38	ソームズ	1960年頃	ゼラチン・シルバー・プリント

資料類一式(スナップ写真、ソームズ作の油彩画、自写像、写真に描画した作品、他)

イベント

講演会 会場：当館講堂

開催日	時 間	関連展覧会名	演 題	講 師	内 容	参加者数
6月30日(土)	13:30～15:00	第20回亀倉雄策賞受賞記念 中村至男展2018	開催記念講演会	中村至男	デザイナーを目指したきっかけや新人賞を目指した理由などを中心にトークを行う。	160

美術鑑賞講座 会場：当館講堂

開催日	時 間	関連展覧会名	講 座 名	講 師	内 容	参加者数
6月9日(土)	14:00～15:45	白寿 江口草玄のすべて	江口草玄の一世紀を辿る	松矢国憲 (当館専門学芸員)	江口草玄の一世紀の生涯と作品を、新発見資料とともに探る。	40
6月16日(土)	14:00～15:00	コレクション展第2期	近代美術館 名品あれこれ〈日本編〉	長嶋圭哉 (万代島美術館主任学芸員)	近代美術館の日本近代美術の名品をとりあげ、クイズを交えながら秘められたエピソードについて紹介する。	16
6月23日(土)	14:00～15:30	コレクション展第2期	近代美術館 名品あれこれ〈海外編〉	松本奈穂子 (当館美術学芸員)	近代美術館の西洋美術の名品について、作家のエピソードや歴史的背景を交え紹介する。	26

計82名

ワークショップ

開催日	時 間	関連展覧会名	ワークショップ名	講 師	会 場	内 容	参加者数
4月21日(土)	10:00～11:30	ディズニー・アート展 《いのちを吹き込む魔法》	ゾートローブを作ろう	藤田裕彦 (当館学芸課長)	当館ロビー	アニメーションの原理を知ることのできるゾートローブを自分で制作する。	24

映画鑑賞会 会場：当館講堂

開催日	時 間	関連展覧会名	タイトル	内 容	参加者数
4月14日(土)	14:00～16:00	ディズニー・アート展 《いのちを吹き込む魔法》	ピノキオ	1940年／アメリカ／88分	60
4月21日(土)	14:00～16:05	ディズニー・アート展 《いのちを吹き込む魔法》	ファンタジア	1940年／日本／125分	68
4月28日(土)	14:00～15:25	ディズニー・アート展 《いのちを吹き込む魔法》	101匹わんちゃん	1988年／日本／88分	69

計197名

体験コーナー 会場：コレクション展示室ロビー

開催期間	関連展覧会名	体験コーナー名	企画者	内 容
4月16日(金)～5月20日(日)	コレクション展第1期 「手は語る」	あなたの手からのメッセージ	村山裕之 (当館学芸課長代理)	自身の手や指を観察し、表情をつけて描き、題名などの言葉を添える。
5月24日(木)～7月1日(日)	コレクション展第2期 「近代美術館の名品〈日本編〉〈海外編〉」	I Like コレクション!	村山裕之 (当館学芸課長代理)	自分が気に入った作品の、好きなポイントをカードに書く。

館外活動・地域との連携

出前講座

本年度は、当館の改修工事による休館のため、出前講座について、全県の小中学校及び長岡市川西地区の幼稚園・保育園・こども園に案内をおこなった。一般（公民館等）に向けてもホームページで告知した。その結果、企画展に合わせたプログラムは作成しなかったものの、比較的多くの学校及び保育園から依頼があり、需要があることが窺えた。

No.		月 日	時 間	対 象	内 容	コマ数	受講者数	担当者
1	一般	6月7日(木)	13:40～15:10	新潟デザイン専門学校 モンセラート美術大学 学生 15名+3名	「日本画の基礎知識」	1	18	宮下
2	学校	6月19日(火)	9:20～12:15	長岡市立上組小学校 6年生 1組～3組80名	学芸員のお仕事&対話型鑑賞	3	80	伊澤
3	学校	7月19日(木)	9:30～10:15 10:35～11:20 11:25～12:10	長岡市立関原小学校 5年生 1組～3組（各30名）	「絵をみているいろいろ考えよう」 対話型鑑賞 グループワーク	3	90	宮下
4	学校	10月15日(月)	10:40～11:30 11:40～12:30 13:55～14:45	新発田市立佐々木中学校 1～3年生（19名/20名/27名）	対話型鑑賞	3	66	宮下
5	幼保	10月25日(木)	9:30～10:15 10:25～11:10	長岡市立宮本保育園 年長児11名、年中児20名	たのしい かたちを ならべてみよう	2	31	宮下・伊澤 村山・山本
6	幼・保	10月29日(月)	10:00～10:40 10:50～11:30	学校法人長生学園認定こども園 中島幼稚園 年長児26名、年中児23名	たのしい かたちを ならべてみよう	2	49	宮下 村山 松本
7	学校	10月30日(火)	9:35～10:20	長岡市立深沢小学校 5・6年生（複式学級 15名）	学芸員のお仕事&対話型鑑賞	1	15	伊澤
8	学校	11月8日(木)	9:45～10:35 10:45～11:35	長岡市立川口中学校 1年生（2クラス 47名）	パブリックアートに関する内容	2	47	村山
9	学校	11月14日(水)	8:40～9:30 9:40～10:30	十日町市立中条中学校 3年生（2クラス）	対話型鑑賞	2	52	村山
		11月15日(木)	8:40～9:30 9:40～10:30 10:40～11:30 11:40～12:30	十日町市立中条中学校 1年生（2クラス）、2年生（2クラス）		4	115	
10	学校	11月27日(火)	10:40～11:25 11:30～12:15	柏崎市立剣野小学校 6年生63名	学芸員のお仕事&対話型鑑賞	2	63	伊澤
11	学校	11月30日(金)	10:35～11:20 11:25～12:10	上越市立春日新田小学校 6年生2クラス68名	学芸員のお仕事&対話型鑑賞	2	68	伊澤
12	学校	12月6日(木)	9:45～10:35	長岡市立太田中学校 1年生1名+2年生4名+3年生8名	学芸員のお仕事&対話型鑑賞	1	13	伊澤
13	幼保	12月11日(火)	9:30～11:30 の間	長岡市立下川西保育園 年長児11名、年中児12名	たのしい かたちを ならべてみよう	2	23	伊澤 村山
14	学校	12月13日(木)	9:25～10:10 10:30～11:15	長岡市立上川西小学校 6年生2クラス 各36名	絵巻のお話	2	72	宮下
		12月14日(金)	9:25～10:10 10:30～11:15	長岡市立上川西小学校 6年生2クラス 36名+35名		2	71	
15	幼・保	12月17日(月)	9:30～10:15 10:30～11:15	長岡市立上除保育園 年中児26名	たのしい かたちを ならべてみよう	2	26	宮下 山本 平石
		12月18日(火)	9:30～10:15 10:30～11:15	長岡市立上除保育園 年長児28名 + 長岡市立王寺川保育園 年長児4名		2	32	宮下 村山
16	学校	1月21日(月)	10:30～11:15	長岡市立川口小学校 6年生 33名	学芸員のお仕事	1	33	伊澤
17	幼・保	2月5日(火)	10:00～10:45	社会福祉法人和合会 関原保育園 年長20名	たのしい かたちを ならべてみよう	1	20	宮下 村山
		2月6日(水)	10:00～10:45	社会福祉法人和合会 関原保育園 年長児20名		1	20	宮下 伊澤
18	一般	3月7日(木)	19:00～20:30	まちなかキャンパス長岡 プチ芸術カフェ	美術館学芸員のお仕事	1	30	松矢

合計42コマ 1,034名

こどもものづくり大学校

子どもたちに日常生活ではできない創るよろこびを体験してもらうため、隣接する長岡造形大学が平成23年度から毎年「こどもものづくり大学校」を主催している。年間を通しておこなわれる10回の講座のうち、1回を新潟県立近代美術館が受け持っている。例年であれば当館を会場として美術品の鑑賞と合わせて実施していたが、本年度は当館改修工事中であるため、長岡造形大学の教室で開催することとなった。

本年は作品を直接鑑賞することができないため、パワーポイントを使用した画像データによる鑑賞に代えた。絵画や彫刻の手の表現に着目させ、〈好きな自分〉の手を粘土により制作した。この技法は、学校のカリキュラムでは中学校でとりあげることが多く、小学校3～6年生には若干難しかったようではあるが、それぞれ工夫して充実した作品を作り上げていた。

主 催：長岡造形大学
 テーマ：手からのメッセージ～粘土でつくろう～
 日 時：12月 2日(日) 10:00～16:00
 12月16日(日) 10:00～16:00
 3月 3日(日) 10:00～16:00
 3月17日(日) 10:00～16:00
 講 師：制作 村山裕之（当館学芸課長代理）
 鑑賞 宮下東子（当館学芸課長代理）

参加者数：24名／24名／27名／26名（合計101名）

担当：宮下東子

長岡造形大学「市民オープンキャンパス2018：ものづくり体験教室」

長岡造形大学からの依頼により、同学の「市民のためのオープンキャンパス2018」のものづくり体験教室に参加した。「市民のためのオープンキャンパス」では、あらゆる年代を対象とした、多くのものづくり体験プログラムを実施しており、学内の教授や学生、市内の工房等が参加している。

当館では、「ハンコでつくる秋の屏風」と題して、小さな屏風に日本美術特有の「余白の美しさ」を考えながら、秋の草花を型取ったハンコを押して秋草図づくりを実施した。10分程の簡単な作業なので、小さな子供も楽しみながらオリジナルの作品づくりに取り組んでいた。

長岡造形大学との連携を深めるため、要望があれば今後も参加していく。

主 催 長岡造形大学
 日 時 平成30年10月21日(日)
 ①10:10 ②10:30 ③10:50 ④11:10
 ⑤12:30 ⑥12:50 ⑦13:10 ⑧13:30
 ⑨13:50 ⑩14:10 ⑪14:30
 ※参加無料
 講 座 名 ハンコでつくる秋の屏風
 会 場 長岡造形大学 講義室
 講 師 村山裕之（当館学芸課長代理）
 伊澤朋美（当館主任学芸員）
 山本未知雄（当館学芸課副参事）

参加者数 198名

担当 村山裕之

上越教育大学「ヨリミチ図工室」

【趣旨】

上越教育大学五十嵐史帆准教授の研究室と、小林古径美術館が2017年度に開始した活動で、放課後を利用し、子どもが主体的に造形活動や鑑賞を楽しむ場を提供する。年間全15回行われる講座のうち、2018年度から2回を、当館が行うことになった。

本年は「4コマきんびえほんをつくろう」と題したプログラムを行った。所蔵作品のアートカードゲーム等を導入として行った後、グループで、作品を組み合わせストーリーを構成、グループごとに発表し、内容を共有した。最終的に、制作したストーリーを絵本の形に仕上げた。プログラム実施にあたっては、研究室の学生にサポートに入ってもらった。児童たちはグループ活動や鑑賞活動に慣れない様子もあり、プログラムの内容や、決定までの過程に課題が残った。

主 催：上越教育大学

協 力：小林古径記念美術館、新潟県立近代美術館

テ ー マ：4コマきんびえほんをつくろう

日時、実施場所：11月 6日(火) 15:30～17:30

上越市立大町小学校

11月21日(水) 15:30～17:30

上越市立里公小学校

参加者数：31名／19名（合計50名）

担当 伊澤朋美

NIIGATA アートリンク

NIIGATAアートリンク2018

■「新潟県立万代島美術館開館15年記念トークセッション」を開催

話し手：荒井直美（新潟市美術館学芸員）

大森慎子（新潟市／前新潟市新津美術館学芸員）

藤田裕彦（新潟県立近代美術館学芸課長）

桐原浩（新潟県立万代島美術館業務課長）

進行：澤田佳三（新潟県立万代島美術館業務課長代理）

日時：6月9日(土) 14:00～15:45

会場：新潟県立万代島美術館 展示室

参加者数：51人

■学芸員研修会「保存担当学芸員研修会報告会」

講師：星野立子（新潟市美術館学芸員）

日時：8月10日(金)

会場：新潟市美術館

■会議の開催

第一回：2018年 6月20日(水) 14:00 新潟県立近代美術館

第二回：2018年11月 6日(火) 14:00 新潟市新津美術館

第三回：2019年 1月23日(水) 14:00 新潟県立万代島美術館

■普及部会

第一回普及部会：2018年6月28日(木) 新潟県立近代美術館

担当 松本奈穂子

巡回ミュージアム

【趣旨及び総括】

巡回ミュージアムは、所蔵作品の中から作品を選定し、県内を巡回展示するもので、広く県民に美術鑑賞の機会を提供し、文化振興を図ることを目的としている。

本年度は、休館中のため未開催。

刊行物

刊行物名	概 要	仕 様	発行部数	発行日	内 容
平成30年度 年間スケジュール	平成30年度の企画展とコレクション展の日程及び内容、年間のイベントなどをまとめたもの	A4判変形(展開サイズ 210×376mm) 蛇腹4つ折り	35,000部	2018年 4月1日	
新潟県立近代美術館 だより 「雪椿通信」50号	美術館からの情報発信として一般来場者向けに編集したもの	A3二つ折り(A4判)4頁	10,000部	2018年 5月3日	館長所感／しばらくお別れです！「近代美術館の名品」／「白寿江口草玄のすべて」の開催に向けて／堀口大學展 その後／「亀倉雄策賞」20年の歩みとデザインの潮流／コラム 学芸員の仕事／わたしとこの1点 東山魁夷《森の静寂》／近美のおすすめ／お世話になってますシリーズその12 館内放送用のマイク／編集部からのひとこと
新潟県立近代美術館 だより 「雪椿通信」51号	美術館からの情報発信として一般来場者向けに編集したもの	A3二つ折り(A4判)4頁	10,000部	2018年 12月21日	改修工事、なにが変わるの？／改修工事中、なにをしているの？／館長所感／ホームページにて、「学芸日誌」はじめました！／わたしとこの1点 オーギュスト・ロダン《疲れ》／編集部からのひとこと
企画展「白寿 江口草玄のすべて」 図録	「白寿 江口草玄のすべて」の公式図録	293×222mm 296頁	1,200部	2018年 5月26日	ごあいさつ／謝辞／目次／「こんどの展覧会」江口草玄／「白(百)寿 江口草玄のすべて」に一步でも近づきたい 松矢国憲／図版／年譜／江口草玄作品目録／『山階通信』一覧／『山階通信』(抄)／江口草玄語録(抄)／【参考】墨人会展・回数異同表／文献目録／出品一覧

作品解説会

来館者サービスの一環として、展覧会への理解を深め、より充実した鑑賞の機会となるように、学芸員による作品解説会を行った。コレクション展は毎週土曜日の午前11時から、企画展は毎週日曜日の午後2時から、それぞれの会場で行った。参加者がなかった解説会については、記録から除いた。

企画展（日曜日 14:00～）
コレクション展（土曜日 11:00～）

企画展 展覧会名 期日	人数
-------------------	----

ディズニー・アート展 いのちを吹き込む魔法
※音声ガイドの使用と会場の混雑が予想されるため実施せず

白寿 江口草玄のすべて	
5月27日	10
6月 3日	10
6月17日	10
6月24日	15
7月1日	17
小 計	62

企画展合計	62
-------	----

コレクション展 展覧会名 期日	人数
-----------------------	----

母たちの肖像	
近代美術館の名品	
手は語る	
5月19日	1
第1期小計	1

近代美術館の名品〈日本編〉	
亀倉雄策賞1997-2017	
近代美術館の名品〈海外編〉	
5月26日	7
6月 2日	5
6月 9日	2
6月16日	1
6月23日	5
6月30日	4
第2期小計	24

コレクション展合計	25
-----------	----

団体の受入れ

団体の来館者を受入れ、希望があった団体には作品解説等を行った。

2018年度団体観覧対応実施一覧。（申請があった団体のみ記載）

●一般団体 ※ *印は解説等を行った団体

ディズニー・アート展 いのちを吹き込む魔法	
4月19日(木) 胎内市教育委員会	25名
4月20日(金) 長岡市社会福祉協議会 栃尾支所	33名
4月25日(水) みのわの里 工房みつけ	19名
5月10日(木) 指定障害福祉サービス事務所 創造工房コスモス	29名
5月12日(土) 社会福祉法人 厚生慈仁会 地域活動支援センターⅡ型かりん	13名
計5団体 小 計	119名

白寿 江口草玄展	
6月 5日(火) 県書道協会	*24名
6月14日(木) 長野県・小谷村公民館	24名
6月15日(金) 書道教室	*23名
計3団体 小 計	71名

●大学	
白寿 江口草玄展	
6月27日(水) 上越教育大学	20名
計1団体 小 計	20名

●幼稚園・保育園	
ディズニー・アート展 いのちを吹き込む魔法	
4月25日(水) 長生幼稚園	5歳 56名 8名
5月 1日(火) みしま中央保育園	4歳 38名 5名
5月 1日(火) みしま中央保育園	5歳 28名 4名
計3団体 小 計	139名

総合計	349名
-----	------

学校教育との連携

●図工・美術、および部活動での利用

学校のカリキュラムで来館した学校等団体に展覧会鑑賞の機会を提供した。

「ディズニー・アート展」という誰もが知っているアニメーション映画の展覧会が開催されていたことにより多くの学校団体が来館したが、状況を見ながらコレクション展での対話型鑑賞の実施も動めた。現代書を扱った「江口草玄展」では、児童生徒に鑑賞資料を手渡してそれをもとに鑑賞活動を行った。

【対話型鑑賞の実施】 (児童・生徒357名+引率29名)

4月18日(火)	長岡市立栃尾南小学校	2年	31名(2名)
4月24日(火)	小千谷市立東小千谷小学校	5年	53名(3名)
4月24日(火)	小千谷市立東山小学校	5年	3名(2名)
5月 7日(月)	長岡フレンドリールーム	小4～中3	6名(5名)
5月 8日(火)	小千谷市立南小学校	5年	22名(2名)
5月 8日(火)	小千谷市立片貝小学校	5年	31名(2名)
6月 7日(水)	小千谷市立千田小学校	5年	22名(2名)
6月26日(火)	小千谷市立小千谷小学校	5年	90名(4名)
6月27日(火)	小千谷市立小千谷小学校	5年	60名(4名)
6月27日(火)	長岡市立大積小学校	3・4年	4名(1名)
6月29日(金)	十日町市立田沢小学校	6年	35名(2名)

【展覧会解説の実施】 (児童・生徒236名+引率11名)

白寿 江口草玄のすべて ※概要解説のみ

6月19日(火)	県立長岡商業高等学校	2年	40名(2名)
6月19日(火)	県立長岡商業高等学校	2年	39名(2名)
6月20日(水)	県立長岡商業高等学校	2年	37名(2名)
6月21日(木)	県立長岡商業高等学校	2年	39名(2名)
6月21日(木)	県立長岡商業高等学校	2年	41名(2名)
6月22日(金)	県立長岡商業高等学校	2年	40名(1名)

【展覧会鑑賞のみ】 (児童・生徒281名+引率64名)

ディズニー・アート展 いのちをふき込んだ魔法

4月13日(金)	日本文理高等学校	2年	35名(2名)
4月26日(木)	長岡市立高等総合支援学校	1～3年	6名(7名)
4月27日(金)	長岡市立高等総合支援学校	2～3年	3名(3名)
4月28日(土)	県立長岡商業高等学校	美術部	9名(1名)
5月 1日(火)	小千谷市立吉谷小学校	5年	19名(1名)
5月 1日(火)	小千谷市立和泉小学校	5年	18名(1名)
5月 1日(火)	小千谷市立総合支援学校	1～5年	5名(4名)
5月 2日(水)	県立白根高等学校	2年	74名(5名)
5月 2日(水)	長岡市立浦瀬小学校	全校	85名(23名)
5月 2日(水)	県立長岡豊学校	小3～6	9名(6名)
5月 8日(火)	長岡市立総合支援学校	高等部1・3年	4名(5名)
5月 9日(水)	県立柏崎特別支援学校	高等部2年	1名(5名)
5月12日(土)	柏崎市立第一中学校	美術部	13名(1名)

●職場体験

学校からの要望に応じて、職場体験を受け入れた。(1日程)

6月21日(木)	長岡市立大島中学校	2年	2名
----------	-----------	----	----

●教員研修会の受入れ

要望があった場合、学校教員の研修会の会場として館の施設を提供。研修会の講師や展覧会の解説等を行った。(館外で実施した研修会については、「調査・研究」の「講演・講義等」項を参照のこと)

4月24日(火)	長岡市三島郡美術教育研究会	83名
5月10日(木)	長岡市教育センターながおか学講座	27名
6月12日(火)	長岡市三島郡美術教育研究会	19名

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第13条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の生徒及び小中学校・特別支援学校・高等学校の引率者、心身障害者及びその介助者等に対し、観覧料を免除した。

また、学校からの要請があった場合、その内容に応じて解説・案内・レクチャーなどを行った。

月	期間	日数	開催企画展名称	企 画 展									コレクション展									月計
				学 校 等						障がい者	介助	合計	学 校 等						障がい者	介助	合計	
				小中			高校						小中			高校						
				校数	児童・生徒	引率	校数	生徒	引率				校数	児童・生徒	引率	校数	生徒	引率				
4	1～30	27	ディズニー・アート展	3	(87)	7	4	53	13	530	183	786	0	0	0	0	0	0	3	1	4	790
5	1～13	13	いのちを吹き込む魔法	9	(208)	45	3	79	15	366	116	621	0	0	0	0	0	0	1	1	2	632
	15～20	6											0	0	0	0	0	0	6	0	6	
	24～25	2											0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	26～31	5		0	0	0	0	0	0	6	2	8	0	0	0	0	0	0	3	0	3	
6	1～30	26	白寿 江口草玄のすべて	5	(211)	13	4	236	11	73	15	348	0	0	0	0	0	0	2	0	2	350
7	1	1		0	0	0	0	0	0	4	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
合 計		80		17	(506)	65	11	368	39	979	317	1,768	0	0	0	0	0	0	15	2	17	1,777

* 小学校・中学生及び特別支援学校の児童生徒は観覧料無料のため、免除者数には含まない。（表中カッコ書きの数値）

博物館実習

休館中につき実施せず。

イベント

講演会等

開催日	時間	関連展覧会名	演題等	講師等	内 容	対象等	会場	参加者数
4月14日(土)	11:00～11:30	古代アンデス文明展	ギャラリートーク	関雄二氏（国立民族学博物館副館長）	アンデス考古学を専門とする講師が、展示物について解説した。	一般 要観覧券	展示室内	40
7月7日(土)	14:00～15:30	ジブリの動画家 近藤勝也展	ギャラリートーク +サイン会	近藤勝也氏（出品作家）／聞き手：角田智美氏（TeNY テレビ新潟アナウンサー）	出品作品について、制作時のエピソードなどを豊富に交えながら解説した。	一般 要観覧券 (ギャラリートーク)	展示室内 (ギャラリートーク) 美術館ロビー (サイン会)	77 (ギャラリートーク) 38 (サイン会)
8月5日(日)	14:00～15:00	ジブリの動画家 近藤勝也展	ギャラリートーク	田中千義氏（スタジオジブリ会長室イベントプロデューサー）／西岡純一氏（スタジオジブリ広報部部長）	スタジオジブリスタッフが、出品作品を前に近藤勝也氏の魅力を語った。	一般 要観覧券	展示室内	50
10月6日(土)	14:00～15:30	みんなのレオ・レオーニ展	希望の絵本をつくる人 レオ・レオーニ	松岡希代子氏（板橋区立美術館副館長）	生前のレオーニと交流のあった本展監修者が、彼の生涯と人物像、作品への想いなどを語った。	一般 聴講無料	NICOプラザ会議室 (万代島ビル11階)	35
3月9日(土)	14:00～15:30	写真家 ソール・ライター展	ソール・ライターと1950年代アメリカ文化	柴田元幸氏（東京大学名誉教授・翻訳家・アメリカ文学研究者）	ソール・ライターのドキュメンタリー映画の字幕を担当した講師が、文学作品の朗読も交えながら1950年代アメリカ文化を取り巻く状況などを語った。	一般 聴講無料	NICOプラザ会議室 (万代島ビル11階)	120
3月24日(日)	15:00～16:30	写真家 ソール・ライター展	ソール・ライター／写真／ニューヨーク	平間至氏（写真家）／吉原悠博氏（美術館・写真館主）／佐藤正子氏（本展企画者）	ソール・ライターの写真の魅力、作品を生んだ街ニューヨークや様々なアーティストたち、そして出演者自身の写真館の仕事まで幅広く語った。	一般 要観覧券	展示室内	105

計465名

美術鑑賞講座

開催日	時間	関連展覧会名	演題等	講師等	内 容	対象等	会場	参加者数
6月3日(日)	14:00～15:40	所蔵品展 ターニングポイント！	美術家人生のターニングポイント！	澤田佳三（当館業務課長代理）	本展出品作家3人（宮芳平、佐藤哲三、濱谷浩）のターニングポイントと創作活動の関係を紹介した。	一般 聴講無料	NICOプラザ会議室 (万代島ビル11階)	8
2月17日(日)	14:00～15:20	国画創作協会の全貌展	大正から昭和初期の日本画：国画創作協会を中心に	池田珠緒（当館主任学芸員）	国画創作協会の変遷を全7回の展覧会出品作を中心にたどりながら、同時代（大正～昭和初期）の日本画の特徴などについて語った。	一般 聴講無料	美術館ロビー	30

計38名

ワークショップ

開催日	時間	関連展覧会名	演題等	講師等	内 容	対象等	会場	参加者数
11月3日(土)	11:00～12:00／13:00～14:00／14:15～15:15	みんなのレオ・レオーニ展	絵本カバーでエコバッグづくり	当館学芸員・サポートメンバー	出版社の好字社から提供いただいたレオーニの絵本カバーを用いて、手提げのついた紙袋を制作した。	一般 参加無料	美術館ロビー	45
1月12日(土)	14:00～16:00	国画創作協会の全貌展	発見！日本画のヒミツ	永吉秀司氏（日本美術院地域連携教育普及プログラム委員・新潟大学教育学部准教授）	第1部では日本画の画材の紹介と使用法を説明し、続く第2部では展覧会出品作品に用いられている画材や技法を個別に解説した。	一般 参加無料 (第1部) 要観覧券 (第2部)	美術館ロビー (第1部) 展示室内(第2部)	60
2月3日(日)	13:30～17:30	国画創作協会の全貌展	竹かごを編もう！	成田文香氏（竹細工作家）	本展出品作家で佐渡出身の土田麦傳の作品にちなみ、佐渡の竹を材料に六ツ目編みという手法で本格的な籠を制作した。	一般 参加無料 要申込	美術館ロビー	5

計110名

その他のイベント

開催日	時間	関連展覧会名	演題等	講師等	内 容	対象等	会場	参加者数
6月9日(土)	14:00～15:45	所蔵品展 ターニングポイント！	開館15年記念トークセッション ※共催：NIIGATAアートリンク	荒井直美氏（新潟市美術館学芸員）／大森慎子氏（新潟市／前新潟市新津美術館学芸員）／藤田裕彦（新潟県立近代美術館学芸課長）／桐原浩（当館業務課長）	「15歳のパンピ」と題した特集展示コーナーを会場に、第1部は「パンピ、15年の歩み」、続く第2部は「それぞれのターニングポイント！～学芸員編」というテーマで、NIIGATAアートリンク4館の学芸員が語った。	一般 要観覧券	展示室内	51
7月29日(日)	10:00～16:00	ジブリの動画家 近藤勝也展	アニメーター体験講座	JAM日本アニメ・マンガ専門学校	本展出品作品の4点のトレース用原画から1点を選び、トレース台上で原画の鉛筆線をトレースした。	一般 参加無料	美術館ロビー	108
9月1日(土)	11:00～11:30	ジブリの動画家 近藤勝也展	ミュージアム・コンサート	新潟市ジュニア合唱団	ジブリやアニメ関連の10曲のプログラムによる合唱コンサート。	一般 参加無料	美術館ロビー	120
10月21日(日)	11:00～11:30	みんなのレオ・レオー二展	絵本の読み聞かせ	高林梢絵氏（UX新潟テレビ21アナウンサー）	展示室内の絵本コーナーを会場とした、レオー二の絵本を中心とした読み聞かせ。	一般 要観覧券	展示室内	35
10月28日(日)				絵本読み聞かせの会 ほんぼとり				36
11月11日(日)				餅谷智子氏・岡村美和子氏（新潟市立中央図書館司書）				40
11月25日(日)				おはなしの会 森の家				65
12月2日(日)				三河かおり氏（UX新潟テレビ21アナウンサー）				70

計525名
総合計1,138名

刊行物・鑑賞資料

刊行物名	概 要	仕 様	発行部数	発行日	内 容
平成30年度 年間スケジュール	平成30年度の企画展と所蔵品展の日程及び内容などをまとめたもの。	A4判 観音四つ折り	55,000部	2018年4月1日	展覧会予定／開館カレンダー／新潟県立近代美術館の企画展／美術鑑賞講座・講演会など／観覧料免除／乳幼児・障害者向け施設案内／サポートメンバー募集／ミュージアムショップ案内／友の会案内／新潟市内の美術館・博物館案内／駐車場案内／交通案内
新潟県立万代島美術館だより 「B.island」No.17	美術館からの情報発信として一般来館者向けに編集したもの。	A3判二つ折り (A4判) 4頁	5,000部	2018年4月1日	2018年度の企画展／館長雑感／2018年度の所蔵品展／新潟県立近代美術館の企画展／イベントピックアップ企画展「レオナルド・フジタとモデルたち」関連イベント、NIIGATAアートリンク共催 学芸員によるギャラリートーク、ワークショップ「にいがたもよう オリジナルミニノートづくり」、ワークショップ「うまのオーナメントをつくろう」／「ソール・ライター」を知っていますか？／NIIGATAアートリンク／ミュージアムショップBANBI／サポートメンバーを募集しています／館基本情報、交通案内
新潟県立近代美術館 研究紀要 第17号	学芸員による調査研究報告	A4判 102頁	400部	2019年3月22日	・平石昌子「ボナールの沐浴図に関する試論—ジャポニスムの視点から」 ・澤田佳三「萬鐵五郎の雲と自画像—禅を視点とする解釈」 ・長嶋圭哉「東京時代の竹内蘆風について」 ・桐原浩「水島爾保布の大正前期『大阪朝日新聞』挿画について」 ・濱田真由美「久保田成子ビデオ・アート財団における作品調査」 ・松本奈穂子「大光コレクションの形成について」 ・松矢国憲「佐渡モッコ、中村木子の生涯と作品〈補遺〉」 ・英文要旨
企画展「創立100周年記念 国画創作協会の全貌展」鑑賞ガイド	近代美術館普及部会に作成を依頼。作品が生まれた時代背景や西洋美術との関わりを解説。展示の導入部に設置し、来場者がガイドを手にしながら会場を回れるようにした。	A4判 両面カラー 6枚綴 ラミネート加工	5部	2019年1月4日	国画創作協会には細密描写による人物画が多く出品されました／土田麦僊の写実の試み／新しい女性表現／国画創作協会会員のイタリア・ルネサンス美術研究／そして、日本へ…

作品解説会

来館者サービスの一環として、展覧会の会期中に展覧会への理解を深め、より充実した鑑賞の機会となるよう学芸員による作品解説会等を行った。

所蔵品展		企画展		企画展	
ターニングポイント！		みんなのレオ・レオー二展		国画創作協会の全貌展	
期日	人数	期日	人数	期日	人数
5月27日(日)	3名	11月17日(土)	25名	1月 5日(土)	30名
6月24日(日)	18名	(1回)		2月 2日(土)	25名
(2回)				(2回)	
小計	21名	小計	25名	小計	55名
				総合計	5回
					101名

団体の受入れ

団体来館のうち、希望に応じて作品解説や施設紹介等を行った。
一覧は把握した団体のみを記載。

* 印は解説等を行った団体

●一般団体

古代アンデス文明展

4月 4日(水)	NPO法人なないろの空	9名
4月10日(火)	地域活動支援センターフリースペースみのり	16名
4月15日(日)	NPO法人こころ楽々	5名
4月25日(水)	つくし工房	5名
4月27日(金)	作業所あゆみ	21名
計5団体	小 計	56名

所蔵品展 ターニングポイント！

6月 9日(土)	(株)シモヤマ	19名
計1団体	小 計	19名

近藤勝也展

7月 7日(土)	もぐら工房	13名
7月 8日(日)	興野婦人会	15名
7月12日(木)	関川村資料館	16名
7月30日(月)	中野マリア幼稚園（一般）	11名
8月 4日(土)	にいがたオーディズム	15名
8月 4日(土)	(株)アイエスエフネットライフ新潟	6名
8月 8日(水)	さんさん館 i	12名
8月10日(金)	NPO法人なないろのそら	11名
8月16日(木)	福祉作業所つばさ	20名
8月18日(土)	よつば福祉園	6名
8月21日(火)	大山台ゆう	7名
8月23日(木)	福祉作業所つばさ	10名
8月23日(木)	地域活動支援センター1UP	8名
8月25日(土)	地域活動支援センターⅡ型かりん	13名
8月28日(火)	加茂市教育研究協議会図工・美術・技術家庭科部会	10名
8月29日(水)	大山台ゆう	7名
8月29日(水)	喜多方美術協会	11名
8月29日(水)	福祉作業所つばさ	12名
8月30日(木)	みどり団	11名
8月30日(木)	NPO法人なないろのそら	8名
8月30日(木)	いずみ福祉園	4名
8月30日(木)	第二いずみの里	4名
9月 5日(水)	みどり団	11名
9月 6日(木)	フリースペースみのり	16名
9月 6日(木)	松浜病院	9名
9月 6日(木)	みんなの家とともに	15名
9月 9日(日)	AOIサークル	10名
9月11日(火)	どれみハウス	13名
9月12日(水)	めいせいデイサポートセンター	9名
9月12日(水)	しろやま	10名
9月12日(水)	1区愛宕会	18名
9月15日(土)	NPO法人こころ楽々	10名
9月18日(火)	松浜病院	16名
9月18日(火)	おおさわの里	13名
計34団体	小 計	380名

レオ・レオー二展

10月 7日(日)	会津郵便局夫人会	36名
10月 8日(月祝)	タビックスジャパン ツアー	23名
10月10日(水)	北海道美術館協力会	25名
10月10日(水)	つくし会	14名

10月13日(土)	アイエスエフネットライフ新潟	8名
10月14日(日)	新潟市手をつなぐ育成会	30名
10月17日(水)	胎内市中央公民館	19名
10月19日(金)	青松ワークス	5名
10月20日(土)	ワークセンターほほえみ	27名
10月20日(土)	ナディアの会	13名
10月24日(水)	リシェ亀田向陽	13名
10月25日(木)	昭和観光	17名
10月27日(土)	こころ楽々	6名
10月28日(日)	新潟県立美術館友の会	25名
10月28日(日)	さがえ第2幼稚園（一般）	13名
11月 3日(土)	和ごころりんず直江津店	11名
11月10日(土)	こころ楽々	6名
11月11日(日)	下越北なでしこ研修旅行	34名
11月21日(水)	新潟市立明生園	7名
11月25日(日)	こころ楽々	6名
12月 5日(水)	明生園	6名
12月 5日(水)	新潟市立明生園	6名
12月 5日(水)	新潟市小学校教育研究会	42名
12月 6日(木)	南区生きがい対応型通所	20名
12月 7日(金)	ワークセンターあけぼの	9名
12月 8日(土)	キッズデイサービスらくだ	16名
計26団体	小 計	437名

国画創作協会の全貌展

1月 6日(日)	こころ楽々	7名
1月17日(木)	HYECHO ADVENTURE TRAVEL	11名
1月24日(木)	新潟日報カルチャースクール	10名
1月24日(木)	HYECHO ADVENTURE TRAVEL	15名
2月 3日(日)	HYECHO ADVENTURE TRAVEL	8名
計5団体	小 計	51名

ソール・ライター展

3月30日(土)	こころ楽々	6名
計1団体	小 計	6名

●幼稚園・保育園

近藤勝也展	引率
7月31日(火) エンジェル保育園	16名 (2名)
9月 6日(木) みどり幼稚園	27名 (6名)
計2団体 小 計	51名

レオ・レオー二展

10月11日(木)	みどり幼稚園	31名 (7名)
10月22日(月)	新潟市立山ノ下保育園	13名 (3名)
11月 5日(月)	あおい幼稚園	38名 (4名)
11月13日(火)	白鳥こども園	21名 (2名)
11月14日(水)	白鳥こども園	23名 (2名)
11月15日(木)	栄光幼稚園	61名 (6名)
12月 5日(水)	隣保館保育園	* 14名 (3名)
12月 6日(木)	曽根保育園	16名 (3名)
12月 7日(金)	みたけこども園	25名 (4名)
12月14日(金)	新通こども園	22名 (6名)
計10団体	小 計	304名

合計	84団体	1,304名
----	------	--------

学校教育との連携

●図工・美術の授業及び部活動での利用ー展覧会の鑑賞
学校のカリキュラム等で来館した学校団体に展覧会の鑑賞の機会を提供した。
特に希望のあった学校団体に関しては、学芸員による作品解説を行った。

【学芸員による作品解説を行った学校】 251 名
(児童・生徒230名+引率者21名)

所蔵品展 ターニングポイント
6月23日(土) 加茂市立葵中学校 (1～3年) 10名(1名)

近藤勝也展
7月 7日(土) 新潟大学教育学部 - 13名(1名)
7月29日(日) 長岡市立太田中学校 (1、3年) 4名(1名)
7月31日(火) 新潟市立亀田西中学校 (1～3年) 8名(1名)
8月 1日(水) 加茂市立葵中学校 (1～3年) 10名(1名)
8月 1日(水) 新潟市立小須戸中学校 (1、2年) 15名(1名)
8月 3日(金) 新潟市立黒崎中学校 (1～3年) 33名(2名)
8月 9日(木) 燕市立燕中学校 (1、2年) 9名(1名)
8月17日(金) 新潟市立小新中学校 (1～3年) 32名(2名)
8月28日(火) 新潟市立第一中学校 (1、2年) 5名(1名)

みんなのレオ・レオー二展
10月25日(木) 新潟県立長岡商業高等学校 (1、2年) 21名(1名)
10月25日(木) 新潟県立新潟向陽高等学校 (1～3年) 10名(1名)
10月31日(水) 五泉市立橋田小学校 (4、5年) 34名(4名)
11月21日(水) 開志学園高等学校 (1～3年) 26名(3名)

【展覧会鑑賞のみの学校】 587 名
(児童・生徒552名+引率者35名)

所蔵品展 ターニングポイント
5月26日(土) 南魚沼市立塩沢中学校 (1～3年) 18名(1名)
6月17日(日) 北越高等学校 11名(1名)

近藤勝也展
7月 7日(土) 魚沼市立広神中学校 (1～3年) 10名(1名)
7月16日(月) 新潟市立立橋中学校 (1～3年) 8名(1名)
7月31日(火) 新潟市立石山中学校 (1～3年) 10名(1名)
8月 1日(水) 村上市立荒川中学校 (1～3年) 16名(1名)
8月 2日(木) 加茂市立葵中学校 (1～3年) 9名(1名)
8月 3日(金) 新潟市立光晴中学校 (1～3年) 11名(1名)
8月 3日(金) 新潟市立横越中学校 (1～3年) 11名(1名)
8月 7日(火) 新潟市立南浜中学校 (2、3年) 5名(1名)
8月 9日(木) 柏崎市立東中学校 (1～3年) 12名(1名)
8月 9日(木) 三条市立下田中学校 (1～3年) 10名(1名)
8月 9日(木) 燕市立小池中学校 (1～3年) 9名(2名)
8月19日(日) 新潟県立新潟南高等学校 (1～3年) 7名(2名)
8月22日(水) 阿賀野市立京ヶ瀬中学校 (1、2年) 10名(1名)

みんなのレオ・レオー二展
10月10日(水) 新潟市立曾野木小学校 9名(3名)
10月25日(木) 新潟県立小千谷高等学校 (1、2年) 6名(1名)
10月25日(木) 新潟県立上越総合技術高等学校 (1、2年) 5名(1名)
12月 8日(土) 魚沼市立堀之内中学校 (1、2年) 10名(2名)
12月11日(火) 新潟県立新潟商業高等学校 (2年) 120名(3名)
12月12日(水) 新潟県立新潟商業高等学校 (2年) 162名(3名)
12月13日(木) 新潟県立新潟商業高等学校 (2年) 79名(4名)

国画創作協会の全貌展
1月26日(土) 新潟県立新潟向陽高等学校 (1～3年) 4名(1名)

●校外学習・総合学習
学校教育、特に中学校の校外学習及び総合学習での利用に供した。希望のあった場合は目的に応じて施設や職業に関する質問への対応や案内を行った。

【学芸員による解説を行った学校】 394 名
(児童・生徒355名+引率者39名)

古代アンデス文明展
4月11日(水) ヒューマンキャンパス高等学校 (2～4年) 43名(5名)
4月25日(水) 新潟市立中野小屋中学校 (2年) 3名
4月27日(金) 新潟県立新潟翠江高等学校 (4年) 10名(4名)
5月 2日(水) 新潟県立白根高等学校 (2年) 68名(4名)

所蔵品展 ターニングポイント
5月25日(金) 新潟市立木戸中学校 (2年) 16名(1名)

近藤勝也展
7月10日(火) 柏崎市立西山中学校 (2年) 37名(3名)
7月12日(木) 村上市立村上東中学校 (2年) 21名(1名)

みんなのレオ・レオー二展
10月12日(金) 新潟県立小千谷西高等学校 (3年) 143名(9名)
10月18日(木) 新潟市立五十嵐中学校 (2年) 4名
10月18日(木) 新潟県立東新潟特別支援学校 (1年) 10名(12名)

【展覧会鑑賞のみの学校】 693 名
(児童・生徒571名+引率者122名)

古代アンデス文明展
4月 7日(土) ヒューマンキャンパス高等学校 (1～3年) 24名(6名)
4月19日(木) 新潟市立宮浦中学校 (2年) 3名
4月20日(金) 阿賀町立三川中学校 (2年) 2名(1名)
4月24日(火) 新潟市立関屋中学校 (2年) 31名

近藤勝也展
7月10日(火) 新潟市立小針中学校 (2年) 17名
7月11日(水) 新潟県立新潟雲学校 (高等部2年) 15名(8名)
7月11日(水) 福島県会津坂下町立坂下中学校 (2年) 7名
7月11日(水) 福島県会津若松市立若松第二中学校 (2年) 5名
7月12日(木) 新潟県立西蒲高等特別支援学校 (2年) 10名(2名)
7月12日(木) 見附市立見附特別支援学校 (高等部2年) 4名(2名)
7月12日(木) 新潟市立山潟小学校 (1、4、6年) 9名(4名)
7月12日(木) 福島県喜多方市立第二中学校 (2年) 6名
7月17日(火) 新潟県立村上中等教育学校 (前期3年) 4名
7月19日(木) 新潟県立江南高等特別支援学校 (1年) 9名(4名)
8月 7日(火) 新潟県立新潟工業高等学校 (1、2年) 9名(1名)
8月 7日(火) 北越高等学校 (1、2年) 8名(2名)
8月 7日(火) 新潟県立新潟向陽高等学校 (3年) 3名(1名)
8月 7日(火) 新潟市立万代高等学校 (1、2年) 3名(1名)
9月12日(水) 福島県会津若松市立河東学園中学校 14名(1名)
9月20日(木) 長岡市立高等総合支援学校 (2年) 4名(1名)

みんなのレオ・レオー二展
10月 6日(土) 福島大学国語教育ゼミ 12名(8名)
10月16日(火) 阿賀野市立水原小学校 (4年) 84名(5名)
10月16日(火) 新潟県立はまぐみ特別支援 5名(13名)
10月16日(火) 日本アニメ・マンガ専門学校 12名(2名)
10月17日(水) 新潟県立東新潟特別支援学校 (中学部1～3年) 7名(9名)
10月18日(木) 新潟市立岡川小学校 (2年) 20名(2名)
10月19日(金) 新潟県立東新潟特別支援学校 (中学部1～3年) 5名(8名)
10月24日(水) 新潟市立立橋中学校 (1年) 30名
10月26日(金) 新潟県立長岡明德高等学校 (3年) 81名(8名)
11月15日(木) 燕市立分水中学校 (1、3年) 4名(3名)
11月15日(木) 新潟県立駒林特別支援学校 (1年) 11名(5名)
11月16日(金) 新潟市立濁川小学校 (6年) 18名
11月19日(月) 新潟市立笹山小学校 (1、2年) 22名(10名)
11月22日(木) 見附市立西中学校 (2、3年) 6名(4名)
11月28日(水) 新潟市立新津第二中学校 (1年) 36名(1名)
11月29日(木) 新潟市立南浜小学校 (1、3、4、5、6年) 7名(2名)
11月29日(木) 新潟県立江南高等特支援学校 (1年) 17名(5名)
11月30日(金) 新潟市立南万代小学校 (1、4、6年) 7名(3名)

観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第13条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の生徒及び小中学校・特別支援学校・高等学校の引率者、心身障害者及びその介助者等に対し、観覧料を免除した。

また、学校からの要請があった場合、その内容に応じて解説・案内・レクチャーなどを行った。

展覧会名	会期	日数	学 校 等						障害者	介助	合 計
			小中・特			高校					
			校数	児童・生徒	引率	校数	生徒	引率			
古代アンデス文明展	4月1日～5月6日	35	4	(39)	1	4	145	19	1,429	517	2,111
ターニングポイント！	5月19日～6月24日	34	3	(44)	3	－	－	－	133	18	154
近藤勝也展	7月7日～9月24日	75	29	(357)	32	30	131	24	1,071	328	1,586
みんなのレオ・レオー二展	10月6日～12月16日	67	16	(308)	56	14	692	69	689	231	1,737
国画創作協会の全貌展	1月4日～2月17日	41	－	－	－	1	4	1	229	56	290
写真家 ソール・ライター展	3月9日～3月31日	21	－	－	－	－	－	－	106	19	125
合 計		273	52	(748)	92	49	972	113	3,657	1,169	6,003

注) 小学校、中学校及び特別支援学校(初等部・中等部)の児童生徒は観覧料無料のため、合計には含まない。(表中カッコ書きの数値)

夏休み期間 観覧料免除者数(再掲)

展覧会名	期間	日数	校数	生徒
近藤勝也展	7月7日～9月24日	75	20	55

サポートメンバー (新潟県立万代島美術館ボランティア組織)

新潟県立万代島美術館では、美術館と県民とをより親しく結びつけることを目的として、新潟県立万代島美術館サポートメンバーを組織している。本年度は下記のとおり活動を行った。

【ねらい】

- 1 来館者に生涯学習の機会と場を提供する。
- 2 美術館の活動を共有し、美術館への関心と関わりを深めることにより、美術館の愛好者を増大する。

【登録人数】 (H31年3月現在)

7名

【活動内容】

展覧会に付随するイベントへの協力、万代島美術館の活動や展覧会業務に必要な活動への協力

- ・各展覧会広報活動（ポスター、チラシ発送）への協力
- ・「みんなのレオ・レオーニ展」ワークショップ準備及び当日運営への協力
- ・書籍の整理

【課題】

発送作業を中心に活動していただいているが、各メンバーの希望も踏まえながら、活動の機会を増やせるように工夫したい。

博物館実習

【趣 旨】

学芸員資格取得を目指す学生のために博物館実習を実施し、9名の実習生を受け入れた。各分野についての講義の他、作品の点検・取扱いの指導も行った。研究課題として所蔵品を使った展覧会企画を各グループで発表し、学芸員の仕事について学んだ実習の総まとめとした。

【実習期間】

10月11日(木)～18日(木) ※土・日を除く計6日間

【実習生の所属および受入人数】

新潟大学	2名	
長岡造形大学	3名	
和光大学	1名	
城西国際大学	1名	
大東文化大学	1名	
聖心女子大学	1名	合計9名

【カリキュラム】

月日	曜日	時限	内容	担当
10月11日	木	1	開校式／館長挨拶／オリエンテーション／施設案内	館長・長嶋(課員)
		2	万代島美術館の現状と課題	館長・桐原
		3	展示室案内・企画展見学	今井
		4	研究課題(課題説明、テーマ・作品決定)	長嶋(池田)
10月12日	金	1	展覧会の企画・運営／総論	桐原
		2	調査研究／作品収集／保存・修復	澤田
		3	作品の点検・取扱い(平面)	澤田
		4	研究課題(資料作成)	長嶋(池田)
10月15日	月	1	教育普及事業／刊行物／ホームページ／データベース	今井
		2	友の会・サポートメンバー／作家資料の保管	池田
		3	作品の点検・取扱い(日本画)	池田
		4	研究課題(資料作成)	長嶋(池田)
10月16日	火	1	連携・協働(アートリンク)／広報／所蔵品貸出	長嶋
		2	ワークショップ準備	今井、澤田
		3	作品の点検・取扱い(立体・写真)	桐原
		4	研究課題(資料作成)	長嶋(池田)
10月17日	水	1	受付・監視の仕事	嘱託員
		2	総務担当の業務について(予算・人事等)	佐々木
		3	作家資料等の整理	今井
		4	研究課題(資料作成)	長嶋(池田)
10月18日	木	1	研究課題(発表準備)	長嶋・池田
		2	研究課題(配付資料準備)	長嶋・池田
		3	課題発表・講評	館長・学芸
		4	閉校式	館長・長嶋

※10:10出勤 実習場所：準備室

- ①10:10～11:30(80分) ②11:50～13:10(80分)
③14:15～15:35(80分) ④15:55～17:15(80分)

担当：長嶋圭哉、池田珠緒

新潟県立近代美術館

【調査】

展覧会関連

宮下東子・山本未知雄

橋本龍美展調査・調布市 7月5～6日

濱田真由美 久保田成子展調査・原美術館等 7月6日

濱田真由美 久保田成子展調査・上越市等 7月18日

濱田真由美 久保田成子展調査・東京都現代美術館 8月24日

宮下東子・村山裕之

橋本龍美展調査・調布市 9月11～12日

濱田真由美 久保田成子展調査・千葉市美術館等 10月12日

濱田真由美 久保田成子展調査・Shigeko Kubota Video Art

Foundation, New York 11月10～23日

松本奈穂子 ウィリアム・モリスと英国の壁紙展調査・久留米

市美術館 11月30日～12月1日

伊澤朋美・藤田裕彦・(濱田真由美)

三沢厚彦展調査・富山県美術館 12月1～2日

濱田真由美 久保田成子展調査・富山県美術館 12月1日

※上記調査と兼務

宮下東子 橋本龍美展調査・加茂市他 12月10日

濱田真由美・松本奈穂子

久保田成子展調査・ハラミュージアムアーク

12月19日

濱田真由美 久保田成子展調査・東京都内 2月2～3日

濱田真由美 久保田成子展調査・東京都文京区 2月9日

濱田真由美 久保田成子展調査・富山県美術館 2月18日

濱田真由美 久保田成子展調査・東京都内 3月23日

作品・作家調査

宮下東子 寄贈あるいは寄託作品調査・新潟市 5月30日

藤田裕彦・濱田真由美

舟見俣二作品調査・新潟市 7月5日

松矢国憲・伊澤朋美

仏像調査・田上町、阿賀町 9月7～8日

伊澤朋美 武石弘三郎作品調査・佐倉市 9月20日

伊澤朋美 武石弘三郎作品調査・三条市等 10月23日

伊澤朋美 武石弘三郎作品調査・三条市 11月5日

松本奈穂子 田畑あきら子調査・長岡市内 11月8日

伊澤朋美 武石弘三郎作品調査・柏崎市立博物館 12月6日

平石昌子・濱田真由美

寄贈希望作品調査・長岡市 12月11日

平石昌子 堀口大學作品調査・長岡市立中央図書館 12月19

日

藤田裕彦 第21回倉倉雄策賞作品調査・ミッドタウン六本

木 ミッドタウンカンファレンス 12月21日

宮下東子 日本画作品調査・新潟市内個人宅 1月9日

平石昌子・伊澤朋美

堀口大學作品調査・新潟市内 2月21日

【図録執筆】

松矢国憲 巻頭論文「白(百)寿 江口草玄のすべてに一步で

も近づきたい」執筆及び「白寿 江口草玄のすべて」

図録に関わる編集作業 5月26日

【研究紀要】

新潟県立近代美術館研究紀要 第17号 2019年3月22日

平石昌子 「ボナールの沐浴図に関する試論——ジャポニス

ムの視点から」

濱田真由美 「久保田成子ビデオ・アート財団における作品

調査」

松本奈穂子 「大光コレクションの形成について」

松矢国憲 「佐渡モッコ、中村木子の生涯と作品＜補遺＞」

【寄稿】

新聞

企画展関連

「ディズニー・アート展 いのちを吹き込む魔法」

伊澤朋美 読売新聞「①『ブレン・クレイジー』(1928)

ミッキー・マウスの幻の誕生作」 4月17日

藤田裕彦 読売新聞「②『ピノキオ』(1940) 特殊効果 息を

のむ美しさ」 4月18日

伊澤朋美 読売新聞「③『101匹わんちゃん』(1961) 新技

術と職人技の競演」 4月20日

伊澤朋美 読売新聞「④『美女と野獣』(1991) 見慣れぬ姿の

初期野獣」 4月24日

藤田裕彦 読売新聞「⑤『ズートピア』(2016) 新たな物語

興味尽きず」 4月25日

「白寿 江口草玄のすべて」

松矢国憲 新潟日報「展覧会へようこそ・書を革新 1世紀

の記録」 6月12日

上記以外

宮下東子

新潟日報「展覧会へようこそ・自然の大きな営み

描く 三輪晃久 日本画展」 4月30日

藤田裕彦

新潟日報「展覧会へようこそ・変化続ける作風が

魅力 開館35周年記念 寺池静人展」 5月2日

著作物

青柳正俊

『川港の岸辺で—新潟ドイツ領事ライスナーの軌

跡—』印刷・株式会社ハイグラフィック 2019年

3月29日刊行

【講演・講義等】

新潟大学人文学部(美術史概説B)

宮下東子 ②「近世以前」 10月10日

飯島沙耶子(文化行政課) ③「近世」 10月17日

宮下東子 ⑥「日本画Ⅱ—昭和戦前期の日本画」 11月7日

藤田裕彦 ⑨「工芸Ⅰ—輸出工芸の時代」 12月5日

藤田裕彦 ⑩「工芸Ⅱ—近代工芸の誕生」 12月12日

松矢国憲 ⑪「版画」 12月19日

伊澤朋美 ⑫「彫刻」 12月26日

松矢国憲 ⑬「書と洋画」 1月23日

藤田裕彦 ⑭「現代美術 概念を越えて」 1月30日

藤田裕彦(パネリスト) 松本奈穂子・濱田真由美(スタッフ)

新潟アートリンク2018「開館15年記念トーク

セッション」新潟県立万代島美術館 6月9日

平石昌子(パネリスト)

ビエール・ボナール展開催記念シンポジウム・国

立新美術館 10月21日

宮下東子(講師)

新潟県立美術館友の会アートカフェ in 造形大「鑑

賞の入口～“みる”から始める発見とワクワク」 2

月9日

宮下東子（講師）
加茂市社会教育委員・公民館運営審議会委員・公民館分館長・主事合同研修会「望郷の画家 橋本龍美」 2月28日

松矢国憲（講師）
まちなかキャバス長岡「美術館学芸員のお仕事」 3月7日

松矢国憲（講師）
江口草玄を偲ぶ会及び三月の会展での講演会・京都文化博物館 3月23日

教職員研修会講師

宮下東子 教育センター研修講座 授業で活用できる長岡施設巡り・近代美術館「対話型鑑賞体験」 5月10日
宮下東子 平成30年度長岡市三島郡美術教育研究会美術鑑賞研修・近代美術館「美術館における鑑賞の意義」 6月12日
宮下東子 村上市岩船郡中学校教育研究会美術部研修会・村上市立村上東中学校「対話型鑑賞について」 9月25日

【研 修】

藤田裕彦 平成30年保存担当学芸員フォローアップ研修・東京文化財研究所 6月25日
村山裕之 平成30年度美術館を活用した鑑賞教育のための指導者研修・国立西洋美術館・国立新美術館 8月6～7日
村山裕之・山本未知雄 情報発信SNS利活用研修・ハードオフエコスタジアム会議室4 1月25日

新潟アートリンク関連

伊澤朋美・松本奈穂子
学芸員研修会：保存担当学芸員研修会報告会・新潟市美術館 講師：星野立子（新潟市美術館学芸員） 8月10日

新潟アートリンク教育普及部会

村山裕之・伊澤朋美
県立新潟盲学校視覚障害教育職員研修会・新潟ふれ愛プラザ 7月31日

宮下東子・松本奈穂子
第2回新潟地区司書教諭協議会「各教科・科目等のものの見方・考え方を生かした言語活動の充実～授業改善に向けた講義と演習」・新潟市美術館 講師：荒井直美（新潟市美術館学芸係長） 8月17日

村山裕之・山本未知雄
村上市岩船郡中学校教育研究会美術部研修会での対話型鑑賞に関する出前授業・村上市立村上東中学校 講師：宮下東子（当館学芸課長代理） 9月25日※教職員研修会講師再掲

村山裕之・松本奈穂子
新潟市美術館 ARTRIP 見学・新潟市立中野小屋中学校 講師：荒井直美（新潟市美術館学芸係長）、松本美樹（新潟市美術館学芸員） 1月9日

宮下東子・平石昌子・伊澤朋美・松本奈穂子
新潟市美術館 ARTRIP 見学・新潟市美術館 講師：荒井直美、松本美樹、児矢野あゆみ（新潟市美術館学芸員）他 1月16日

【審査等】

藤田裕彦 長岡造形大学進級判定展・長岡市第一安達ビル 1月31日

松矢国憲 上越市美術資料収集委員会・上越市立小林古径記念美術館 2月26日

【会議等】

木村哲郎・青柳正俊・藤田裕彦
新潟県博物館協議会総会・朱鷺メッセ 4月27日
宮下東子 第2回全国障害者芸術文化祭企画会議・県庁西回廊大会議室 5月7日

木村哲郎・平石昌子
第67回全国美術館会議総会・富山県民共生センター 5月17～18日

濱田真由美・松本奈穂子
NIIGATA アートリンク2018 第1回連絡会議・新潟県立近代美術館 6月20日

藤田裕彦 公開承認施設担当者会議及び国宝重要文化財（美術工芸品）防災・防犯対策研修会・文部科学省 6月20～21日

青柳正俊・山本未知雄
第60回北信越博物館協議会・日本博物館協会北越支部総会・研究協議会・長野県 6月24～25日

藤田裕彦・山本未知雄・濱田真由美・松本奈穂子
NIIGATA アートリンク2018 第2回連絡会議・新潟市新津美術館 11月6日

木村哲郎・藤田裕彦
美術館連絡協議会2018年度総会・よみうり大手町ホール 10月31日～11月1日

藤田裕彦 「大災害発生時における対策等に関する要項」等におけるブロック本部館、副本部館会議・国立西洋美術館 11月14日

藤田裕彦・村山裕之・濱田真由美・松本奈穂子
NIIGATA アートリンク2018 第3回連絡会議・万代島美術館 1月23日

宮下東子 第4回全国障害者芸術文化祭企画会議・自治会館

【クーリエ】

伊澤朋美・松本奈穂子
藤田嗣治《私の夢》フランス、パリへの作品貸出の為の作品確認・京都国立近代美術館 12月18日

伊澤朋美 藤田嗣治《私の夢》のクーリエとして・パリ日本文化会館 1月6～11日

松本奈穂子 藤田嗣治《私の夢》のクーリエとして・パリ日本文化会館 3月17～23日

新潟県立万代島美術館

【調 査】

展覧会関連

桐原浩	企画展関連調査 富山県美術館 4月20日
今井有	「人気絵本のひみつ展」関連調査 松屋銀座本店 4月24日
桐原浩	「ソール・ライター展」関連調査 伊丹市立美術館 4月26日
池田珠緒	「国画創作協会の全貌展」関連調査 市島邸、新発田市・新潟県立図書館 7月19日 和歌山県立近代美術館 9月16日、11月13日
今井有	「みんなのレオ・レオーニ展」関連調査 伊丹市 立美術館 8月10～11日
長嶋圭哉	企画展関連調査 練馬区立美術館 9月21日
桐原浩	「タータン展」関連調査 神戸ファッション美術館 11月1日 三鷹市美術ギャラリー 1月26日
澤田佳三	「THE ドラえもん展」関連調査 松坂屋美術館、 名古屋市 11月7日
池田珠緒	「乙女のデザイン展」関連調査 川越市立美術館 11月17日

作品調査

今井有	亀倉雄策コレクション調査 新潟県立近代美術館 5月11日、6月22日、6月28日
長嶋圭哉	日本画作品調査 新潟市内個人宅 5月30日
澤田佳三	舟見俊二作品調査 楓画廊、新潟市 7月5日
長嶋圭哉	仏像調査 田上町・阿賀町 9月7～8日
長嶋圭哉	日本画作品調査 新潟市内個人宅 1月9日
長嶋圭哉	土田麦僊作品調査 新潟市内個人宅 3月5日
長嶋圭哉	日本画作品調査 新潟市内個人宅 3月15日

作家調査

桐原浩	佐々木林風関連 新潟県立図書館 4月6日、8月3日 国立国会図書館 4月27日、7月20日 新潟市立中央図書館 7月18日
桐原浩	水島爾保布関連 国立国会図書館 5月28日 新潟県立図書館 7月25日、11月7日、12月 27日 新潟市立中央図書館 11月26日
澤田佳三	萬鐵五郎関連 新潟市立中央図書館 8月9日、8月30日、10 月24日 新潟県立図書館 12月6日
長嶋圭哉	竹内蘆風関連 長岡市立中央図書館 1月22日 長岡市内個人宅 1月24日 東京文化財研究所 1月25日

【図録執筆】

『創立100周年記念 国画創作協会の全貌展』図録

池田珠緒	各論「土田麦僊《蔬菜》についての覚え書き」、 作家解説、作品解説
長嶋圭哉	作家解説、作品解説

【研究紀要】

新潟県立近代美術館研究紀要 第17号 2019年3月22日

澤田佳三	「萬鐵五郎の雲と自画像―禅を視点とする解釈」
長嶋圭哉	「東京時代の竹内蘆風について」
桐原浩	「水島爾保布の大正前期『大阪朝日新聞』挿画に ついて」

【寄 稿】

澤田佳三	新潟日報 「展覧会へようこそ ターニングボイ ント！―人生、それぞれの“時” 熱意が未来を 切り開く」 6月7日
今井有	新潟日報 「展覧会へようこそ みんなのレオ・レ オーニ展 絵本に込められた思い」 11月24日
池田珠緒	新潟日報 「展覧会へようこそ 創立100周年 記念国画創作協会の全貌展 若者らの挑戦 情熱あ ふれ」 1月19日

【講演・講義等】

長嶋圭哉	新潟県立近代美術館美術鑑賞講座「近代美術館 名品あれこれ〈日本編〉」 6月16日
------	---

新潟大学人文学部（美術史概説B）

澤田佳三	①「日本美術史概論」 10月3日
長嶋圭哉	④「日本画Ⅰ―日本画の誕生」 10月24日 ⑤「日本画Ⅱ―大正期の日本画」 10月31日
澤田佳三	⑦「近代洋画Ⅰ」 11月14日 ⑧「近代洋画Ⅱ」 11月21日
池田珠緒	⑬「戦後の日本画」 1月9日

【研 修】

今井有	県立新潟盲学校 視覚障害教育職員研修会 新潟 ふれあいプラザ 7月31日
桐原浩・長嶋圭哉	保存担当学芸員研修会報告会 新潟市美術館 8 月10日
今井有	高校司書教員研修会 新潟市美術館 8月17日
池田珠緒	村上市岩船郡中学校教育研究会美術部研修会 村 上市立村上東中学校 9月25日

【審 査】

長嶋圭哉 新潟デザイン専門学校卒業・修了制作展 審査員
新潟市民芸術文化会館「りゅーとびあ」4階ギャ
ラリー 12月15日

【会議等】

今井有 「みんなのレオ・レオーニ展」全体会議 朝日新
聞社 4月24日

桐原浩 「ジブリの動画家 近藤勝也展」打合せ スタジオ
ジブリ、東京 5月28日

池田珠緒・長嶋圭哉
「国画創作協会の全貌展」全体会議 笠岡市立竹
喬美術館 6月5日

今井有・桐原浩
「人気絵本のひみつ展」打ち合わせ 松屋銀座本
店 7月20日

桐原浩 美術館連絡協議会2018年度総会 よみうり大
手町ホール 10月31日

桐原浩 「タータン展」打合せ 長岡造形大学 11月26
日、12月17日

池田珠緒・桐原浩
「乙女のデザイン展」打合せ キュレイタース、
東京 3月13日

池田珠緒 「国画創作協会の全貌展」全体会議 和歌山県立
近代美術館 3月30日

NIIGATA アートリンク2018連絡会議

澤田佳三・長嶋圭哉
第1回 新潟県立近代美術館 6月20日

今井有・長嶋圭哉
第2回 新潟市新津美術館 11月6日

桐原浩・澤田佳三・今井有・長嶋圭哉
第3回 万代島美術館 1月23日

【その他】

澤田佳三 1950年代展研究会 埼玉県立近代美術館
第4回 5月31日
第5回 9月17日
第6回 11月28日

池田珠緒 「杉原伸子展」ギャラリートーク 楓画廊、新潟
市 11月4日

美術品の収集

平成30年度の収集作品一覧

分 野	各 領 域 点 数	合計点数
新潟の美術	油彩画他1 版画7 彫刻1 書14	23
日本の美術	日本画4 工芸1 デザイン1 資料10	16
世界の美術		0
総合計	油彩画他1 日本画4 版画7 彫刻1 書14 工芸1 デザイン1 資料10	39

●各作品データの記載順序は、下記の通り。

作者名（和文・欧文）
生没年
作品名（和文・欧文）
制作年
技法・素材・形状（和文・欧文）
寸法
署名・落款・年紀・その他の記載事項
収蔵の年度・経緯

●寸法については、特に但し書きのない限り下記の通りに記載した。

平面作品…画面の縦×横（cm）
（版画の場合はイメージサイズ、屏風の場合は例外を除き一隻の寸法）
立体作品…高さ×幅×奥行（cm）

新潟の美術



油彩画
高村 真夫 TAKAMURA, Shinpu
1876～1954（明治9～昭和29）

倦怠 *Ennui*
1921年（大正10）
油彩画 oil painting
キャンバス、油彩 canvas, oil color
額装
73.0×91.0
左上に「S.Takamura」
1921年 第3回帝国美術展覧会
2018年度（平成30）購入
JP548



版画
佐藤 哲三 他 SATO, Tetsuzo, et al.
1910～1954（明治40～昭和29）

『土塊』創刊号～第七号（7冊）
Tsuchikure (clod)
1928～29年（昭和3～4）
木版画 woodcut
紙、インク paper, ink
冊子
27.0×19.7
2018年度（平成30） 小見秀男氏 寄贈
PR799, PR800, PR801, PR802, PR803,
PR804, PR805



彫刻
武石弘三郎 TAKEISHI, Kozaburo
1878~1963 (明治10~昭和38)

今井藤七像 Imai Toshichi
1926年 (大正15)
ブロンズ鑄造 bronze casting
ブロンズ bronze
32×20.5×25.0
左下: [K.TAKEISHI]
2018年度 (平成30) 内田理彦氏 寄贈
SC82



書
江口 草玄 EGUCHI, Sogen
1919~2018 (大正8~平成30)

釋處默詩「聖果寺」 Chinese Poem
1951年 (昭和26)
書 calligraphy
紙、墨 paper, sumi
六曲一隻屏風
138.2×387.0
左中央に落款 (草玄書 (朱文「天生我才必有用」、白文)
2018年度 (平成30) 薩美帰一氏 寄贈
CA141



書
江口 草玄 EGUCHI, Sogen
1919~2018 (大正8~平成30)

作品 No.4 Work No.4
1955年 (昭和30)
書 calligraphy
紙、墨 paper, sumi
パネル装
100.0×68.0
1955年 墨人会展
2018年度 (平成30) 公森仁氏 寄贈
CA142



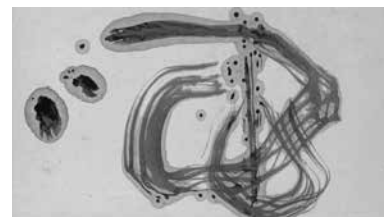
書
江口 草玄 EGUCHI, Sogen
1919~2018 (大正8~平成30)

作品 No.7 Work No.7
1955年 (昭和30)
書 calligraphy
紙、墨 paper, sumi
額装
98.0×131.5
1955年 現代日本の書と墨の芸術
2018年度 (平成30) 江口澄江氏 寄贈
CA143



書
江口 草玄 EGUCHI, Sogen
1919~2018 (大正8~平成30)

関 SEKI
1967年 (昭和42)
書 calligraphy
紙、墨 paper, sumi
額装
69.5×112.0
左上に落款印 (朱文「艸玄」)
1967年 第一回日本現代書展
2018年度 (平成30) 江口澄江氏 寄贈
CA144



書
江口 草玄 EGUCHI, Sogen
1919~2018 (大正8~平成30)

帰 KI
1968年 (昭和43)
書 calligraphy
紙、墨 paper, sumi
額装
69.5×124.0
1968年 墨人会展
2018年度 (平成30) 江口澄江氏 寄贈
CA145



書
江口 草玄 EGUCHI, Sogen
1919~2018 (大正8~平成30)

てまりつく *TEMARI-TSUKU*
1970年 (昭和45)
書 calligraphy
紙、墨 paper, sumi
パネル装
104.2×52.7
右下に落款印 (朱文「艸玄」)
1970年 第四回日本現代書展
2018年度 (平成30) 江口澄江氏 寄贈
CA146



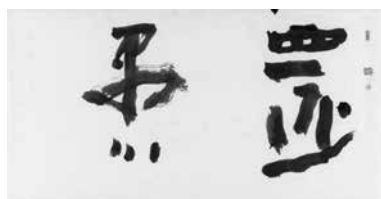
書
江口 草玄 EGUCHI, Sogen
1919~2018 (大正8~平成30)

花のあわれ *HANA-NO-AWARE*
1970年 (昭和45)
書 calligraphy
紙、墨 paper, sumi
額装
52.5×104.0
1970年 第四回日本現代書展
2018年度 (平成30) 江口澄江氏 寄贈
CA147



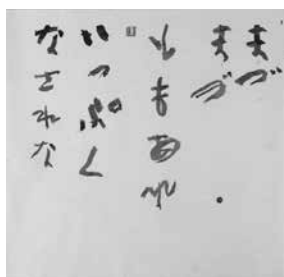
書
江口 草玄 EGUCHI, Sogen
1919~2018 (大正8~平成30)

坐睡 *ZASUI*
1993年 (平成5)
書 calligraphy
紙、墨 paper, sumi
軸装
68.7×135.8
左上に落款印 (白文「艸玄」)
1996年 戦後の書・その一変相 江口草玄
2018年度 (平成30) 江口澄江氏 寄贈
CA148



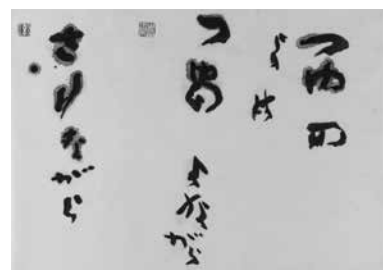
書
江口 草玄 EGUCHI, Sogen
1919~2018 (大正8~平成30)

還愚 *GENGU*
1996年 (平成8)
書 calligraphy
紙、墨 paper, sumi
軸装
69.5×136.6
右中央に落款印 (白文「山階集」、朱文「艸玄」)
2018年度 (平成30) 江口澄江氏 寄贈
CA0149



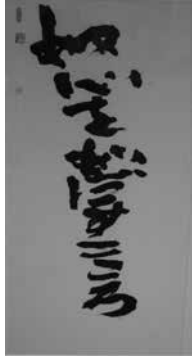
書
江口 草玄 EGUCHI, Sogen
1919~2018 (大正8~平成30)

喫茶去 *KISSAKO*
2006年 (平成18)
書 calligraphy
紙、墨 paper, sumi
マット装
65.2×67.8
中央上に落款印 (白文「艸玄」)
2006年 四月の会展
2018年度 (平成30) 江口澄江氏 寄贈
CA150



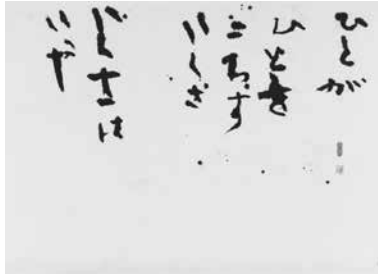
書
江口 草玄 EGUCHI, Sogen
1919~2018 (大正8~平成30)

露の世は露の世ながらさりながら
HAIKU by KOBAYASHI, Issa
2009年 (平成21)
書 calligraphy
紙、墨 paper, sumi
マット装
49.0×68.7
中央上に印 (白文「山階集」、左上に落款印 (白文「艸玄」))
2009年 十二月の会展
2018年度 (平成30) 江口澄江氏 寄贈
CA151



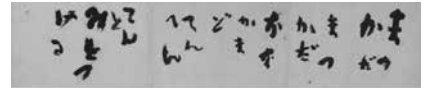
書
江口 草玄 EGUCHI, Sogen
1919~2018 (大正8~平成30)

怒を忍にす(る)ころ
DO-WO-JO-NI-SU(RU)-KOKORO
2012年 (平成24)
書 calligraphy
紙、墨 paper, sumi
額装
99.5×50.0
左上に落款印 (白文「柏崎人」、朱文「艸玄」)
2012年 十二月の会展
2018年度 (平成30) 江口澄江氏 寄贈
CA152



書
江口 草玄 EGUCHI, Sogen
1919~2018 (大正8~平成30)

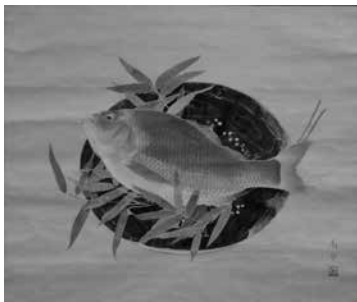
人が人を殺す戦、戦はいや
HITO-GA-HITO-WO-KOROSU-IKUSA, IKUSA-WA-IYA
2013年 (平成25)
書 calligraphy
紙、墨 paper, sumi
額装
67.5×94.5
右中央に落款印 (朱文「艸玄」)
2013年 九月の会展
2018年度 (平成30) 江口澄江氏 寄贈
CA153



書
江口 草玄 EGUCHI, Sogen
1919~2018 (大正8~平成30)

真っ赤だ真っ赤だななかまどてんてんと実をつける
MAKKADA-MAKKADA-NANAKAMADO-TENTENTEN-TO-MI-WO-TSUKERU
2015年 (平成27)
書 calligraphy
紙、墨 paper, sumi
パネル装
34.0×163.3
左上に落款印 (朱文「艸」)
2015年 十二月の会展
2018年度 (平成30) 江口澄江氏 寄贈
CA154

日本美術



日本画
堅山 南風 KATAYAMA, Nanpu
1887~1980 (明治20~昭和55)

鮮鯛 *Fresh Sea Bream*
1951年頃 (昭和26)
日本画 Japanese-style painting
紙本彩色 color on paper
軸装
63.0×75.2
右下に落款 (南風、白文方印「南風画印」)
2018年度 (平成30) 寄贈
JP548



日本画
広川松五郎 HIROKAWA, Matsugoro
1889~1952 (明治22~昭和27)

春秋軸(春・秋) (*Spring and Autumn, Pair of Hanging Scrolls*)
1932年 (昭和7)
日本画 Japanese-style painting
絹本彩色 color on silk
軸装
各129.0×17.0
春：右上「松五郎」 秋：右下「松五郎」
2018年度 (平成30) 斎藤幸子氏 寄贈
JP549



日本画
広川松五郎 HIROKAWA, Matsugoro
1889~1952 (明治22~昭和27)

蔬菜屏風 *Vegetables, Two-Fold Screen*
制作年不明
日本画 Japanese-style painting
紙本彩色 color on paper
二曲一隻屏風
各137.0×68.0
左中央部
2018年度 (平成30) 斎藤幸子氏 寄贈
JP550



日本画
広川松五郎 HIROKAWA, Matsugoro
1889~1952 (明治22~昭和27)

不詳 *Unknown*
制作年不明
日本画 Japanese-style painting
紙本彩色 color on paper
額装
33.0×68.0
右上
2018年度 (平成30) 斎藤幸子氏 寄贈
JP551



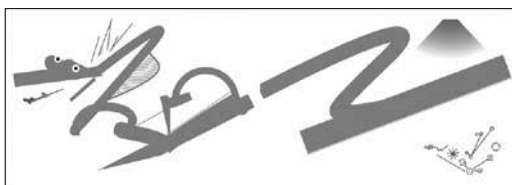
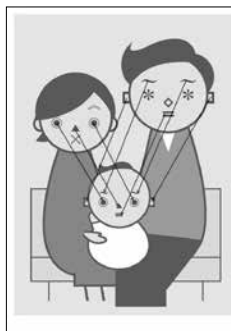
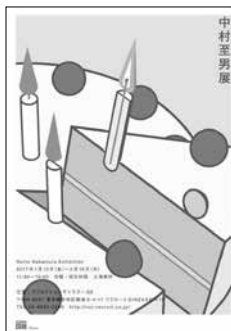
工芸
広川松五郎 HIROKAWA, Matsugoro
1889~1952 (明治22~昭和27)

双鷺 *Two Snowy Herons*
1941年 (昭和16)
染色 dyeing
染色、織、ろうけつ dyeing, batik
軸装
45.0×51.0
左上
2018年度 (平成30) 斎藤幸子氏 寄贈
CR209

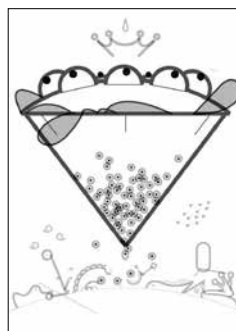
デザイン
中村 至男 NAKAMURA, Norio
1967~ (昭和42~)

個展の告知・出品ポスター「中村至男展」
Norio Nakamura publicity poster and exhibition posters for solo exhibition

バースデー (3点)
Birthday
2016~2017年 (平成28~29)
インクジェットプリント inkjet print
紙、インク paper, ink
まくり
各103.1×72.5
2018年度 (平成30) 中村至男氏 寄贈
GD938-001, GD938-002, GD938-003



ブルードラゴン (2枚組)
Blue Dragon
2016~2017年 (平成28~29)
インクジェットプリント inkjet print 紙、インク paper, ink
まくり 各103.0×145.4
2018年度 (平成30) 中村至男氏 寄贈
GD938-004



カエルの女王
Frog Queen
2016~2017年 (平成28~29)
インクジェットプリント inkjet print
紙、インク paper, ink
まくり
145.4×102.9
2018年度 (平成30) 中村至男氏 寄贈
GD938-005

資料
堀口 大學 Horiguchi, Daigaku
1892～1981（明治25～昭和56）

詩集『堀口大學詩集』第一書房
The Poems of Daigaku Horiguchi
1928年（昭和3）
紙、革、インク paper, leather, ink
書籍
20.9×15.8
2018年度（平成30）
長岡★堀口大學を語る会 寄贈
MA353

資料
堀口 大學 Horiguchi, Daigaku
1892～1981（明治25～昭和56）

詩集『あまい囁き』岩谷書店
Collection of Poems
1947年（昭和22）
紙、インク paper, ink
書籍
21.0×14.5
2018年度（平成30）
長岡★堀口大學を語る会 寄贈
MA356

資料
堀口 大學 Horiguchi, Daigaku
1892～1981（明治25～昭和56）

詩集『堀口大學詩集 ユモレスク』一柿木版社
Collection of Poems, Humoresque
1966年（昭和41）
紙、インク paper, ink
書籍
26.0×38.3（紙寸）
2頁目左下に署名「堀口大學」
2018年度（平成30）
長岡★堀口大學を語る会 寄贈
MA359

資料
堀口 大學 Horiguchi, Daigaku
1892～1981（明治25～昭和56）

アポリネール／著 堀口大學／訳 短編小説
『オノレ・シュブラック滅形』草原社
The Disappearance of Honoré Subrac
by Guillaume Apollinaire, Translated by
Daigaku Horiguchi
1979年（昭和54）
紙、インク paper, ink
書籍
25.6×18.9
扉頁に献辞と署名「丸谷オー学兄 恵存 大學老詩生」
2018年度（平成30）
長岡★堀口大學を語る会 寄贈
MA362

資料
堀口 大學 Horiguchi, Daigaku
1892～1981（明治25～昭和56）

自筆原稿「コクトオ口伝」
Manuscript, "Oral Instruction of Jean Cocteau"
1936年（昭和11）
紙、インク paper, ink
まくり
26.8×19.4
2018年度（平成30）
長岡★堀口大學を語る会 寄贈
MA354

資料
堀口 大學 Horiguchi, Daigaku
1892～1981（明治25～昭和56）

随筆集『詩と詩人』講談社
Collection of Essays
1948年（昭和23）
紙、インク paper, ink
書籍
18.4×12.8
2018年度（平成30）
長岡★堀口大學を語る会 寄贈
MA357

資料
堀口 大學 Horiguchi, Daigaku
1892～1981（明治25～昭和56）

堀口九萬一／著 堀口大學／訳『長城詩抄』
大門出版
Chinese Poems of Kumaichi Horiguchi,
Translated by Daigaku Horiguchi
1975年（昭和50）
紙、インク paper, ink
書籍
26.4×19.0
2018年度（平成30）
長岡★堀口大學を語る会 寄贈
MA360

資料
堀口 大學 Horiguchi, Daigaku
1892～1981（明治25～昭和56）

詩集『山巔の気』生活社
Collection of Poems
1945年（昭和20）
紙、インク paper, ink
書籍
18.1×12.7
2018年度（平成30）
長岡★堀口大學を語る会 寄贈
MA355

資料
堀口 大學 Horiguchi, Daigaku
1892～1981（明治25～昭和56）

詩集『夕の虹』限定版 昭森社
Collection of Poems
1957年（昭和32）
紙、革、インク paper, leather, ink
書籍
23.5×17.0
2018年度（平成30）
長岡★堀口大學を語る会 寄贈
MA358

資料
堀口 大學 Horiguchi, Daigaku
1892～1981（明治25～昭和56）

米寿記念詩集『富士山』へっど・あーと社
Collection of Poems, Celebrating the
88th Anniversary of the Poet's Birth
1979年（昭和54）
紙、インク paper, ink
書籍
26.7×19.0
2018年度（平成30）
長岡★堀口大學を語る会 寄贈
MA361

美術品の修復

分野	作家名	作品名	制作年	修復内容	修復者	修復期間
油彩画他	高村真夫	倦怠	大正10年 (1921)	画面修復(浮き上がり接着、洗浄、 充填整形)、額装(耳補強、変型 修正、木枠修理・補強、枠張り 込み、張りの調整、金具による 固定、裏面蓋装備等)	有限会社修復研究所21(東京都)	H30.7.9~H31.3.12
日本画	横山操	野の川	昭和47年 (1972)	マット装	はにわ額縁	H31.2.7
書	江口草玄	喫茶去	平成18年 (2006)	額装	はにわ額縁	H31.2.7
書	江口草玄	露の世は露の世な からざりながら	平成21年 (2009)	額装	はにわ額縁	H31.2.7

美術品の燻蒸

平成29年度の収蔵品等を燻蒸し、収蔵庫に収めた。

分野	作家名	作品名
日本画	横山操	網
日本画	横山操	潮来の夕
日本画	横山操	野の川
書	良寛	和歌一首
デザイン	渡邊良重	洋菓子のパッケージデザイン 「AUDREY」

燻蒸者	株式会社サニーサニター（新潟県）
実施期間	平成30年4月13日～20日
使用薬剤	エキヒュームS
燻蒸方法	包み込み燻蒸処理

美術品の貸出

平成30年度 作品貸出（近代美術館所管作品）

展 覧 会 名	貸出先（住所）	会 期	作家名	作 品 名
「三輪晃久 日本画展 一自然との心のふれあい」	弥彦の丘美術館	平成30年4月14日～5月13日	三輪晃久	遙
			三輪晃久	暁霞
			三輪晃久	明けゆく
			三輪晃久	山川悠遠
「集え！英雄豪傑たち」	横須賀美術館	平成30年4月28日～6月17日	三輪晃久	秋氣
			岩田正巳	浜名をわたる源九郎義経
「長谷川利行展」	府中市美術館	平成30年5月19日～7月8日	尾竹国観	巴
			長谷川利行	風景
			長谷川利行	抱イテ寝モセス
「阿部展也—あくなき越境者」	新潟市美術館	平成30年6月23日～8月26日	長谷川利行	ナイトハウス
	埼玉県立近代美術館	平成30年9月15日～11月4日	阿部展也	作品
			阿部展也	太郎
			阿部展也	子供
			阿部展也	人
			阿部展也	埋葬
			阿部展也	埋葬2
			阿部展也	予言者
「没後50年—藤田嗣治展」	東京都美術館	平成30年7月31日～10月8日	阿部展也	人間
	京都国立近代美術館	平成30年10月19日～12月16日	阿部展也	作品
「藤田嗣治展」	パリ日本文化会館	平成31年1月15日～3月16日	藤田嗣治	私の夢
「創立100周年記念 国画創作協会の全貌展」	笠岡市立竹喬美術館	平成30年9月14日～10月21日	藤田嗣治	私の夢
	和歌山県立近代美術館	平成30年11月3日～12月16日	土田麦僊	鮭之図
	新潟県立万代島美術館	平成31年1月4日～2月17日	土田麦僊	蔬菜（※寄託）
			土田麦僊	蔬菜大下絵
			土田麦僊	芥子
			恩田耕作	佐渡海府風景

※改修工事に伴い、工事期間中は貸出を一時停止した。

管 理 ・ 運 営



新潟県立近代美術館

コレクション展観覧者数

期 間 (企画展名)		第1期		第2期		合計 (年間80日)
		H30 4/1～5/20 (46日間)		H30 5/24～7/1 (35日間)		
		4/1～5/13 40日間 (ディズニー・アート展)	5/15～5/20 6日間 (コレクション展のみ)	5/24～5/25 2日間 (コレクション展のみ)	5/26～7/1 32日間 (江口草玄展)	
個	一 般	118	48	6	339	511
	大学・高校生	14	0	0	16	30
人	小 計	132	48	6	355	541
		180		361		
団	一 般	0	0	0	20	20
	大学・高校生	0	0	0	0	0
体	小 計	0	0	0	20	20
		0		20		
無 料		132	10	5	127	274
免 除		6	6	3	12	27
企画展チケット		5,498	0	0	872	6,370
合 計		5,768	64	14	1,386	7,232
		5,832		1,400		7,232
コレクション展のみ 合計（再掲）		270	64	14	514	862
		334		528		

*無料には友の会会員を含む。

企画展観覧者数

企画展名		ディズニー・アート展 いのちを吹き込む魔法 4/1～5/13 (40日間)	白寿 江口草玄のすべて 5/26～7/1 (32日間)	合 計
期 間	区 分			
個	一 般	16,707	728	17,435
	大学・高校生	1,262	15	1,277
人	小 計	17,969	743	18,712
団	一 般	31	57	88
	大学・高校生	43	23	66
体	小 計	74	80	154
前 売		2,824	36	2,860
無 料		10,586	824	11,410
免 除		1,394	361	1,755
合 計		32,847	2,044	34,891

企 画 展 名	ディズニー・アート展 いのちを吹き込む魔法	白寿 江口草玄のすべて	合 計
図録販売数(冊)	654	220	874
音声ガイド使用数(台)	2,326		2,326

共催展

展覧会名	会期	日数	観覧者数
第46回 芸展秀作展	4/21～5/6	15	679
第20回 亀倉雄策賞受賞記念 中村至男展	6/9～7/1	20	1,679
計		35	2,358

総観覧者数

	常設展	企画展	共催展	合計
観覧者数	862	34,891	2,358	38,111

※常設展および企画展どちらも観覧した者を加えた常設展観覧者総数は7,232名

新潟県立万代島美術館

所蔵品展・企画展 観覧者数

展覧会名	古代アンデス文明展	所蔵品展 ターニングポイント!	近藤勝也展	みんなの レオ・レオーニ展	国画創作協会の 全貌展	写真家 ソール・ライター展	合計
期 間	4/1～5/6 (35日間)	5/19～6/24 (34日間)	7/7～9/24 (75日間)	10/6～12/16 (67日間)	1/4～2/17 (41日間)	3/9～3/31 (21日間)	
個人							
一般	22,483	1,045	16,813	12,208	2,018	1,344	55,911
大高生	903	77	2,049	854	81	145	4,109
小計	23,386	1,122	18,862	13,062	2,099	1,489	60,020
団体							
一般	15	0	4	195	16	4	234
大高生	7	0	51	56	2	13	129
小計	22	0	55	251	18	17	363
前売（一般のみ）	5,964	—	1,947	2,039	355	170	10,475
招待	1,829	337	2,123	1,998	919	338	7,544
無料	3,766	108	6,544	5,699	103	88	16,308
免除	1,896	154	1,586	1,737	290	125	5,788
合計	36,863	1,721	31,117	24,786	3,784	2,227	100,498

* 所蔵品展の無料には友の会会員を含む

** 小中学生は無料を含む

*** 招待：封筒、ピラ下、パス、招待券、開場式等

講堂・ギャラリーの貸出

県民の文化活動の促進に資するため、新潟県立近代美術館講堂及びギャラリー使用要項に則り、講堂は1日につき27,100円、ギャラリーは1日につき17,700円で貸し出した。

講堂使用状況

使用日	日数	行 事 名	内 容	利用者人数
4/12	半日	ピアノ音楽研究会	ピアノ勉強会	32
4/17	半日	新潟県中越吹奏楽連盟総会	連盟加盟団体代表者による会議	85
4/24	半日	長岡市学校教育研究協議会 美術教育研究会 総会	美術教育研究会の年度当初の計画審議	80
5/15	半日	ピアノ音楽研究会	ピアノ勉強会	32
5/26～5/27	2日間	映画上映会	映画上映	350
6/3	1日	ピアノ発表会	ピアノ演奏	70
6/8	半日	カワイ音楽教室	ピアノ勉強会	36
6/10	1日	ピアノの集いコンサート	ピアノ発表会	50
6/17	1日	第12回ハーモニカフェスタ in 長岡	各サークル 演奏会	260
6/24	1日	ピアノ発表会	ピアノ演奏	30
7/1	1日	2018 Piano Concert	ピアノ教室発表会	40

以上11件（延べ日数…9.5日）

合計人数 1,065

ギャラリー使用状況

期間	日数	展 示 会 名	内 容	利用者人数

以上0件（延べ日数…0日）

合計人数 0

講座室使用状況

期間	日数	展 示 会 名	内 容	利用者人数
4/10	半日	フラワーサークル	フラワーアレンジ	9
4/17	半日	フラワーサークル	フラワーアレンジ	12
4/17	半日	新潟県中越吹奏楽連盟総会	連盟加盟団体代表者による会議	25
5/8	半日	フラワーサークル	フラワーアレンジ	8
5/15	半日	フラワーサークル	フラワーアレンジ	9
5/27	半日	小型船舶免許講習	小型船舶免許更新講習	16
6/3	1日	ピアノ発表会	ピアノ演奏	15
6/5	半日	フラワーサークル	フラワーアレンジ	10
6/8	半日	(株)新潟クリーンエイド会議	会議	7
6/12	半日	フラワーサークル	フラワーアレンジ	8
6/17	1日	第12回ハーモニカフェスタ in 長岡	各サークル 演奏会	30
6/19	半日	フラワーサークル	フラワーアレンジ	11
6/29	半日	同和問題に取り組む新潟県宗教教団連帯会議役員会	会議	7

以上13件（延べ日数…7.5日）

合計人数 167

新潟県立近代美術館

展覧会名	展覧会開催期間	入場者数	回答者	回収率
ディズニー・アート展	2月17日～5月13日	54,092	363	0.67%
江口草玄展	5月26日～7月1日	2,044	29	1.42%
合 計		56,136	392	0.70%

I 企画展覧会の感想

展覧会名	大変満足	まあまあ満足	やや不満	かなり不満	無回答
ディズニー・アート展	72.5%	20.7%	2.8%	0.6%	3.6%
江口草玄展	58.6%	13.8%	0.0%	0.0%	27.6%
平 均	65.6%	17.3%	1.4%	0.3%	15.6%

II 企画展覧会のきっかけ

展覧会名	新聞記事	新聞広告	テレビ	ラジオ	街頭ポスター	雑 誌	インターネット	友の会だより	知 人	たまたま来て	その他	無回答
ディズニー・アート展	5.0%	6.3%	33.5%	0.8%	11.7%	4.4%	7.5%	1.3%	7.1%	3.1%	15.7%	3.8%
江口草玄展	9.4%	6.3%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	9.4%	3.1%	6.3%	3.1%	6.3%	43.8%
平 均	7.2%	6.3%	16.8%	0.4%	12.1%	2.2%	8.5%	2.2%	6.7%	3.1%	11.0%	23.8%

III コレクション展の感想

展覧会名	大変満足	まあまあ満足	やや不満	かなり不満	無回答
ディズニー・アート展	41.6%	19.0%	1.1%	0.6%	37.7%
江口草玄展	48.3%	27.6%	0.0%	0.0%	24.1%
平 均	45.0%	23.3%	0.6%	0.3%	30.9%

IV 普段の情報源

展覧会名	新 聞	テレビ	ラジオ	街頭ポスター	雑 誌	インターネット	友の会だより	知 人	たまたま来て	その他	無回答
ディズニー・アート展	10.3%	37.1%	3.8%	6.5%	7.0%	22.2%	1.2%	4.2%	0.7%	2.5%	4.6%
江口草玄展	16.7%	14.8%	5.6%	13.0%	3.7%	29.6%	1.9%	3.7%	0.0%	0.0%	11.1%
平 均	13.5%	26.0%	4.7%	9.8%	5.4%	25.9%	1.6%	4.0%	0.4%	1.3%	7.9%

V 当館への来館回数

展覧会名	初めて	2回以上	5回以上	10回以上	無回答
ディズニー・アート展	34.2%	31.7%	16.5%	9.9%	7.7%
江口草玄展	13.8%	20.7%	6.9%	37.9%	20.7%
平 均	24.0%	26.2%	11.7%	23.9%	14.2%

VI 展覧会ジャンルの希望

展覧会名	日本画	洋画(日本)	西洋絵画	彫 刻	版 画	工 芸	書	写 真	デザイン	現代美術	その他	無回答
ディズニー・アート展	7.9%	7.7%	8.8%	5.2%	4.2%	6.4%	3.2%	12.8%	16.6%	10.7%	7.9%	8.6%
江口草玄展	12.7%	11.4%	8.9%	8.9%	5.1%	7.6%	12.7%	11.4%	5.1%	5.1%	3.8%	7.6%
平 均	10.3%	9.6%	8.9%	7.1%	4.7%	7.0%	8.0%	12.1%	10.9%	7.9%	5.9%	8.1%

(性 別)

展 覧 会 名	男 性	女 性	無回答
ディズニー・アート展	27.5%	60.9%	11.6%
江口草玄展	31.0%	62.1%	6.9%
平 均	29.3%	61.5%	9.3%

(お住まい)

展 覧 会 名	長岡市	新潟市	県 内	県 外	無回答
ディズニー・アート展	26.7%	26.2%	30.3%	5.0%	11.8%
江口草玄展	27.6%	34.5%	27.6%	10.3%	0.0%
平 均	27.2%	30.4%	29.0%	7.7%	5.9%

(年 代)

展 覧 会 名	小・中 学生	高校・ 大学生	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70才 以上	無回答
ディズニー・アート展	39.1%	6.6%	1.4%	12.4%	7.7%	9.4%	7.4%	3.9%	2.2%	9.9%
江口草玄展	3.4%	13.8%	0.0%	3.4%	6.9%	6.9%	41.4%	13.8%	10.3%	0.0%
平 均	21.3%	10.2%	0.7%	7.9%	7.3%	8.2%	24.4%	8.9%	6.3%	5.0%

新潟県立万代島美術館

展覧会名	会 期	入館者数	アンケート 回収数	アンケート 回収率	
古代アンデス文明展	4月1日(3月21日)～5月6日	36,863	689	1.9%	※全体会期のうち、平成30年度の数を抽出
所蔵品展 ターニングポイント!	5月19日～9月24日	1,721	59	3.4%	
近藤勝也展	7月7日～11月5日	31,117	784	2.5%	
みんなのレオ・レオーニ展	10月6日～12月16日	24,786	392	1.6%	
国画創作協会の全貌展	平成31年1月4日～2月17日	3,784	185	4.9%	
写真家 ソール・ライター展	平成31年3月9日～3月31日(5月9日)	2,227	72	3.2%	※全体会期のうち、平成30年度の数を抽出
合 計		100,498	2,181	2.2%	

展覧会の感想

展 覧 会 名	良かった	まあまあ 良かった	やや不満	かなり不満	無回答
古代アンデス文明展	75.6%	17.0%	1.5%	0.9%	5.1%
所蔵品展 ターニングポイント!	69.0%	12.1%	1.7%	0.0%	17.2%
近藤勝也展	85.7%	10.4%	0.9%	0.1%	2.9%
みんなのレオ・レオーニ展	88.7%	7.7%	1.8%	0.3%	1.5%
国画創作協会の全貌展	40.0%	52.4%	2.7%	1.6%	3.2%
写真家 ソール・ライター展	52.8%	37.5%	4.2%	0.0%	5.6%
平 均	68.6%	22.8%	2.1%	0.5%	5.9%

作品や作家についての解説

展 覧 会 名	適度な 量である	量が少ない	量が多い	その他	無回答
古代アンデス文明展	64.4%	9.4%	7.8%	4.1%	14.2%
所蔵品展 ターニングポイント!	60.7%	6.6%	1.6%	3.3%	27.9%
近藤勝也展	71.3%	10.8%	3.8%	2.1%	12.0%
みんなのレオ・レオーニ展	78.9%	4.5%	2.5%	2.7%	11.4%
国画創作協会の全貌展	73.5%	5.9%	2.7%	2.2%	15.7%
写真家 ソール・ライター展	80.6%	4.2%	5.6%	1.4%	8.3%
平 均	71.6%	6.9%	4.0%	2.6%	14.9%

展 覧 会 名	わかり やすい	難しい	簡単すぎる	無回答
古代アンデス文明展	75.0%	13.2%	2.5%	9.3%
所蔵品展 ターニングポイント!	69.5%	8.5%	5.1%	16.9%
近藤勝也展	87.4%	5.4%	1.8%	5.5%
みんなのレオ・レオーニ展	90.8%	4.9%	0.8%	3.6%
国画創作協会の全貌展	82.6%	6.5%	1.1%	9.8%
写真家 ソール・ライター展	88.9%	4.2%	1.4%	5.6%
平 均	83.8%	5.9%	2.0%	8.3%

展覧会についてどのようにお知りになりましたか

展 覧 会 名	ポスター・ チラシ	新聞	テレビ	ラジオ	雑誌・ フリーペーパー	知人	友の会便り	web	その他	無回答
古代アンデス文明展	20.4%	21.2%	34.3%	3.7%	1.6%	8.7%	0.5%	4.6%	2.9%	2.0%
所蔵品展 ターニングポイント!	24.2%	13.6%	1.5%	0.0%	1.5%	10.6%	3.0%	10.6%	25.8%	9.1%
近藤勝也展	33.9%	4.2%	26.0%	1.8%	2.4%	9.9%	1.0%	9.3%	9.4%	2.0%
みんなのレオ・レオーニ展	29.5%	9.7%	18.8%	2.1%	4.4%	12.0%	0.4%	11.2%	9.3%	2.7%
国画創作協会の全貌展	28.0%	21.8%	6.7%	0.0%	1.3%	16.9%	0.9%	16.4%	7.1%	0.9%
写真家 ソール・ライター展	26.3%	7.1%	6.1%	16.2%	7.1%	10.1%	0.0%	16.2%	5.1%	6.1%
平 均	27.1%	12.9%	15.6%	4.0%	3.1%	11.4%	1.0%	11.4%	9.9%	3.8%

お客様ご自身について

(1) 性別

展覧会名	男性	女性	(不明)
古代アンデス文明展	39.5%	55.4%	5.1%
所蔵品展 ターニングポイント!	27.1%	55.9%	16.9%
近藤勝也展	31.8%	63.7%	4.5%
みんなのレオ・レオーニ展	24.9%	70.0%	5.1%
国画創作協会の全貌展	26.5%	71.4%	2.2%
写真家 ソール・ライター展	52.1%	41.1%	6.8%
平均	34%	60%	7%

(2) 年代

展覧会名	中学生以下	高校生	左記以外の10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	(無回答)
古代アンデス文明展	25.4%	2.2%	3.0%	7.9%	10.4%	11.7%	12.4%	13.9%	10.7%	2.3%
所蔵品展 ターニングポイント!	6.8%	0.0%	1.7%	10.2%	6.8%	16.9%	15.3%	18.6%	18.6%	5.1%
近藤勝也展	35.4%	3.7%	6.0%	19.9%	8.0%	11.0%	7.8%	3.3%	1.7%	3.1%
みんなのレオ・レオーニ展	26.5%	2.8%	2.3%	12.0%	12.2%	15.8%	13.5%	6.1%	5.6%	3.1%
国画創作協会の全貌展	0.5%	2.7%	5.4%	4.3%	7.0%	10.8%	16.8%	33.0%	13.5%	5.9%
写真家 ソール・ライター展	2.8%	2.8%	11.1%	13.9%	13.9%	12.5%	18.1%	12.5%	9.7%	2.8%
平均	16.2%	2.4%	4.9%	11.4%	9.7%	13.1%	14.0%	14.6%	10.0%	3.7%

※「国画創作協会の全貌展」と「写真家 ソール・ライター展」では、選択肢に「大学生」を追加して実施したが、ここでは従前の選択肢に合わせて「左記以外の10代」に分類し全体を集計

(3) お住まい

展覧会名	新潟市内	新潟市以外の下越地区	佐渡地区	中越地区	上越地区	県外・海外	(無回答)
古代アンデス文明展	51.3%	14.5%	1.0%	19.6%	2.2%	3.9%	7.5%
所蔵品展 ターニングポイント!	40.7%	10.2%	3.4%	18.6%	0.0%	18.6%	8.5%
近藤勝也展	41.8%	11.8%	0.6%	16.4%	4.5%	19.9%	4.9%
みんなのレオ・レオーニ展	45.4%	8.9%	2.0%	18.9%	2.8%	15.8%	6.1%
国画創作協会の全貌展	49.2%	15.7%	0.5%	11.9%	1.6%	14.6%	6.5%
写真家 ソール・ライター展	36.1%	12.5%	1.4%	16.7%	2.8%	25.0%	5.6%
平均	44.1%	12.3%	1.5%	17.0%	2.3%	16.3%	6.5%

(4) 当館へは主としてどんな交通手段でおいでになりますか。

展覧会名	自家用車	徒歩・自転車	バス	タクシー	電車	貸切バス	その他	(無回答)
古代アンデス文明展	61.5%	9.9%	14.3%	1.6%	7.9%	0.0%	1.7%	2.9%
所蔵品展 ターニングポイント!	31.3%	19.4%	22.4%	3.0%	9.0%	0.0%	4.5%	10.4%
近藤勝也展	58.5%	10.8%	14.6%	1.4%	10.3%	0.3%	1.8%	2.3%
みんなのレオ・レオーニ展	58.2%	11.4%	14.3%	2.1%	8.9%	0.5%	2.8%	1.9%
国画創作協会の全貌展	49.0%	11.2%	21.8%	2.4%	13.1%	0.0%	1.5%	1.0%
写真家 ソール・ライター展	34.4%	20.0%	17.8%	4.4%	20.0%	0.0%	1.1%	2.2%
平均	48.8%	13.8%	17.5%	2.5%	11.5%	0.1%	2.2%	3.5%

(5) 万代島美術館に来たのは何回目ですか

展覧会名	初めて	2～4回目	5回以上	回答なし
古代アンデス文明展	31.8%	36.6%	27.6%	3.9%
所蔵品展 ターニングポイント!	28.8%	13.6%	47.5%	10.2%
近藤勝也展	48.1%	32.1%	17.3%	2.4%
みんなのレオ・レオーニ展	34.4%	35.9%	26.2%	3.6%
国画創作協会の全貌展	20.0%	24.9%	54.6%	0.5%
写真家 ソール・ライター展	39.7%	27.4%	27.4%	5.5%
平均	33.8%	28.4%	33.4%	4.3%

(6) 当館に限らず年に何回展覧会に来ますか

展覧会名	1回以下	2～4回目	5回以上	回答なし
古代アンデス文明展	31.3%	47.0%	17.8%	3.9%
所蔵品展 ターニングポイント!	11.9%	27.1%	50.8%	10.2%
近藤勝也展	40.7%	42.9%	13.5%	2.9%
みんなのレオ・レオーニ展	23.5%	56.3%	17.1%	3.1%
国画創作協会の全貌展	7.6%	48.6%	43.2%	0.5%
写真家 ソール・ライター展	16.9%	40.8%	39.4%	2.8%
平均	22.0%	43.8%	30.3%	3.9%

(7) どんなジャンルの展覧会を望みますか

展覧会名	日本画	洋画	西洋洋画	彫刻	版画	工芸	書	写真	デザイン	現代美術	県人作家	アジアの美術	絵本	アニメーションマンガ	その他	無回答
古代アンデス文明展	11.7%	7.4%	12.2%	6.9%	3.6%	6.1%	3.6%	7.1%	4.8%	5.3%	1.4%	4.2%	6.9%	11.5%	4.5%	3.1%
所蔵品展 ターニングポイント!	14.1%	13.1%	12.6%	7.0%	5.5%	6.0%	1.5%	6.5%	4.0%	7.0%	2.5%	2.5%	6.5%	6.0%	1.5%	3.5%
近藤勝也展	8.9%	6.9%	8.4%	2.6%	2.0%	2.9%	2.4%	8.3%	8.8%	5.4%	1.6%	1.6%	10.7%	26.2%	1.7%	1.6%
みんなのレオ・レオーニ展	9.0%	6.7%	10.2%	2.8%	4.5%	4.2%	2.6%	6.9%	7.9%	5.4%	0.8%	2.0%	20.7%	12.8%	1.6%	1.9%
国画創作協会の全貌展	21.7%	14.4%	14.6%	4.8%	6.5%	6.8%	2.4%	4.5%	3.9%	5.7%	2.3%	2.7%	4.7%	4.1%	1.1%	0.0%
写真家 ソール・ライター展	10.0%	8.1%	10.4%	3.5%	4.6%	4.6%	1.9%	19.3%	8.1%	7.7%	1.2%	1.9%	4.6%	7.3%	2.3%	4.2%
平均	12.5%	9.4%	11.4%	4.6%	4.4%	5.1%	2.4%	8.8%	6.3%	6.1%	1.6%	2.5%	9.0%	11.3%	2.1%	2.4%

組織及び業務

新潟県立美術館の業務【20年4月現在】

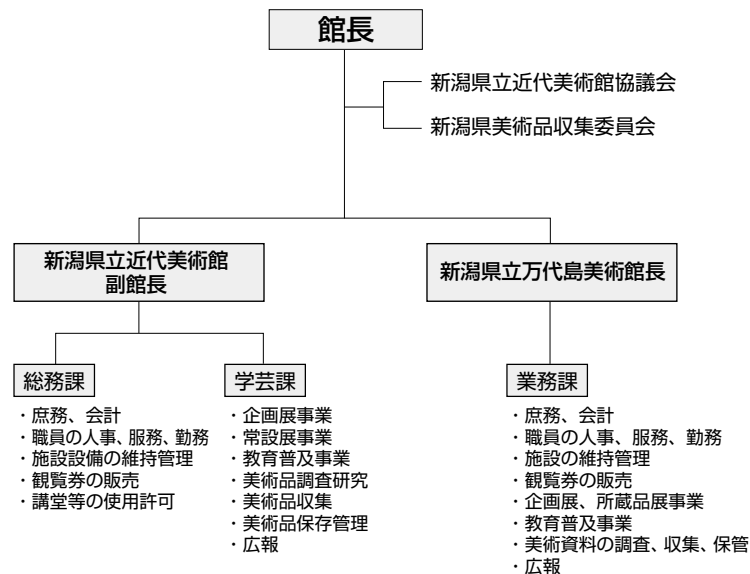
■新潟県立近代美術館条例（平成5年3月31日 新潟県条例第24号）（抜粋）

（設置）第1条 博物館法（昭和26年法律第285号）第18条の規定に基づき、県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、新潟県立美術館（以下「美術館」という）を長岡市千秋3丁目に設置する。

2 前項に規定する美術館には、教育委員会の定めるところにより、分館として新潟県立万代島美術館（以下「万代島美術館」という。）を設置する。

（事業）第2条 美術館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術品、美術に関する資料等（以下「美術品等」という）の収集、保管及び展示
- (2) 美術品等の利用に関し必要な説明、助言、指導等
- (3) 美術品等の調査及び研究
- (4) 美術品等に関する講演会、講習会、映写会等の主催及びその開催の援助
- (5) 前各号に掲げるもののほか、美術館の目的を達成するために必要な事業



職員

新潟県立近代美術館

館長	木村 哲郎
副館長	青柳 正俊
●総務課 総務課長	高尾 和明
主査	茨木 晃
主査	外山小百合
主任	重高 優子
非常勤職員	藤井 幸子
非常勤職員	太田 昌子
●学芸課 学芸課長	藤田 裕彦
専門学芸員	松矢 国憲
学芸課長代理	村山 裕之
学芸課長代理	宮下 東子
学芸課長代理	平石 昌子
副参事	山本未知雄
主任学芸員	濱田真由美
主任学芸員	伊澤 朋美
美術学芸員	松本奈穂子
嘱託員	酒井 真李（～H30.7.31）
嘱託員	深井 尚子（～H30.7.31）
嘱託員	中村 有斐（～H30.7.31）
嘱託員	砂山 冴貴（～H30.7.31）
嘱託員	南 景子（～H30.7.31）
嘱託員	酒井 里加（～H30.7.31）
嘱託員	朝比奈智子（～H30.7.31）
嘱託員	田中 翔太（～H30.7.31）

新潟県立万代島美術館

近代美術館万代島美術館長	仲川 健治
●業務課 業務課長	桐原 浩
課長代理	佐々木巨会
課長代理	澤田 佳三
課長代理	今井 有
主査	斎藤 百子
主任学芸員	池田 珠緒
主任学芸員	長嶋 圭哉
嘱託員	豊島 晶子（～H30.12.25）
嘱託員	齋藤 理恵
嘱託員	佐藤美香子
嘱託員	田村真珠美
嘱託員	渡邊 由里
嘱託員	佐藤さくら
嘱託員	河瀬 久代（H31.1.1～）

新潟県立近代美術館

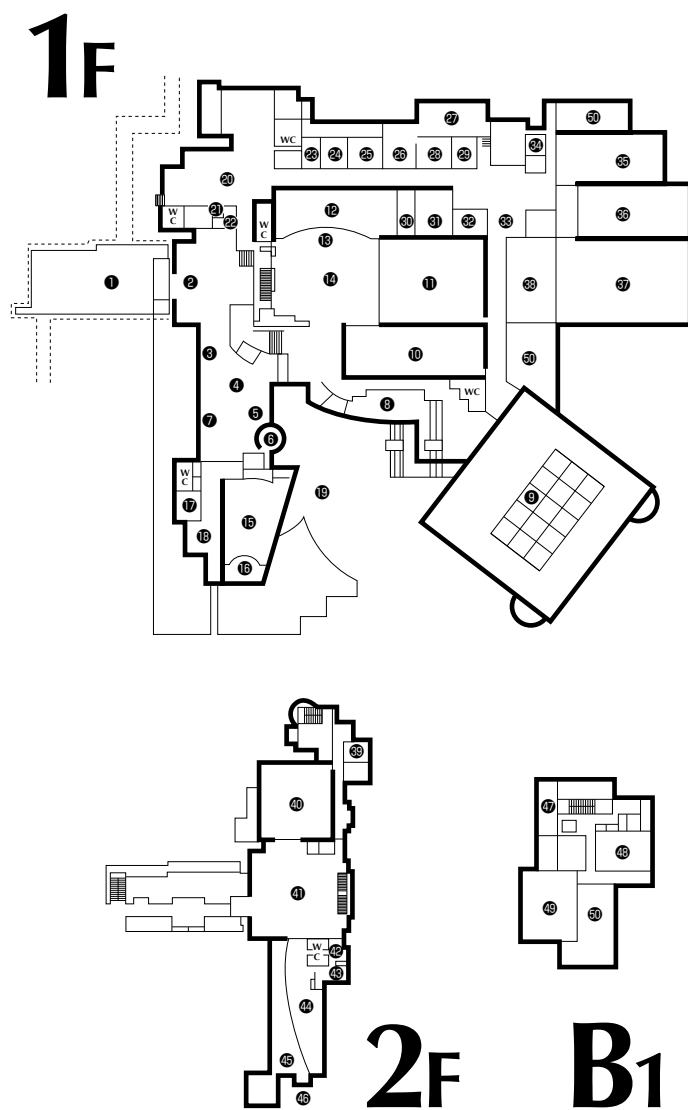
【施設概要】

〈名 称〉	新潟県立近代美術館
〈所 在 地〉	新潟県長岡市千秋3丁目278-14
〈設 計〉	㈱日本設計
造園設計	㈱日本設計・㈱日本造園
設計期間	1990年9月～1991年2月
〈監 理〉	新潟県土木部都市整備局営繕課 ㈱日本設計
〈施 工〉	大成・吉原・小杉特定共同企業体
電気工事	六興・大原・長岡特定共同企業体
空調工事	三建・日立・越後特定共同企業体
衛生工事	ナカムラ・北陸特定共同企業体
ガス工事	北陸瓦斯㈱
昇降機工事	日本オーチスエレベーター
備品工事	㈱高島屋
植栽工事	北陸緑化、ニューガーデン、 長生園、宮川苑、吉茂造園、 鈴木造園、新潟造園土木、 長岡ガーデン、川崎農園、 グリーン産業、松本造園
工事期間	1991年7月29日～1993年5月31日
〈改修施工〉	
建築工事	㈱大石組
電気工事	大原電業㈱
空調工事	㈱長岡総合設備
〈総工事費〉	9,859,851千円
支出内訳	
建築工事費	7,442,809千円
造園工事費	1,216,187千円
電気工事費	79,654千円
展示工事費	1,121,201千円
〈主体構造〉	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、 プレストレストコンクリート梁
基礎・地業	PHC抗
〈規 模〉	地下1階、地上2階、塔屋1階 軒高 13.0m 最高高 19,250m 主なスパン 3.9m 階高 5.7m
〈面 積〉	敷地面積 33,800㎡ 建築面積 9,133㎡ 延床面積 10,723㎡ 地下—機械室・電気室 716㎡ 1階—展示室・収蔵庫・講堂・ 事務室・他 8,873㎡ 2階—レストラン・県民ギャラリー 1,064㎡ 屋階—ELV機械室 地域地区 市街化調整区域
〈面積配分〉	
導入部門	1,356㎡ (エントランスホール636㎡、ロビー 576㎡、ほか)
展示部門	2,674㎡ (常設展示室391㎡+472㎡+265㎡、 企画展示室1,332㎡ ほか)
教育普及部門	384㎡ (講堂234㎡、講座室53㎡、ハイビジョン67㎡、ほか)
収蔵部門	1,746㎡ (収蔵庫第一292㎡、第二575㎡、 第三267㎡、作業室49㎡、ほか)
調査研究部門	272㎡ (研究室83㎡、資料保管室61㎡、書庫128㎡)
管理事務部門	416㎡ (事務室133㎡、会議室70㎡、館長室55㎡、ほか)
設備・機械	1,017㎡ (熱源機械室、電気室、空調機械室、ほか)

他共用部門	2,858㎡ (廊下、階段、ほか)
〈展示室の環境〉	
室の明るさ	70～150lux+局部照明 (メンテナンス時：200lux)
照明方法	全体照明(ダウンライト・間接) スポットライトによる局部照明
光源の種類	LED
温度・湿度	夏季/26℃・50% 冬季/22℃・55%
〈主な設備〉	
空調方法	個別式(単一ダクト方式・FCU方式) 熱源：ガス・電気 熱源機器/ガス冷温水発生機2台 冷房能力/240USRT 暖房能力/52,000kCal/h 冷却塔/2,810,000kCal/h 空調機器/全空気方式 空冷ヒート ポンプエアコンファン
給排水衛生	給 水/上水直結 給 湯/中央式(ガス)、 個別式(電気)
給排水	排 水/屋内合流、屋外下水道放流 BIF床上受水槽(FRP40㎡) 排水槽/有効0.76㎡
電 気	受 電/3相3線 50Hz 6.6kV 660kW 発電機/3φ3W 50Hz 6.6kV 375kVA 非常保安動力/300kVA 非常保安電灯(スコット)/50kVA 変圧器/1,400kVA7台
防 災	消火/屋内消火栓、屋外消火栓、 ハロゲン化物消火 排煙/自然排煙 屋内消火栓 粉末消火器 ハロン 消火設備 ハロン消火器 連結散 水設備 屋外消火栓
昇降機	乗用ELV/750kg積 (30m/分)1台 人荷用ELV/3,000kg積 (30m/分)1台
駐車場	屋内2台、屋外165台
〈主な外部仕上〉	
屋 根	アルミクラッド鋼板立ハゼ葺
外 壁	四丁掛精妬器質タイル(割肌) 二丁掛精妬器質タイル
建 具	アルミサッシュ電解二次着色 ステンレスサッシュH.L.仕上
外 構	御影石ブロック+陶製ブロック舗装
〈主な内部仕上〉	
エントランスホール	天井/コンクリート打放し 壁/御影石こぶ出し仕上 床/御影石ジェットバーナー仕上 天井/P.B.E.P
展示室	壁/ガラスクロスE.P 床/タイルカーペット
収蔵庫	天井・壁/スプルース 床/ナラ縁甲板張
講 堂	天井/ 壁/四丁掛精妬器質タイル+P.B.E.P 床/カーペット
研究室・事務室	天井/岩綿吸音板 壁/ビニールクロス貼 床/タイルカーペット

【施設の配置】

- | | |
|---------------|------------|
| ❶ キャンピ | ❷ 研究室 |
| ❷ エントランスホール | ❸ 書庫 |
| ❸ ロビー | ❹ 資料保管室 |
| ❹ ミュージアムショップ | ❺ 倉庫 |
| ❺ データベース室 | ❻ フィルム保管室 |
| ❻ ハイビジョンギャラリー | ❼ 撮影室 |
| ❼ レファレンス | ❽ 作業室 |
| ❽ 企画展示室ロビー | ❾ 荷解室 |
| ❾ 企画展示室 | ❿ 燻蒸室 |
| ❿ 展示室 1 | ⓫ 収蔵室 1 |
| ⓪ 展示室 2 | ⓬ 収蔵室 3 |
| ⓪ 展示室 3 | ⓭ 収蔵室 2 |
| ⓪ 常設展示室ロビー | ⓮ 展示備品倉庫 |
| ⓪ 中庭 | ⓯ ギャラリー控室 |
| ⓪ 講堂 | ⓰ ギャラリー |
| ⓪ ステージ | ⓱ アトリウム上部 |
| ⓪ 講座室 | ⓲ レストラン事務室 |
| ⓪ 講堂ロビー | ⓳ 厨房 |
| ⓪ 屋外展示スペース | ⓴ レストラン |
| ⓪ 事務室 | ⓵ 吹抜 |
| ⓪ 乳児室 | ⓶ テラス |
| ⓪ ロッカー室 | ⓷ ドライエリア |
| ⓪ 応接室 | ⓸ 電気室 |
| ⓪ 館長室 | ⓹ 熱源機械室 |
| ⓪ 会議室 | ⓺ 空調機械室 |



近代美術館 大規模改修工事

1. 美術館の概要

(1) 基本設計の位置づけ

近代美術館は平成31年春に築26年を迎える。部分的な修繕は適宜行ってきているが、大規模な更新はされておらず、老朽化による不具合が散見されている。当施設は指定文化財（重要文化財等）を展示する際に、その都度許可申請を必要としない公開承認施設登録施設（平成29年7月25日現在：県内では県立歴史博物館のみで・全国で109施設）であったが、平成29年2月に公開承認が切れており。現在の登録を継続するため、老朽化した施設を基準を満たすよう維持する改修工事が必要となった。

公開承認施設登録継続に必要な令和元年9月リニューアルオープンに向けて、新潟県策定の「近代美術館改修工事の基本構想」に則り改修方針を取りまとめたものである。

※公開承認施設とは（引用：文化庁HP）

博物館や美術館などの国宝・重要文化財の所有者（管理団体を含む）以外の者が、当該文化財を公開しようとする場合、文化庁長官の許可が必要とされていますが、文化財の公開活用観点から、文化財の公開に適した施設として、あらかじめ文化庁長官の承認を受けた場合、公開後の届出で足りることとされています。（文化財保護法第53条）この承認を受けた施設を「公開承認施設」と呼んでいます。

この承認を受けた施設では、企画展における重要文化財等の公開手続きが簡素化されると共に公開にともなう作品の応急修理費、梱包・輸送費、出品者への謝金を文化庁が負担する重要文化財等公開促進事業に申請することができます。

(2) 現状の課題

・開館から25年が経過し、美術館の根幹に関わる施設設備の老朽化が進み、空調機能の著しい低下など多数の不具合が生じていることから改修工事が必要である。

1) 展示環境の課題

ア 温度の維持・安定化

企画展示室前に南西方向を向いたガラス面があり、一般サッシ（単板ガラス）のため企画展示室への外乱（温湿度等）の影響が大きい。また各展示室の搬入用シャッターの気密性が低く、スラットの音鳴りが発生している他、空調していないバックヤードの廊下や隣接している休憩室からの影響を受けている。

イ 展示作品保護のための環境の安定・保全

企画展示室の三方の壁面にある固定展示ケースは、すべて自然循環方式（展示室の空調環境に依存する）

のため、ケース内の厳密な温湿度調整や空気中有害物質等の侵入防止が困難となっており、文化庁からの改善要求事項である。また、ガラス飛散防止フィルムがないため観覧者や作品への毀損の懸念がある。そのほかガラス駆動部の不具合が発生している。

2) 施設老朽化への対応

ア 漏水・結露等の防止対策

施設の老朽化により展示ロビー、企画展示室休憩室等で漏水が見られる。また常設展示室等のトプライトにおいて過去に結露による滴下があり、展示作品への汚染等の懸念がある。

イ 収蔵庫からの作品搬出入の安全確保

収蔵庫外扉下の蓋（マウストラップ）が、扉の開閉時に閉まらない不具合が生じている。また、収蔵庫内3箇所の内扉下に気密ガスケットによる凸部があり、台車等を使用した場合、作品の搬出入作業に危険が伴う。

ウ 空調設備の不具合

熱源装置が耐用年数を超過し、また空調の温湿度調整に不具合が生じている。

エ 電気設備の老朽化

展示室の調光盤等が老朽化し、展示室照明が夜間に点灯するなどの誤作動がある。

オ 安定した照度の確保

展示室（企画展示室及び常設展示室1・2・3）で使用している美術館専用蛍光灯の製造・販売が平成30年で停止となり、ハロゲンランプを使用したスポット照明も紫外線が発生するため、海外美術館からの借用資料の場合、海外基準に合致しない場合があり、継続使用が困難になっている。

カ 外壁の劣化

凍害等による外壁タイルの浮き、割れ及び躯体のひび割れが見られる。来館者への安全性の確保、躯体の劣化進行を止めるためにも改修が必要。

(3) 改修条件

・第一期工事の工事期間は、平成30年9月～平成31年8月とする。

・工事期間中の運営方法は、以下のとおりとする。

1) 全館休館とする。

2) 職員は事務室に勤務する。空調をはじめとして各種設備は使用する。長期間の断水や停電が生じない計画とする。

3) 収蔵品は、収蔵庫に保管する。空調の停止期間も含めて、収蔵庫内の環境が適切に確保できる計画とする。改修工事期間中の収蔵資料の搬出入はないもの

とする。

・増築及び改築は行わない。(計画通知を必要としない改修)

2. 改修方針の概要

改修に際しては下記の4つの視点によるものとする。

- 1) 展示資料に適切な環境の構築：室内環境の維持
文化財公開施設の計画に関する指針による文化庁の求める公開承認施設の基本的な性能を確保する。
- 2) 環境負荷の低減：省エネ・CO₂削減
本改修においては、建物の高断熱化を図ると共に電気設備、空調設備などにおいて、省エネルギー機器や高効率機器などを導入すること等により、CO₂年間排出量の削減を行う。
- 3) 予防保全：メンテナビリティ（建物や設備の保全のし易さ）の向上
将来において、機器および配管の更新やメンテナンスが実施しやすいように、省スペースのコンパクト型空調機の採用により空調機室内のメンテナンスや更新時の作業スペースを確保する。
(展示室、収蔵庫などの系統でフィルターセクションが過大なものはユニット型となる。)
- 4) 費用縮減：更新経費、ランニングコストの縮減
汎用性のある製品の選定や設備合理化によりイニシャルコストやメンテナンスコストの低減を図るとともに、省エネルギー機器や高効率機器の導入によりランニングコストの低減を図る。

なお、本建物における熱源の主エネルギーはガスであり、機器の効率化によるガス消費量の削減目標を10%程度とする。

ガス(12A)消費量		既存	更新後(目標)
冷温水発生機	冷却(831kW)	70.9N m ³ /h	10%程度削減
	加熱(605kW)	60.6N m ³ /h	※冷却の削減効果を優先。
温水ボイラー	加熱(291kW)	30.5N m ³ /h	10%程度削減

(1) 課題に対して必要な対策

1) 展示環境の課題

ア 温度の維持・安定化

企画展示室の温湿度環境を安定させるため、企画展示室ロビーの一般サッシ(単板ガラス)を断熱化する。

イ 展示作品保護のための環境の安定・保全

第一展示室及び企画展示室の三面の壁面にある固定展示ケースは全てLED化する。うち企画展示室の1台はエアタイトケースに更新する。その他の3台

についてはガラス飛散防止フィルムを張ると共にガラス駆動部を調整する。

2) 施設老朽化への対応

ア 漏水・結露等の防止対策

漏水の原因と考えられる屋上防水立ち上がり部の改修とパラペットPC笠木を金属笠木に改修する。
また常設展示室等のトップライトにおいて結露防止対策を行う。

イ 収蔵庫からの作品搬出入の安全確保

収蔵庫外扉下の蓋(マウストラップ)のダンパーを更新する。また、収蔵庫内3箇所の内扉の沓摺をフラットタイプに更新し搬出入時の安全を確保すると共にエアタイト性能を維持する。

ウ 空調設備の不具合

収蔵庫及び企画展示室系統の空調機、熱源装置等を改修し、適切な温湿度環境を維持すると共に、今後の継続運用を可能とする。また、一時保管庫を収蔵系統の空調ゾーンに改修する。

エ 電気設備の更新

展示室の調光盤等を更新し、適切な調光ゾーンングとして展示環境を維持する。

オ 安定した照度の確保

展示室(企画展示室及びコレクション展示室1・2・3)のスポット照明及びベース照明をLED化して、適切な展示環境を維持すると共に省エネルギーに対応する。

カ 外壁の劣化

外壁タイルの落下防止対策、躯体のひび割れ部からの漏水防止対策を行う。

3) 段階的な改修対応

本改修計画は、休館対応により公開承認施設継続に必要な展示収蔵系統を中心とし、平成30年9月から1年の改修計画である。その他、開館しながらの工事を対象とする2期工事と休館対応により、1期工事以外の老朽化対応工事として3期工事を想定している。

3. 展示施設の改修計画

(1) 改修計画の概要

・公開承認施設登録施設登録を継続するため、同設計指針に則した改修計画を前提とする。また、築後24年を経過した当施設を引き続き維持・運営していくために必要な改修計画とする。

(2) 建築の概要

1) 展示環境の安定化

ア 温度の維持・安定化

企画展示室の温湿度環境を安定させるため、企画展示室ロビーの一般サッシ（単板ガラス）を断熱サッシ+複層ガラスとする。なお、紫外線カットフィルム仕様とする。

イ 展示作品保護のための環境の安定・保全

企画展示室(C)の固定展示ケースをエアタイトケースに改造する。既存フレーム及びガラス、駆動部を再利用することでコストダウンを図る。

第一展示室及び企画展示室のその他2台の固定展示ケースについてはガラス飛散防止フィルム張、ガラス駆動部調整、内装クロス更新、照明LED化更新とする。

ウ トップライトの改修

現在は結露による滴下の不具合は発生していないが、採光していない状況も踏まえ、展示室内の加湿空気がトップライト内に流入しないようサッシにて区画を設ける。また、第二展示室の既存照明シェード（逆三角錐）を更新する。なお、既存のヒーター、ファンについては撤去を行う。

(3) 電気設備の概要

- ・展示室の調光盤等を更新し、適切な調光ゾーニングとして展示環境を維持する。
- ・展示室のベースライトの必要照度については既存と同等（200lx）とする。
- ・展示室の個別調光式スポットライトの数は下記の通りとする。色温度は3000Kとする。
- ・中央監視装置の更新。

(4) 空調設備の概要

- ・公開承認施設の更新に関わる企画展示室系統の空調機を更新する。
- ・空調機用の熱源を老朽化対応として更新する。
なお、熱源容量、更新時期は近年の冷温水供給熱量や熱源運転状況を考慮する。
- ・更新される制御対象機器廻りの自動制御を更新する。

4. 収蔵施設の改修計画

(1) 改修計画の概要

公開承認施設登録施設登録を継続するため、同設計指針に則した改修計画を前提とする。また、築後24年を経過した当施設を引き続き維持・運営していくために必要な改修計画とする。

(2) 建築の概要

1) 収蔵環境の安定化

収蔵庫からの作品搬出入の安全確保

- ・収蔵庫外扉下の蓋（マウストラップ）のダンパーをガス式からバネ式に更新する。防湿ガasket及び防災ガasketもあわせて更新する。
- ・収蔵庫内3箇所の内扉の沓摺りをフラットタイプに更新し搬出入時の安全を確保すると共にエアタイト性能を維持する。

(3) 電気設備の概要

1) 電灯設備

- ・展示室照明の省エネ・長寿命化を図る目的で、照明をLEDに更新する。
- ・LEDに更新する室は調光設備を更新する室と同様とする。

2) 動力設備

- ・空調機の更新に伴い、動力盤二次側の配管配線を更新する。
- ・現地調査の結果、既設動力盤の箱体は腐食・錆が見受けられなかったため、動力盤箱体は再使用可能なものは再利用し、動力盤内部ブレーカ・配線は更新する。

(4) 空調設備の概要

- ・公開承認施設の更新に関わる収蔵庫系統の空調機を更新する。
- ・収蔵庫系統の外気量を確保するため、外気処理機の処理能力（主に湿度調整）を強化する。
- ・一時保管庫向けの空調系統を東側事務系統から収蔵庫系統に切り替える。

新潟県立万代島美術館

【施設概要】

〈機能別延床面積〉

	内 訳	用途等	面 積
展示室		美術品等の企画展示	1,433.09㎡
収蔵	収蔵庫	美術品等の保管	102.05㎡
130.2㎡	収蔵庫前室	収蔵庫の温湿度を安定させる	28.15㎡
専用エレベーター		地下1階より美術品を搬入	27.59㎡
27.59㎡			
管理	事務室	学芸員、一般事務の執務室	72.66㎡
	資材倉庫	文書・書籍カタログ等の収納	32.75㎡
	準備室	展示作業用の作品移動ケース置場等	95.56㎡
	荷解室	美術品の開梱・点検場所	107.58㎡
	休憩室	嘱託員の休憩場所	10.04㎡
	応接室	来賓等の応接	13.99㎡
	トイレ	職員・来館者用	92.58㎡
	空調機械室	美術館専用の空調機械設置	120.15㎡
	ポンペ庫	ハロン消火設備用ポンペ庫（予）	28.63㎡
共通	ロビー	来館者の導入、休憩及びインフォメーション等	279.63㎡
	廊下等	来館者の通路、避難経路など	321.84㎡
	乳児室	乳児のために使用	6.35㎡
	ロッカー・ルーム	来館者の利便のために手荷物を保管	22.62㎡
B1F	専用エレベーター（B1F）	美術品の搬入用	26.23㎡
	専用エレベーター機械室	専用エレベーター用の機械設置	13.42㎡
	専用荷捌スペース	美術品の荷捌スペース	124.54㎡
合計			2,959.45㎡

〈建築概要〉

1. 全体概要

種 別／複合ビル内包型 公立美術館
所 在 地／新潟県新潟市万代島5番1号
工事期間／平成12年10月3日～平成15年3月30日
敷地面積／103,128.93㎡（万代島一団地認定敷地全体）
建築面積／6,017.37㎡
延床面積／52,585.54㎡（うち、美術館2,959.45㎡）
構造種別／鉄骨鉄筋コンクリート造
階 高／美術館フロア6.3m

2. 建築主体

設 計／鹿島建設株式会社一級建築士事務所
監 理／鹿島建設株式会社一級建築士事務所
施 工／鹿島・大成・福田・五洋・本間・東亜共同企業体

3. 仕上げ（美術館部分のみ）

屋 根／鉄筋コンクリート下地断熱アスファルト防水押え、
コンクリート鋼製根太組天然スレート敷
外 壁／プレキャストコンクリート下地アルミスバンド
レル張り、アルミカーテンウォールふっ素樹脂
焼付塗装、プレキャストコンクリートカーテン
ウォールふっ素樹脂常乾塗装
内 装／（設備概要を参照のこと）

4. 電気設備

電力引込／3相3線6.6Kv50Hz
2回線受電、地中引込
受 変 電／1階サブ変電所、キュービクル式受変電設備
非常用電源／発電機1台、ディーゼル1000KVA、
蓄電池400AH
電話設備／電話配管（機器、配線は別）
放送設備／非常放送兼用アンプ1160W、130回線、
美術館業務用アンプ80W、5回線

5. 空調設備

熱 源／全体熱源：冷温水発生器（ガス焚）
240RT×2台
収 蔵 庫：空冷ヒートポンプ
空 調 機／コンパクトエアハン7台
単一ダクト
換 気／個別換気
給気ファン1台、排気ファン15台
制御機構／24時間中央温湿度管理システム

6. 昇降機

乗 用／ロープ式 210m／分 定員20名1,350kg
4基（うち、車椅子仕様1基）
荷 物 用／油圧式
15m／分 3,000kg 1基
テーブルリフター／
リフト 0.9m
テーブル 2.0m×2.0m 3,000kg

〈設備概要〉

1. 展示室概要

壁 仕 上／不燃プラスターボード、ガラスクロス表面仕上げ
床 仕 上／フローリング（タダラスファー）
可 動 壁／不燃プラスターボード、ガラスクロス表面仕上げ
L4.0m×H4.5m：30枚、L2.0m×H4.5m：26
枚、L2.4m×H4.5m：4枚
固定展示ケース／2箇所
（外側）スチール製・高透過ガラススチール製・アクリル焼
付塗装、高透過ガラス・重量キャスト・アジャス
ター付、シリンダー錠付
（内側）低ホルマリン合板、クロス張り、エアタイト、寸法
D18.0m、W1.2m、H4.5m
照 明／全て美術館用UV／IRカットフィルター付
ベース照明：ハロゲンウォールウォッシャー
200W
展示照明：ローボルトハロゲン（12V50W）
ケース内照明：高効率照明器具（32W）及びロー
ボルトハロゲン（12V50W）
設定温湿度／春・夏期：23℃、60％
秋・冬期：20℃、50％
（変動率±3℃、±10％以内）

2. 収蔵庫概要

床 仕 上／フローリング

壁 仕 上／ゼオライトパネル（天井共）

内部寸法／L11.5m、W7.5m、天井H3.5m

入口寸法／H3.0m、W3.0m

収蔵庫内作品固定方法／収蔵棚

収蔵庫扉の構造及び仕様／スチール製

耐火2時間扉

照 明／高効率照明器具（32W）

美術館用UV／IRカットフィルター付

空 調／恒温恒湿パッケージ2台 単一ダクト（VAV）

設定温湿度／春・夏期：20℃、60%

秋・冬期：20℃、60%

（変動率±2℃、±5%以内）

3. 搬入口関連概要

専用搬入口寸法／H3.8m、W5.0m

高位置の接岸ドック／地上からの高さ0.7m

可動接岸ドック／0～0.9mレベルまで

油圧式リフト／最大重量3,000kg

クレーン／最大重量3,000kg

搬入可能なクレーンの最大サイズ／

H3.0m、W3.0m、D3.0m

セキュリティ／画像センサー機械警備

荷解室への立入管理／カードリーダー方式電気錠

昇降機内部寸法／L3.0m、W3.0m、

天井H3.0m

4. 防災設備

消火設備／湿式スプリンクラー

展示室、準備室、荷解室及び収蔵庫はハロン消火

感知器の種類／自動煙感知

火災警報への伝達／発信機、非常電話

補助消火栓／搬入場所1基、その他4基

連結送水管／その他2基

消 火 器／搬入場所：粉末ABC

展示室：ハロンガス

その他：粉末ABC及びハロンガス

5. 防犯設備

監視設備／ITVモニター、ITVカメラ15台

（美術館14台、EV1台）

機械警備設備／画像センサー＋スピーカ

警備会社／SECOM株式会社

使用警報機の種類／画像センサー及び

水銀スイッチ

警報入電場所／館内中央監視盤及び

美術館事務室

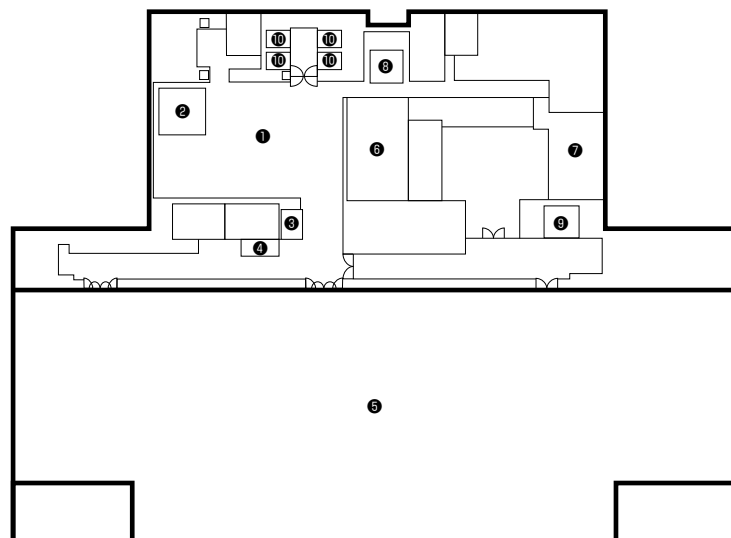
盗難防止ケースの種類／

ガラス・ケース及び壁面固定ケース全てにシ

リンダー錠付

【施設の配置】

- ① エントランスホール
- ② ミュージアムショップ
- ③ 情報検索コーナー
- ④ 乳児室
- ⑤ 展示室
- ⑥ 収蔵庫
- ⑦ 事務室
- ⑧ ロッカー・自販機
- ⑨ 作品専用エレベーター
- ⑩ エレベーター



新潟県立近代美術館協議会

【委員】（依頼当時）

（平成28年8月1日から平成30年7月31日まで）

●学識経験者

- 丹治 嘉彦（新潟大学教育学部教授）
- 岡塚 章子（東京都江戸東京博物館展示企画係長）
- 松本 健義（上越教育大学大学院学校教育研究科教授）
- 山田 一郎（新潟県美術家連盟事務局長）
- 西條和佳子（特定非営利法人ワーキングウイメンズアソシエーション常任理事）

●社会教育関係者

- 竹内 伊澄（歯科衛生士／上越市社会教育委員／上越市公民館運営審議会委員／上越市民芸能祭協議会副会長／いずみジャズダンス代表）

●学校教育関係者

- 古田 修（五泉市立川東中学校長／新潟県美術教育連盟副会長／下越美術教育研究会会長）
- 佐藤 直人（新潟県立長岡商業高等学校教諭／新潟県高等学校文化連盟美術・工芸専門部門副委員長）

●一般公募

- 高石真理子
- 高橋健太郎

（平成30年8月1日から平成32年7月31日まで）

●学識経験者

- 丹治 嘉彦（新潟大学教育学部教授）
- 岡塚 章子（東京都江戸東京博物館展示企画係長）
- 松本 健義（上越教育大学大学院学校教育研究科教授）
- 丸山恵理子（新潟県美術家連盟事務局次長）
- 西條和佳子（特定非営利法人ワーキングウイメンズアソシエーション常任理事）

●社会教育関係者

- 竹内 伊澄（歯科衛生士／上越市社会教育委員／上越市公民館運営審議会委員／上越市民芸能祭協議会副会長／いずみジャズダンス代表）

●学校教育関係者

- 渡邊 敏尚（新潟市立木戸中学校教頭／新潟県美術教育連盟理事／新潟市水と土の芸術祭こどもプロジェクトコーディネーター）
- 田中 幸男（新潟県立小千谷西高等学校教諭／新潟県高等学校文化連盟・工芸専門部門顧問）

●一般公募

- 村田 利紀
- 早川由香吏

※○は会長 ○は副会長

【日程及び内容】

第1回新潟県立近代美術館協議会

日程：平成30年4月29日(日) 13:30～15:30

会場：新潟県立万代島美術館

- 内容：(1) 「平成29年度新潟県立近代美術館協議会評価報告書」の作成について
- (2) 平成30年度事業について

第2回新潟県立近代美術館協議会

日程：平成30年10月14日(日) 13:00～15:00

会場：新潟県立万代島美術館

- 内容：(1) 新潟県立近代美術館協議会の概要
- (2) 会長および副会長の選任
- (3) 「平成29年度県立近代美術館協議会評価報告書」について
- (4) 平成30年度近代美術館の事業計画
- (5) 平成30年度近代美術館の中間報告

第3回新潟県立近代美術館協議会

日程：平成31年2月4日(月) 13:30～15:30

会場：新潟県立万代島美術館

- 内容：(1) 平成30年度事業の中間報告②
- (2) 平成30年度評価の分野と執筆担当
- (3) 作成手順およびスケジュール
- (4) 次年度評価に向けた意見交換

平成30年度 新潟県立近代美術館協議会評価報告書 美術館の自己評価に対する委員評価

第1章 県立近代美術館の自己評価に対する総括的所見

（1）美術館運営の全般に関して

地域にとって美術館とは「何か」という問いに対しての解は、地域における文化や伝統への理解、また最先端の芸術表現の伝達等を通して、市民県民の芸術的素養を育むことへの一助がそれにあたるだろう。しかしながら今の社会状況を俯瞰すると、多様な価値観を拒絶する場面がいくつか見られる。そのような今の時代だからこそ、美術館とは「何か」という問いを携え、近代美術館、万代島美術館として新たなページを開くべくチャレンジ精神をもって望んでほしい。

（2）目標設定のあり方について

美術館の評価に位置付けられている項目として、展覧会、教育普及、収集保存、学芸員による調査研究、美術館としての環境、そして友の会等を通じた協働組織の在り方等があげられる。これらの項目に対して近代美術館、万代島美術館ともに目標値を定め、その課題解決のために日々努力している。またこの目標値は当然ながら美術館がより良く機能するためのアドバイス等も積極的に取り入れ、新たな美術館像を描く一助にしている。

（3）目標に対する達成状況について

近代美術館、万代島美術館ともにダイナミックな展覧会が実施できたことは各種の活動における利用者の増加や具体的なアンケート等から総合的に判断できる。観覧者数の増減に関してはそれぞれ理由が存在しているはずで、そこにしっかりと光を当て改善に役立てることが求められる。

また、調査、研究あるいは地域連携や教育普及に関しては展覧会を組み立てる上で内容の充実や地域文化の熟成に大いに繋がる

だろう。また長岡造形大学やボランティア組織との協働・連携は、開かれた美術館の取組として大いに評価される。しかしながらメディア各社と連携して展覧会を作る場面が多くなる中、今後メディアイベントとしての演出が専門性にどのような影響が出るのかを注意深く見守る必要があるだろう。

第2章 分野別に見た自己評価に対する委員評価

【1 展覧会に関する評価】

(1) 実施目標に対する達成状況について

近代美術館、万代島美術館ともに、幅広い層の関心に応えられるような多様な展覧会ラインナップを揃え、来館者の立場に立った活動が展開できている。展覧会の運営力も非常に高く、来館者の満足度を高めるような工夫を、館をあげて行っていることを高く評価したい。また巡回展であっても、様々な趣向を凝らし、館の独自性を発揮する取組を積極的に行っていることは賞賛に値する。

両館は質、量ともに国内有数のコレクションを有している。これは今年度に限ったことではないが、展覧会においてコレクションに関する調査研究の成果が反映できていることはすばらしいことであり、両館の学芸員のたゆまぬ努力が認められる。他機関との連携も着実に実行されており、協働することで、高い成果があがっている。今後も館外の研究者との調査・研究交流、情報交換を活発に行い、ネットワークの構築に努めてもらいたい。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

今年度活動の取組で特筆すべきは、新潟県出身作家である江口草玄、亀倉雄策、土田麦僊、恩田耕作をとりあげた展覧会の実施である。「白寿 江口草玄のすべて」展、コレクション展「亀倉雄策賞 1999-2017」、「国画創作協会の全貌展」では、これまで培ってきた調査・研究の成果を余すところなく発揮し、郷土の作家の調査研究を大きな柱とする美術館の設置目的を十分に達成した。展覧会の開催により新たな知見が生まれ、また作品寄贈の申し入れがあるなど、理想的な展開となった。これは日頃の努力の積み重ねの結果である。特に「国画創作協会の全貌展」が美術館連絡協議会による2018年 美連協大賞「奨励賞」を受賞したことは、特筆すべきことであり、本展が開催する意義のある、質の高い展覧会であったことを示している。残念ながら期待していたほどの観覧者数を得ることができなかったが、このことは観覧者数と展覧会の質の高さが必ずしも一致するわけではなく、観覧者数のみで展覧会の評価ができないことを端的に示している。

(3) 自己評価に対する総括

自己評価については、問題点や実現できなかった事項、そしてその原因などについての的確、かつ客観的に分析できており、極めて妥当である。

【2 教育普及等関連事業に関する評価】

(1) 実施目標に対する達成状況について

出前講座について前年度に比して数倍の実施状況となっている。幼稚園や保育園にも多くのニーズがあるほか、依頼地域も県内全域にまたがっており、県内各地に潜在的な需要があることが確認された点は、今後の教育普及活動においてより一層の取組につながる成果であった。

また、近代美術館の休館期間を積極的に捉え、万代島美術館との協働により教育普及活動に努めることとなった。工作コーナー

への参加者も多く、幅広い年代への普及活動となった。特に複数のワークショップを設けたことは観覧者を主体的な鑑賞へ誘う手法として効果的であり、美術に関連した学習の広がりという点において成果を得ている。

館外の人材の積極的な活用は、観覧者の作家・作品理解の一助となっており意欲的な取組であった。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

近代美術館が休館中であるという状況の中、万代島美術館と連携をしながら活動に努めたことで、より効果的な普及活動を模索することができている。特に「出前講座」においては前年度に比べ、件数・コマ数・参加者数いずれも増加しており、幼稚園・保育園を含めた幅広い年代層、県内各地からの要請があることから、県民のニーズにあった取組であり、キャリア教育としての活動の広がりがある。今後の更なる発展に期待したい。

「近藤勝也展」におけるアニメーター体験講座、「みんなのレオ・レオーニ展」における二つのワークショップは、鑑賞と創作とを結びつけるものとして観覧者から好評であった。また「国画創作協会の全貌展」における鑑賞シートの設置、ワークショップも観覧者から好評を得ており、教育普及活動の取組としては非常に効果的であった。

「ソール・ライター展」での講演会には120名の参加者があるなど、重点的な事業目標と位置づけていた「館外の人材活用」の取組については一定の進捗が見られた。

また、学校、特に小中学校への広報活動については定着してきたと思われるが、観覧者の年齢層をみると高校生・大学生等の学生層にアピールしていく必要がある。ホームページは勿論、SNS等を活用するなどした広報の方策を探っていく必要がある。

(3) 自己評価に対する総括

両館から提出された平成30年度教育普及事業への自己評価はそれぞれ妥当である。

【3 調査・研究、収集・保存、発信に関する評価】

(1) 実施目標に対する達成状況について

近代美術館の「江口草玄展」については、調査・研究を着実にを行い、その結果を展覧会の開催及び図録の刊行という形で結実させた点で、目標を十分に達成している。

さらに、久保田成子やナビ派関連の作家については、展覧会開催を見据えて、国内外の調査を他館と協働しながら確実に進められた。その他の県ゆかりの作家についても調査を進めるとともに、作品の収集活動にもつながれていることは高く評価される。

また、近代美術館の改修の休館期間を利用して、データベースへの入力作業や映像資料のデジタル化を完了したことも評価できる。

万代島美術館については、「国画創作協会の全貌展」を開催するにあたり、巡回館の担当者とともに調査・研究を行い、非常に優れた内容の展覧会にすることができた。特に県出身作家である恩田耕作《佐渡海府風景》について新たな知見を得、それを展示に反映できたことはすばらしいことである。本展覧会が美連協大賞「奨励賞」につながったことも高く評価でき、目標以上の成果を上げたと言える。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

両館とも、調査・研究の成果が展覧会の内容に反映されている。また、展示解説や図録、研究紀要、美術鑑賞講座などを通して、

その成果が外に向けて広く発信されている。特に今年度の『研究紀要』第17号には7本の論考が掲載され、いずれも展覧会に係る調査・研究で得られた知見や学芸員の専門性に基いた内容であり、県ゆかりの作家やコレクションについての論考は外部の研究者への有益な情報提供になっている。さらには、これらの論考が美術館のホームページ上に公開されていることは、館の研究活動を広く一般に知ってもらうために非常に有意義である。

また、県ゆかりの作家の調査についても、将来の展覧会開催を見据えながら着実に進められており、こうした調査研究が、美術館の作品収集活動とも連動している点で、美術館の本来の使命を果たしていると言える。

(3) 自己評価に対する総括

両館とも、展覧会活動と調査・研究・収集・保存活動等、バランス良く進められており、目標を着実に達成することができた。両館の自己評価は妥当である。

【4 環境・設備に関する評価】

(1) 実施目標に対する達成状況について

○近代美術館

大規模改修工事はほぼ計画通りに進められた事は評価できる。

○万代島美術館

厳しい予算の中でより良い環境作りのために、創意工夫をして実行されていることは大いに評価できる。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

○近代美術館

第2・3次計画については、今後の進め方について各関係機関との協議、調整が必要であり、工事完了まで引き続き対応して欲しい。

改修工事の進捗については、当初の計画に近づけることができたが、再開館時はコレクション展示室のみの使用となったのは残念であった。

○万代島美術館

より良い展示・鑑賞空間の維持のため継続した取組が必要であり、LED化等には予算がかかるが引き続き慎重に協議し進める必要がある。

(3) 自己評価に対する総括

自己評価については客観的に評価され、また適度に自己アピールがなされ、良かった。

美術館職員の担う役割が様々な領域に渡り、多忙を極めている。臆せず、多方面に協力を求め、巻き込んでほしい。

【5 協働組織に関する評価】

(1) 実施目標に対する達成状況について

○県立近代美術館

友の会の活動拠点である近代美術館が休館したが、友の会の活動は休止とならず、万代島美術館のために協力を仰ぐことができた。再オープン後も近美に偏ることなく両館のために協力を得られるよう、友の会組織やその活動内容の充実を図ってほしい。友の会との関係構築でリーダーシップを取れるかどうか今後の課題である。

こどもものづくり大学校における美術館ならではの専門性を生かした協力など、長岡造形大学とは、この二者だからこ

そ可能な協働を着実に進めている。その一方、今年は長岡大学との協働が無かったことが残念。また、相手の予算などに左右されず安定的に実施できる事業が必要。他大学・自治体との協働にも目を向けて頂きたい。

新潟アートリンクは参加館同士の人材交流や技能向上、モチベーションアップにつながっているようで大変良い。これまでの協働で得たものを県民にどのように還元していくか期待している。

上越市における巡回ミュージアムは県内自治体との協働の拡大である。会場が主要駅に近く、徒歩圏に小中学校が多数あるなどのメリットを生かし、より多くの児童・生徒、市民が美術に関心を持つきっかけとしてもらいたい。

○県立万代島美術館

アートリンクについては、トークイベントを通して各館の学芸員の人となりや外部に発信されたのは大変良かった。美術館が「箱」ではなく、「ひと」で成り立っていることをこれからも継続発信してもらいたい。その一方、最近の活動が4館の内部での活動に偏重しており、以前実施していたスタンプラリーのような「市民県民が協働の輪に入る喜び」が無いのが残念（スタンプラリーを実施していた際には「楽しい」という新聞投書があった）。この間の4館の交流の成果を、市民県民が再び協働に加わる形に繋げてほしい。

友の会鑑賞ツアーはメンバーにとって楽しい時間であろう。イベント共催のように一般観覧者のための協働が外向けには大事だと思うが、友の会の会員と美術館との繋がりが強くなる機会は大事である。その一方、美術館側が「協力を頂いた」事例ではなく「協力をした」事例がもっと増えると良い。

図書館との協働など、展覧会ごとに多方面に働きかけ、相応しい協働相手を選び、イベントやワークショップなど具体的な成果をあげられたことは素晴らしい。とくに図書館には、絵本に限らず、美術書が常時置かれているので、ぜひ常時協働できる形を創ってもらいたい。また過去に協働した相手と「美術館サポーター会」のような組織を作るなど、一度限りの協働ではなく継続できる関係を構築してもらいたい。

(2) 今年度活動の取組内容の妥当性とその効果について

○県立近代美術館

「リニューアル期間には入るが、他館、大学、自治体などの協働の内容を精査し、より充実させるとともに、連携強化を図る」という事業目標を元に様々な取組に従事しており、全般的には妥当な年間だったと考える。

ただし、休館中ということもあり、美術館が主になって何かをするよりも相手先に協力する形が主となったため、協働先が限られるとともに、相手の予算に左右されるリスクが見えてきた。

上記をふまえ、リニューアル後は美術館側が主導権を発揮する積極的な取組を期待したい。また、とくに子どもを対象とした取組の場合は目的が「美術館のPR」なのか、「将来を見据えた人材育成」なのかなど、美術館として協働に取り組む際の考え方を明らかにして頂けると尚良いと考える。

○県立万代島美術館

アートリンクと「友の会」との協働については、これまでの実績を元に今年度も安定した取組を行い、近代美術館が休館中の県立単独館として妥当なものであったと思う。

また、図書館との協働をはじめ、専門学校、ジュニア合唱

新潟県美術品収集委員会

団など、新潟市内の多様な団体等に協働を働きかける姿勢はたいへん評価される。

その一方で以前協働した相手先との関係が継続されているのかが不明であり、近代美術館よりも手薄な職員数をカバーするためにも、ぜひ一度協働した相手と安定した関係創りを進めてもらいたい。

(3) 自己評価に対する総括

自己評価については、両館ともおおむね妥当であるとする。近代美術館については、リニューアルに対する外部の期待感を追い風としてぜひ県内の美術界をけん引するリーダーシップを発揮し、協働による人材育成などにも努めていただきたい。

万代島美術館には、新潟市が持つ、人や物、情報などの資源を生かし、楽しみながら人が集う、そんな新たな協働スタイルを創っていただきたい。

第3章 今後の県立近代美術館運営への提案

- SNSの活用について、県の広報アカウントや他の部署のアカウントなどで展覧会の告知を出してもらうなど、協力して広報発信をするとよいのではないか。また、学芸員が自ら発信することで、「美術館がこんなことをやっているのだな」ということがわかるので、見ていて楽しい発信の仕方を考えて欲しい。
- 小中学生が美術館に行くには、親の関与が必要である。従って、まずは親に美術館に興味を持ってもらうことが重要である。美術館のチラシを学校で配布することがあるが、その他に美術館が見てもらいたいところを子どもや親にダイレクトに伝える手段として、美術館が作成した短いCMのようなものを各学校でテレビを使って見せたり、PTA総会や学級懇談会などで美術館の1年間の予定について映像を流して親にも見てもらったりということをしてはどうか。PTA連合会や小学校長会、中学校長会から協力を得てやってみたらよいのではないか。美術館ホームページからそうしたCMにアクセスできるようなページを作り、それを教室などで見てもらうということもできるのではないか。
- 高校生の観覧料について、無償化を含めてもっと気軽に美術館を利用できるようにいろいろな検討を続けて欲しい。またペアチケットの導入についても検討して欲しい。
- 若い人が来ることが見込まれる展覧会については、美術館が主導して大学生の案内ボランティアを導入してはどうか。
- 平成30年度の新潟県立近代美術館、万代島美術館の展覧会では主に観覧者が多く入る展覧会とあまり入らない展覧会とに二極化したと思う。市民誰もが認知しており、キャラクター的な要素を含んでいる展覧会は観覧者数を確保出来るだろう。しかしながら、近代美術館において「白寿 江口草玄のすべて」展は観覧者数の増には繋がらなかった。もちろん観覧者が多い展覧会が優れていると言えないし、観覧者数が少ない展覧会であろうと研究を深める意味で行う意味は大いにある。しかし、観覧者が多数見込める展覧会の性質が偏ってはいないだろうか。やはり展覧会に対してある意味挑戦的な姿勢も必要ではないか。
- 巡回ミュージアムについては、会場周辺の学校と協働し、若年層の利用拡大を図る契機となるとよい。
- 近代美術館・万代島美術館と近隣の美術館や観光施設を巡る観光コースがあるとよい。

【委員】

- 宮田 亮平（文化庁長官）欠席
- ◎草薙奈津子（平塚市美術館長）
- 本江 邦夫（多摩美術大学教授）欠席
- 前川 公秀（DIC川村記念美術館顧問）
- 柳原 正樹（富山県水墨美術館顧問、京都国立近代美術館長）欠席
- 松本 透（長野県信濃美術館長）
- 郷 晃（新潟大学教育学部教授）
- 樋田豊次郎（東京都庭園美術館長）欠席

◎は委員長代理

【日程及び内容】

平成30年度「新潟県美術品収集委員会」

日程：平成31年1月29日(火)

内容：(1) 平成30年度美術品収集について

- ①収集候補の全体説明
 - ②収集候補の内覧
 - ③収集候補作品の協議
- (2) その他

新潟県立美術館友の会

新潟県立美術館友の会は、新潟県立近代美術館開館の翌年、平成6年4月8日に「新潟県立近代美術館友の会」として発足。平成15年、新潟県立万代島美術館の開館にともない二館共通の友の会組織となり、「新潟県立美術館友の会」と改称した。

広く美術を愛する人達を中心として、美術館の活動及び運営に協力するとともに、美術を通じて教養を豊かにし、会員相互の親睦を深め、芸術文化の普及、向上を図ることを目的として活動している。

【会費・会員の種類】

一般会員	一般	2,000円	287人
	学生他	1,000円	1,073人
ファミリー会員		4,000円	71人
特別会員	個人	30,000円	0人
	法人		28人
計			1,459人

【会員の特典】

- ・会員証による近代美術館コレクション展、万代島美術館所蔵品の無料観覧
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展を観覧できるモニター券の配布（モニター券1枚で一回観覧可）
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展の優待観覧（団体料金）
- ・企画展図録の割引
- ・近代美術館、万代島ビル内のレストランの割引
- ・友の会だより、美術館パンフレット等の配布
- ・近代美術館、万代島美術館の企画展開場式への参加

【役員体制】

会 長	丸山 結香	
副 会 長	上松 和義	山本 正明
	宮澤奈緒子	蒲木みゆき
理 事	八木 浩幸	
監 事	海津 博之	保坂 成仁
代 議 員	阿部 貴子	阿部美恵子
	永島 賢司	大平 剛
	恩田 里士	片野 トク
	星野 佳人	近藤フジエ
	高橋 信雄	佐藤 守人
	羽賀 享	原 和彦
	樋口 栄治	保坂 太
	丸山 智	宮本 恵子
	山梨玲江子	舩岡 武雄
	久島 芳尚	高石 恒一
	中川 アイ	金子かおる
	金子 明子	

名誉顧問 豊口 協
顧 問 平山 征夫 和田 裕
相 談 役 徳永 健一
事 務 局 佐藤 夏代

【事業内容】

友の会独自事業および美術館との共催事業

- ◇ 4月21日 ワークショップ
(ディズニー・アート展関連)
- ◇ 5月20日 代議員会
会場：近代美術館会議室
- ◇ 8月 4日 美術鑑賞ツアー「大地の芸術祭」
参加者：27名
- ◇ 10月14日 美術鑑賞ツアー「諏訪」
参加者：27名
- ◇ 10月 6日 レオ・レオーニ展講演会
- ◇ 10月28日 万美直行バス
参加者：23名
- ◇ 3月17日 アートカフェin造形大
会場：長岡造形大学
参加者：31名
- ◇ 友の会だよりの発行（速報5回）
- ◇ webでの情報発信（メルマガ等）

沿革

《新潟県立近代美術館》

昭和63年度予算で美術館建設調査費計上

昭和63年12月

「新潟県美術品収集基金条例」制定

平成元年10月

新潟県美術館建設基本構想を策定

平成2年3月

新潟県美術館建設基本計画を策定

平成2年3月

県立近代美術館建設の設計者選考方式を指名設計競技（コンペ）に決定

平成2年3月

指名設計競技の参加設計事務所5社を決定

平成2年7月

県立近代美術館建設指名設計競技審査会開催

（株）日本設計の作品が入選

平成2年8月

設計業務の委託を（株）日本設計と契約

平成3年2月

県立近代美術館建設の実施設計策定

平成3年5月

県立近代美術館建設工事入札

大成・吉原・小杉特定共同企業体等が落札

平成3年7月

県議会で建設工事の契約承認

平成3年7月

新潟県立近代美術館の建設着工

平成4年12月

県立近代美術館建設本体工事完了・引き渡し

平成5年3月

新潟県立近代美術館条例公布

平成5年4月

新潟県立近代美術館発足

平成5年7月

開館

《新潟県立近代美術館万代島美術館》

平成12年8月

新潟県新美術館基本構想を発表

平成13年2月

新潟県新美術館基本計画を策定

平成14年4月

新潟県新美術館開設準備室発足

平成15年8月

新美術館の名称を一般公募により「新潟県立万代島美術館」と決定

平成15年3月

朱鷺メッセ万代島ビル竣工

平成15年4月

新潟県立近代美術館万代島美術館発足

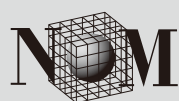
平成15年7月

開館

平成30年度
新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館 年報

編集 新潟県立近代美術館／新潟県立万代島美術館

印刷 株式会社中央印刷
発行 令和元年12月20日



THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART

新潟県立近代美術館

新潟県立万代島美術館

The Niigata **Bandaijima** Art Museum